

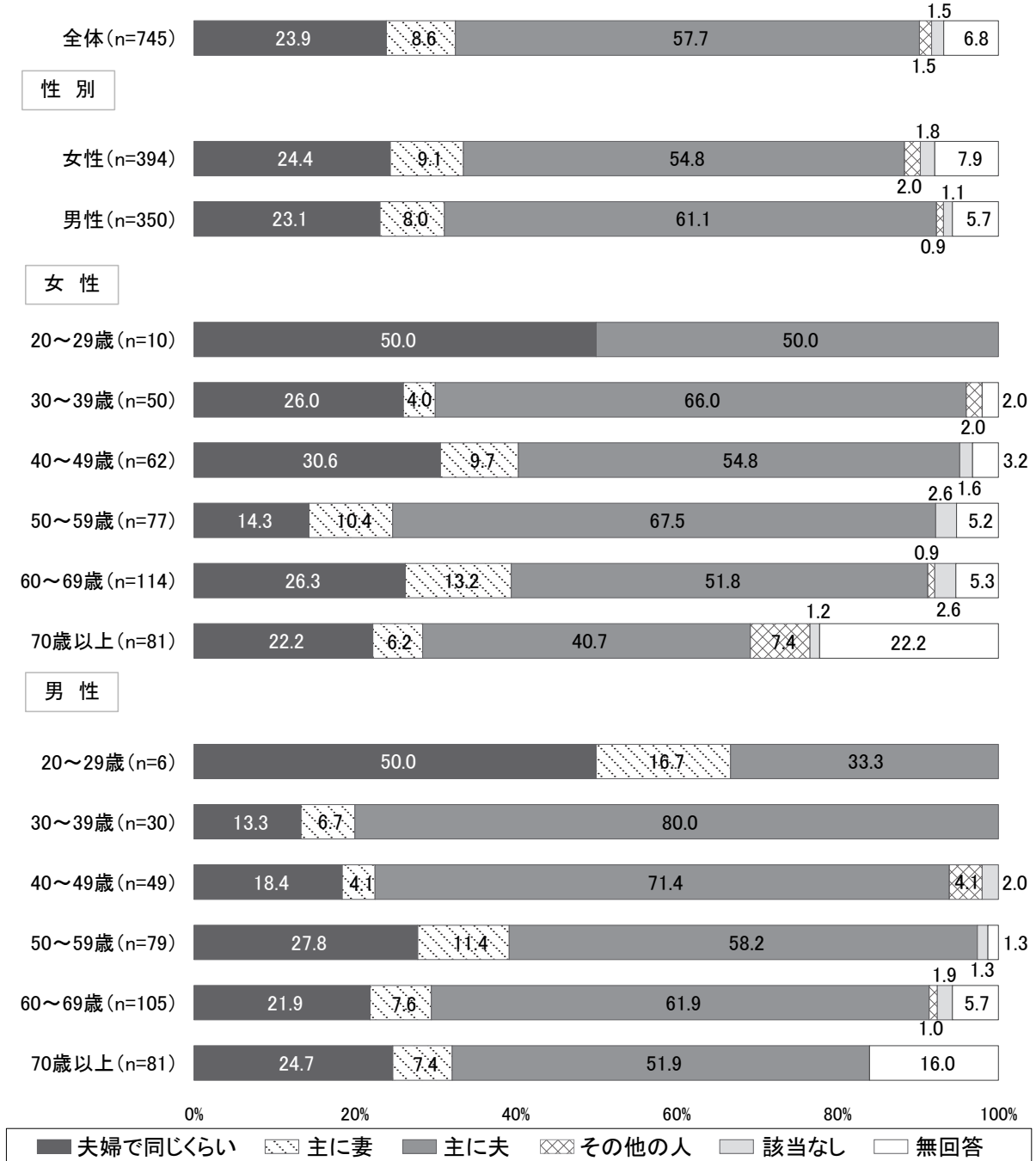
### 3. 家庭生活について

問12. 問4で「1. 結婚している（事実婚含む）」に○印をつけた方におたずねします。  
 あなたの家庭では、次にあげる家庭の中での仕事は、現在どのように行っていますか。  
 （○は1つずつ）

「生活費の確保」については、全体では、「主に夫」の割合が57.7%と最も高く、次いで「夫婦で同じくらい」の割合が23.9%となっています。

性別年代別で見ると、20歳代の男女では、「夫婦で同じくらい」の割合が半数を占めています。

問12-①. 家庭の中での仕事「生活費の確保」

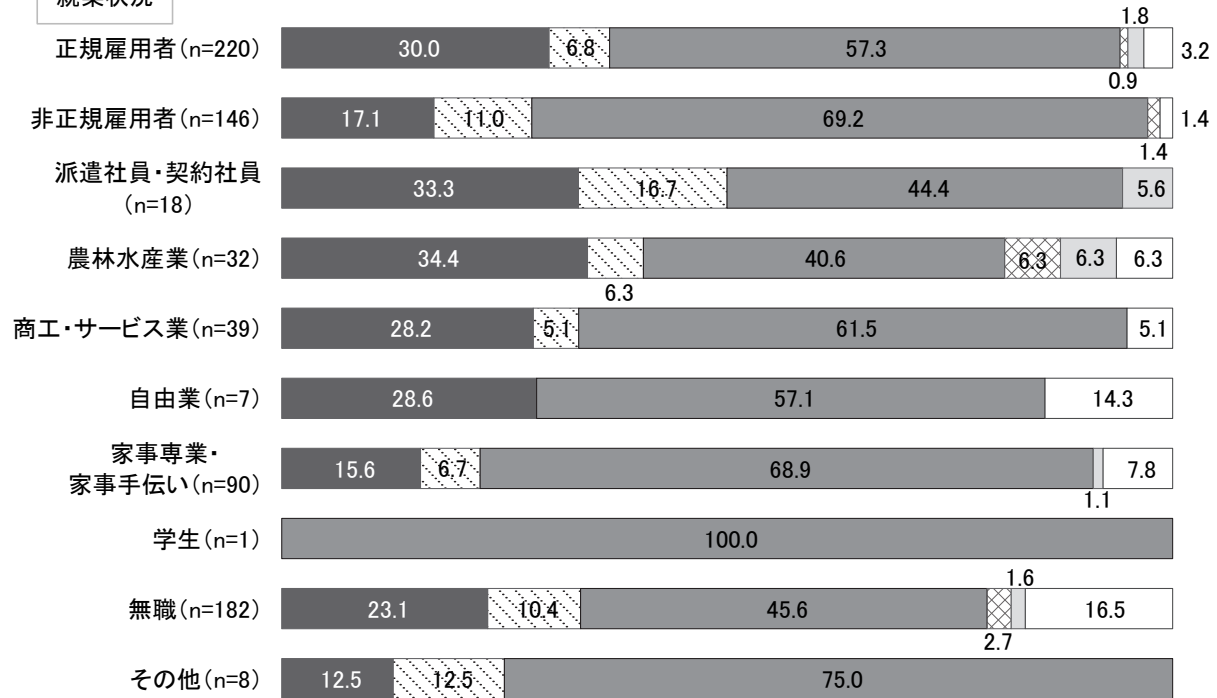


就業状況別でみると、非正規雇用者と家事専業・家事手伝いでは、「夫婦で同じくらい」の割合が2割未満、「主に夫」の割合が約7割となっています。

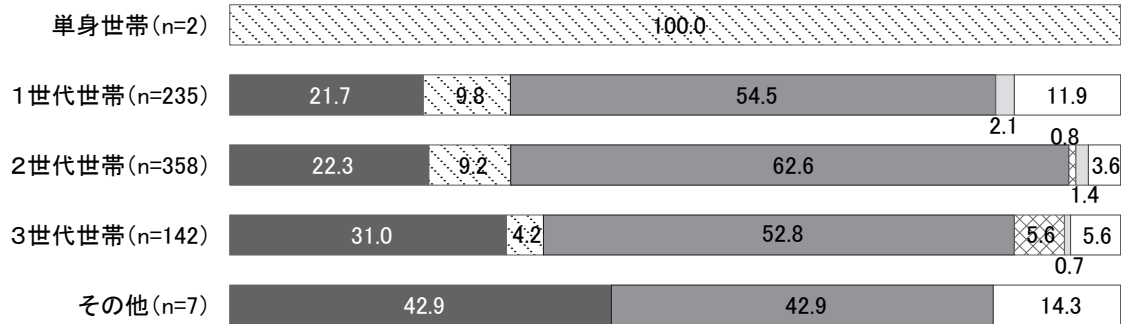
家族構成別でみると、同居している世代の数が多くなるほど「夫婦で同じくらい」の割合が高くなっています。

問12-①. 家庭の中での仕事「生活費の確保」

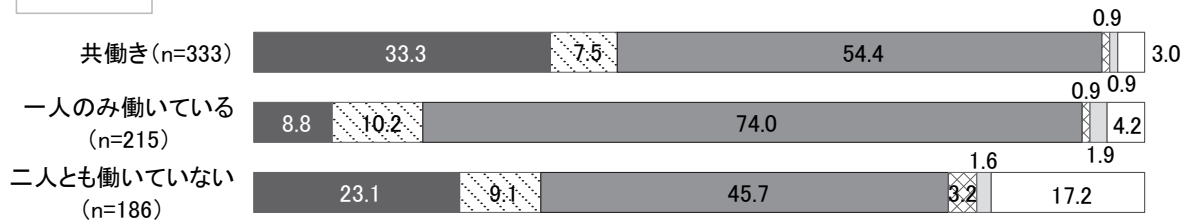
就業状況



家族構成



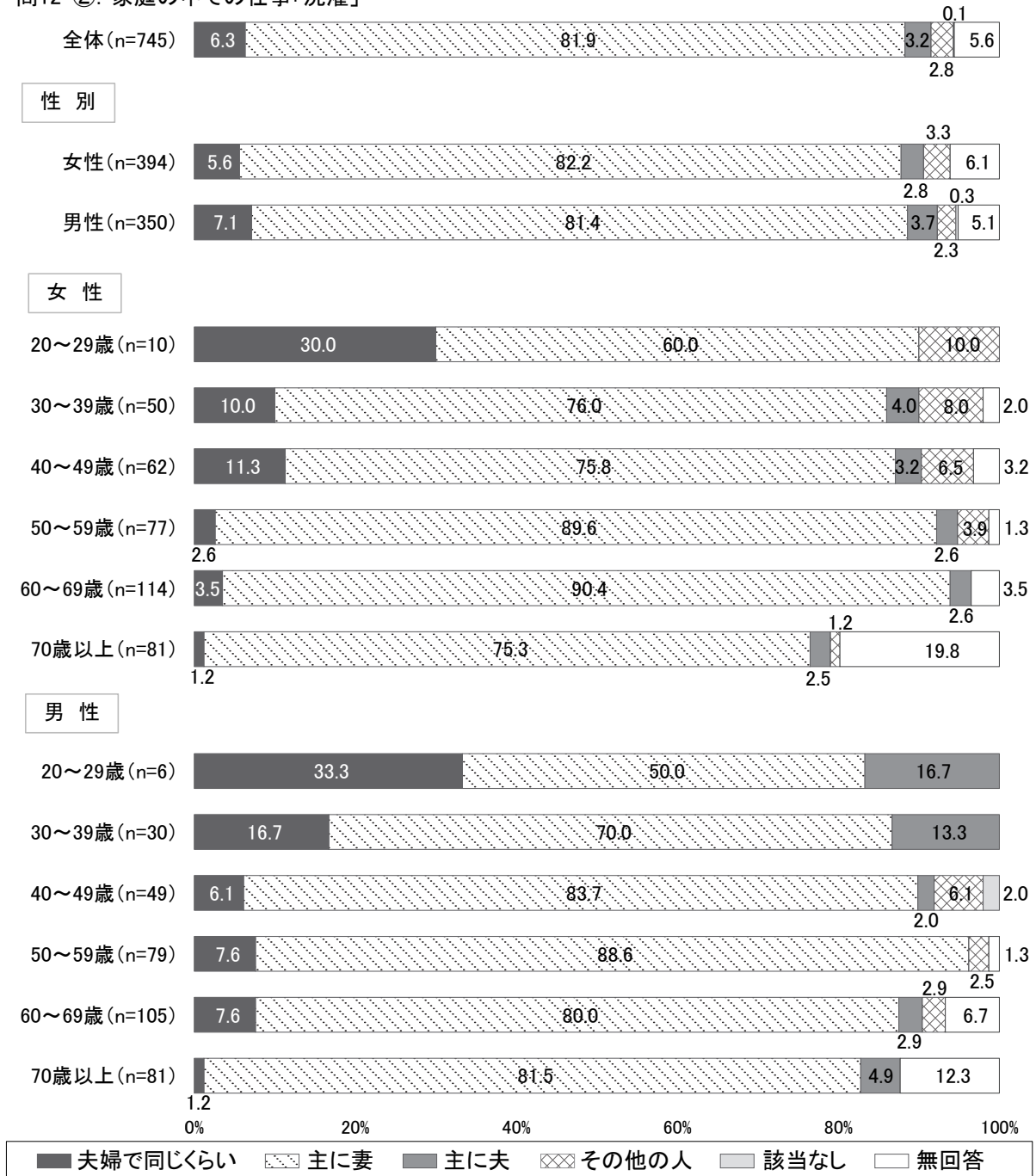
共働き



「洗濯」については、全体では、「主に妻」の割合が81.9%と最も高くなっています。

性別年代別でみると、20歳代の男女では、「夫婦で同じくらい」の割合が約3割となっている一方、30歳代以上の男女では2割未満となっています。

問12-②. 家庭の中での仕事「洗濯」

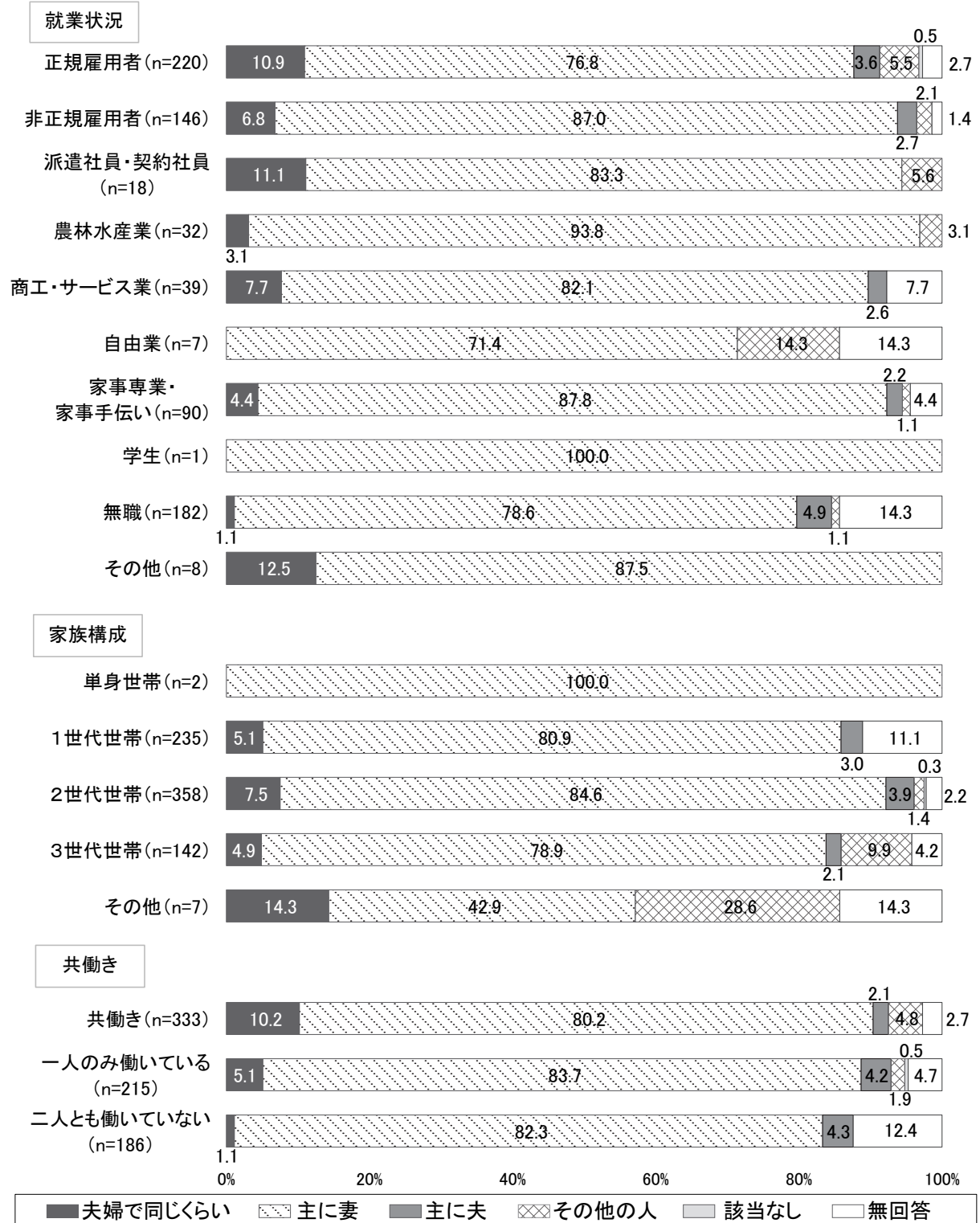


就業状況別でみると、派遣社員・契約社員と農林水産業では、「主に夫」と回答した人はいません。また、農林水産業では、「主に妻」の割合が93.8%となっています。

家族構成別でみると、3世代世帯では、「その他の人」の割合が9.9%となっています。

共働き状況別でみると、共働きの場合では、「夫婦で同じくらい」の割合が10.2%となっています。

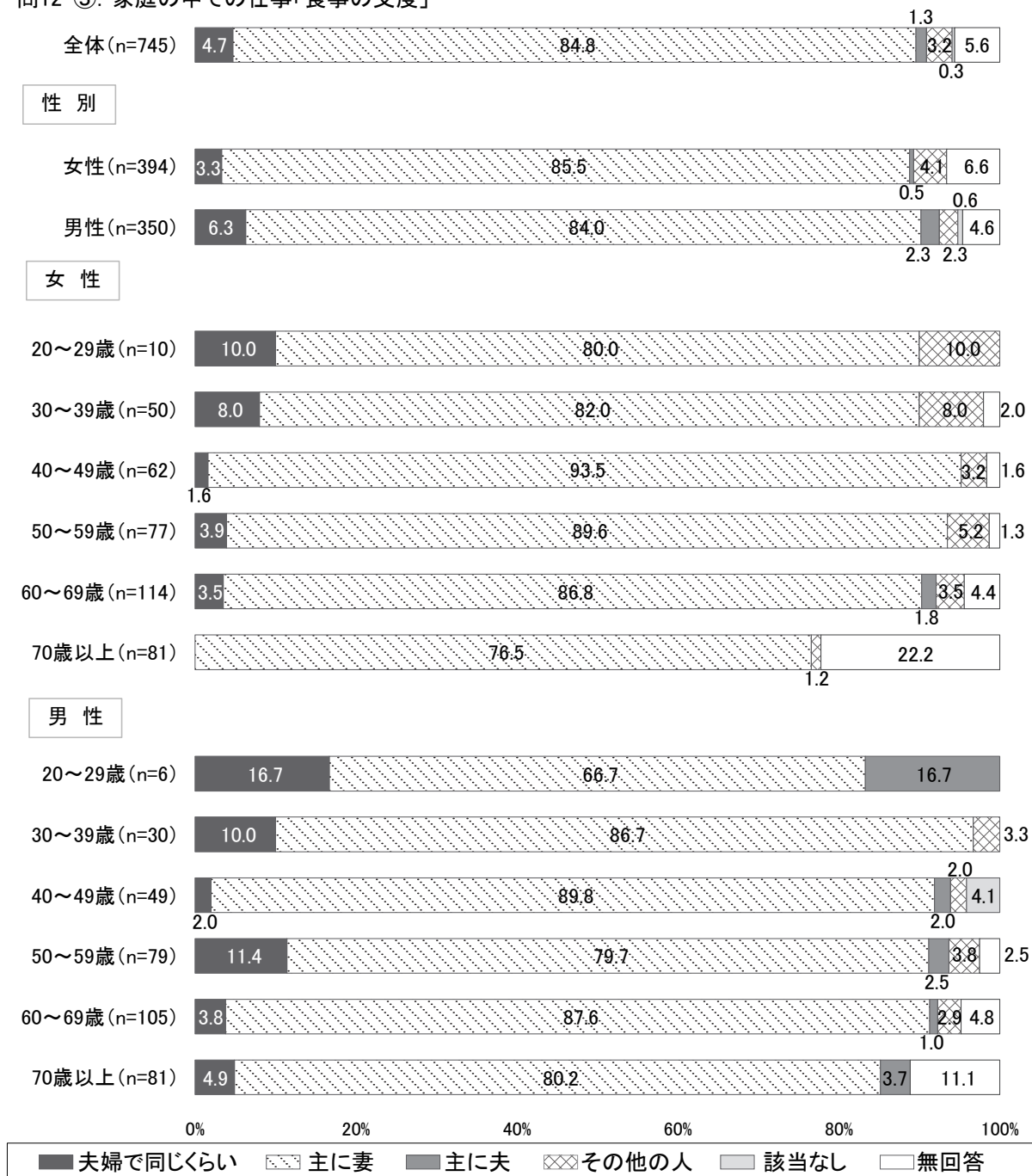
問12-②. 家庭の中での仕事「洗濯」





「食事の支度」については、全体では、「主に妻」の割合が84.8%と最も高くなっています。性別年代別で見ると、20歳代男性では、「主に夫」の割合が16.7%となっています。また、20歳代～30歳代の男女と50歳代男性では、「夫婦で同じくらい」の割合が1割以上となっています。

問12-③. 家庭の中での仕事「食事の支度」

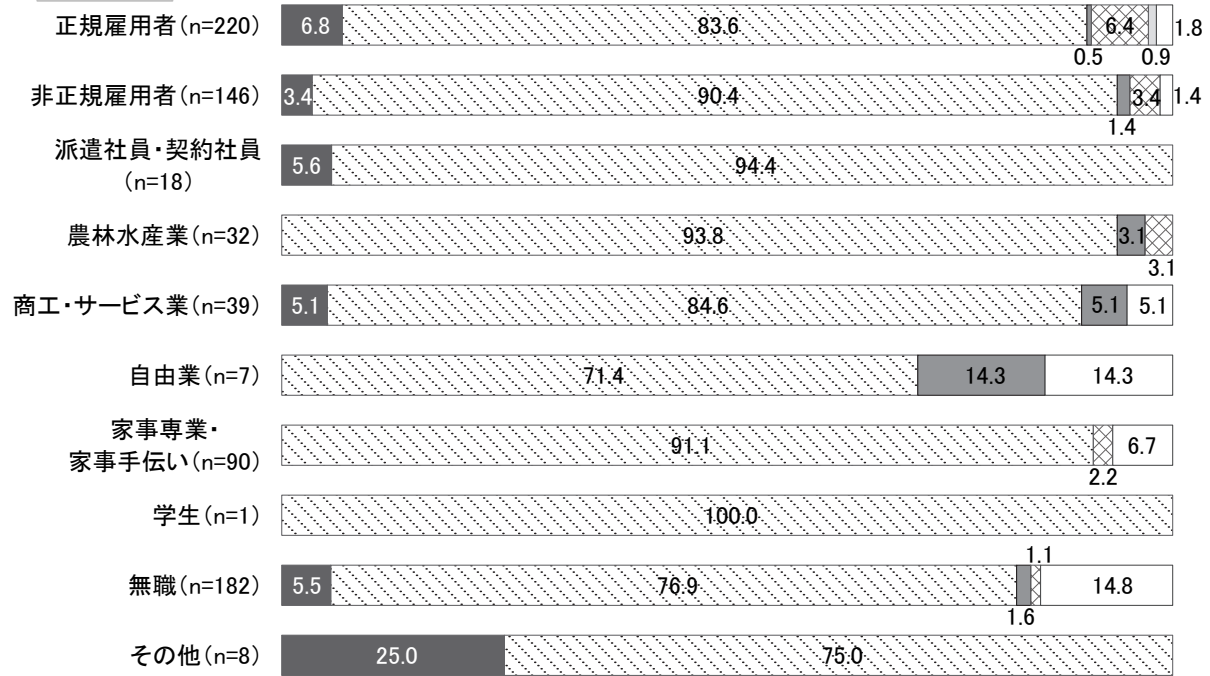


就業状況別でみると、農林水産業と家事専業・家事手伝いでは、「夫婦で同じくらい」と回答した人はいません。

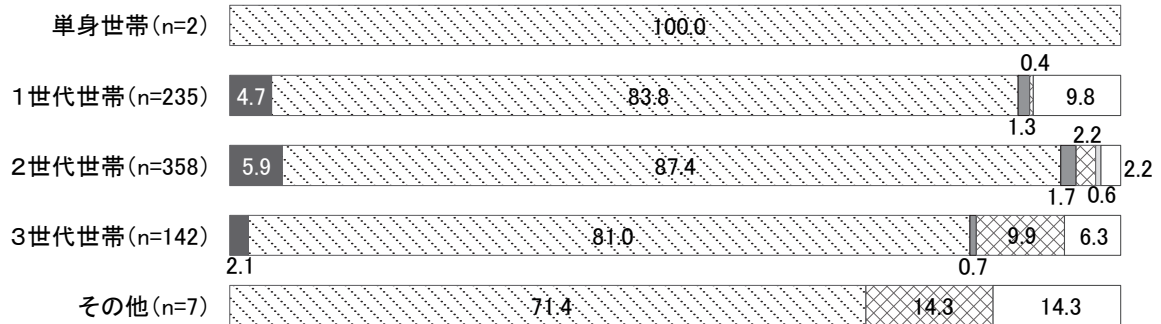
家族構成別でみると、3世代世帯では、「主に妻」の割合が81.0%と最も高く、次いで「その他の人」の割合が9.9%となっています。

問12-③. 家庭の中での仕事「食事の支度」

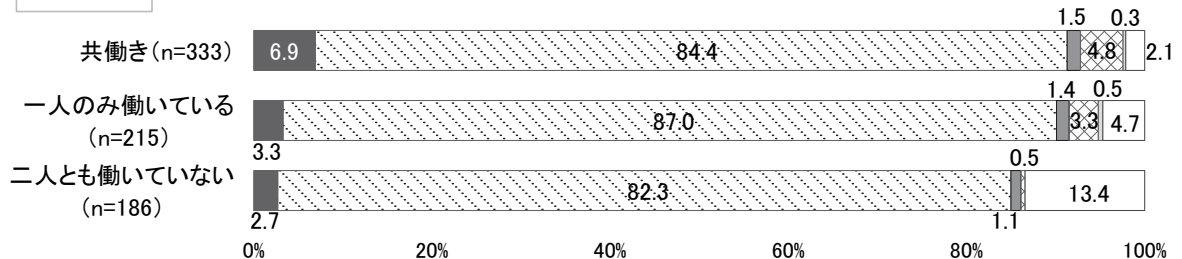
就業状況



家族構成



共働き

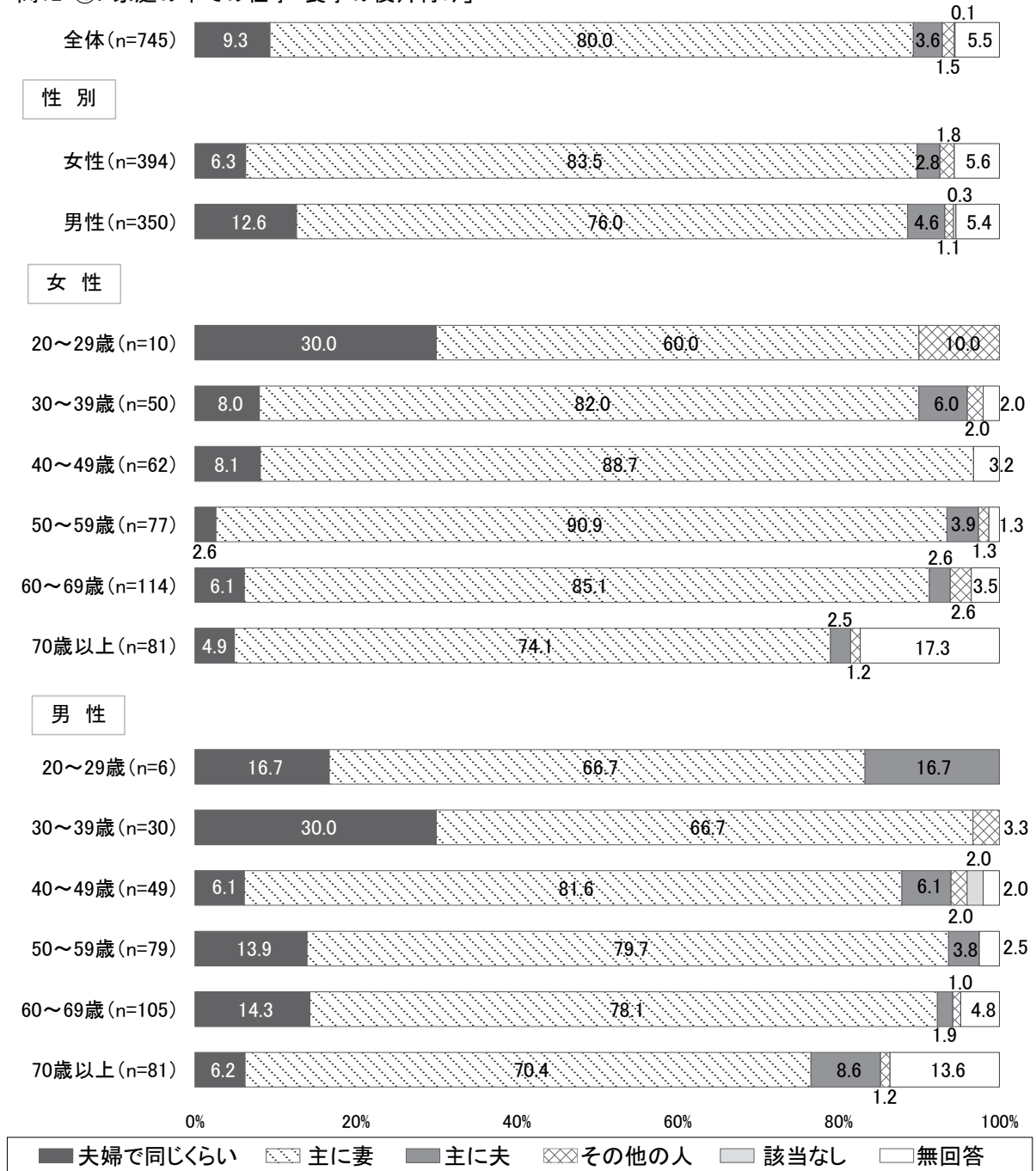


■ 夫婦で同じくらい    ▨ 主に妻    ■ 主に夫    ▩ その他の人    □ 該当なし    □ 無回答

「食事の後片付け」については、全体では、「主に妻」の割合が80.0%と最も高くなっています。

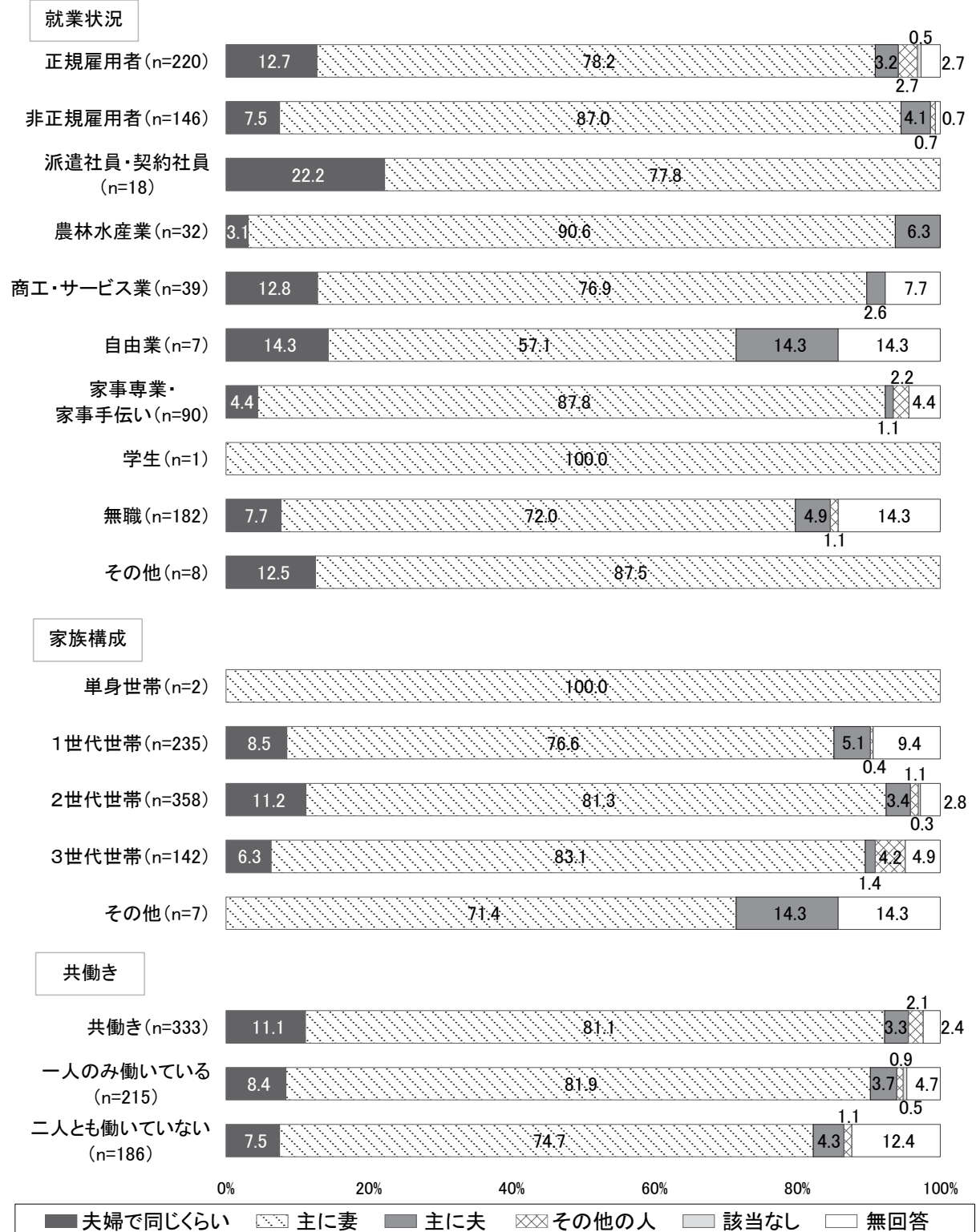
性別年代別でみると、20歳代女性では、「夫婦で同じくらい」の割合が30.0%と、同性の他の年代よりも20ポイント以上高くなっています。また、50歳代女性では、「夫婦でおなじくらい」の割合が2.6%と、同年代の男性よりも11.3ポイント低くなっている一方、「主に妻」の割合が90.9%と、同年代の男性よりも11.2ポイント高くなっています。さらに、30歳代男性では、「夫婦で同じくらい」の割合が30.0%と、同性の他の年代よりも10ポイント以上高くなっています。

問12-④. 家庭の中での仕事「食事の後片付け」



就業状況別でみると、派遣社員・契約社員では、「夫婦で同じくらい」の割合が22.2%となっており、「主に夫」と回答した人はいません。また、農林水産業では、「主に妻」の割合が90.6%となっています。

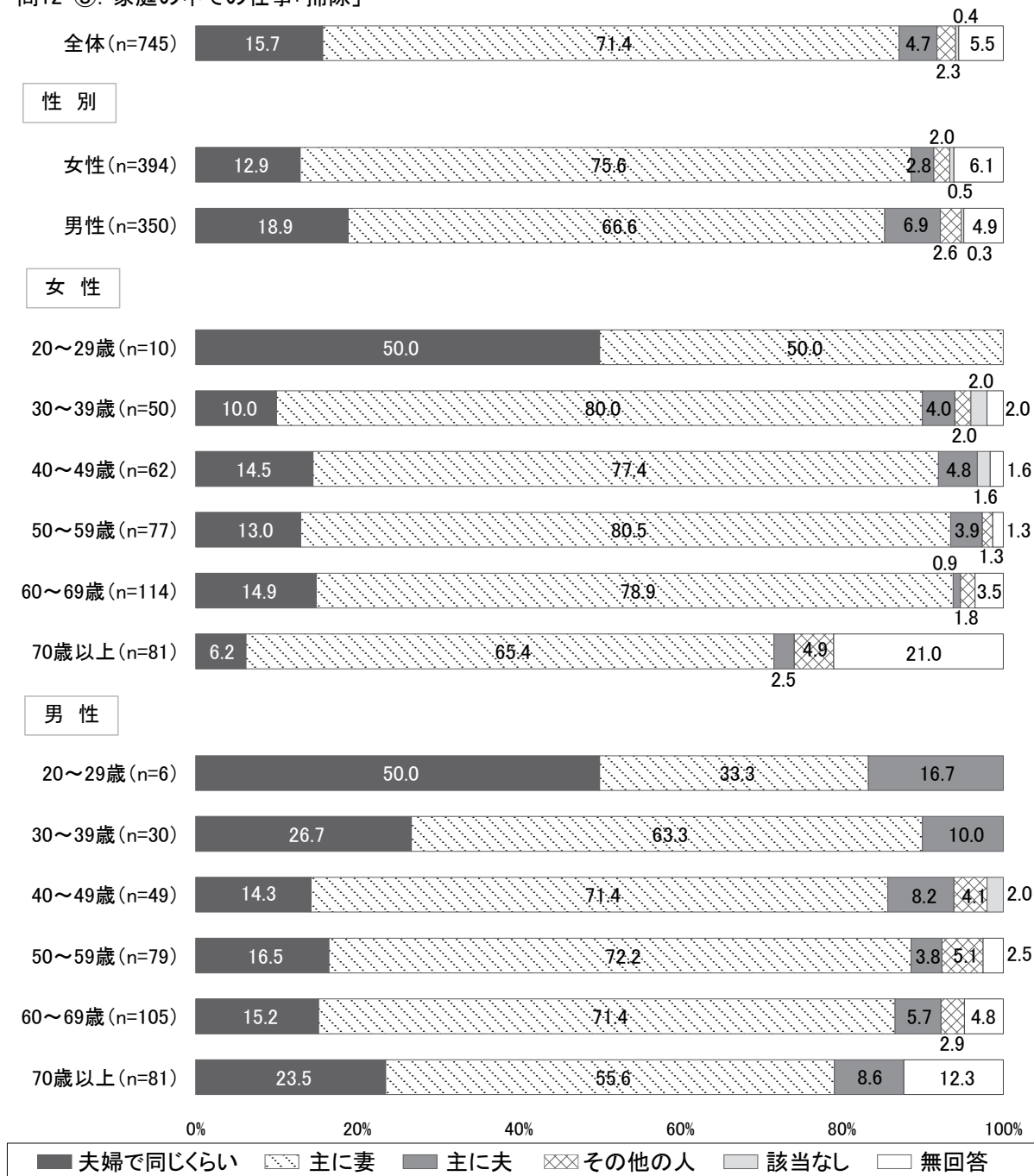
問12-④. 家庭の中での仕事「食事の後片付け」



「掃除」については、全体では、「主に妻」の割合が71.4%と最も高く、次いで「夫婦で同じくらい」の割合が15.7%となっています。

性別年代別で見ると、30歳代女性では、「夫婦で同じくらい」の割合が10.0%と、同年代の男性よりも16.7ポイント低くなっている一方、「主に妻」の割合が80.0%と、同年代の男性よりも16.7ポイント高くなっています。また、70歳以上の女性では、「夫婦で同じくらい」の割合が6.2%と、同年代の男性よりも17.3ポイント低くなっています。

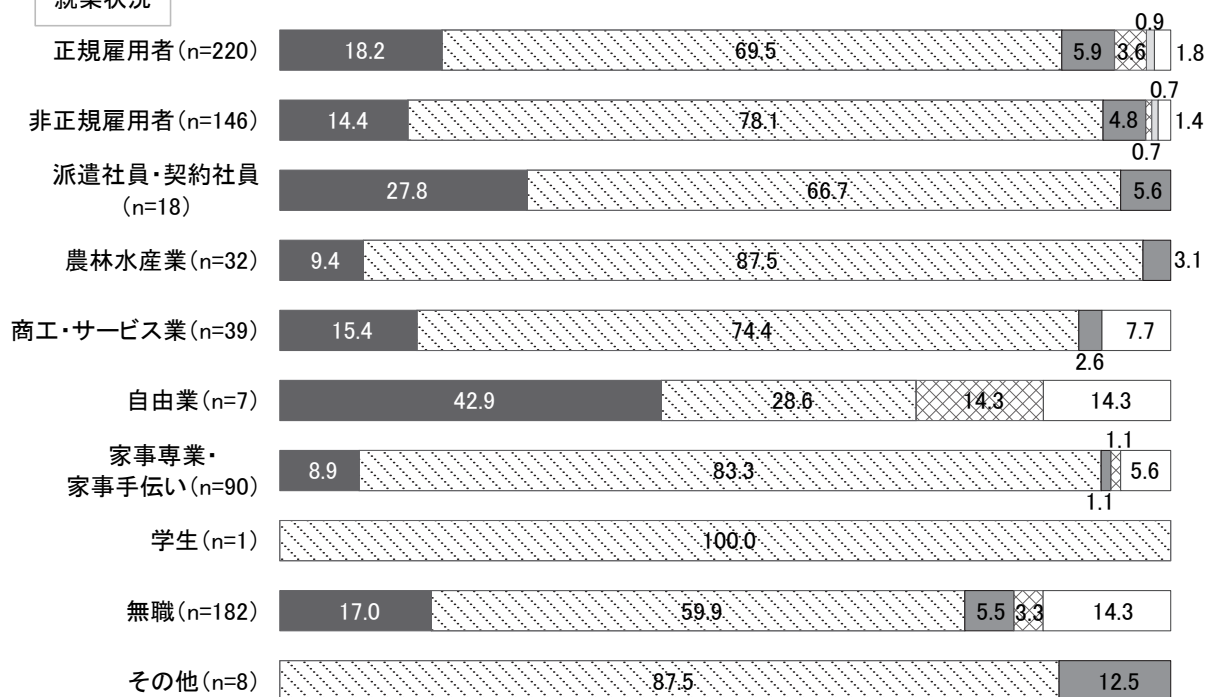
問12-⑤. 家庭の中での仕事「掃除」



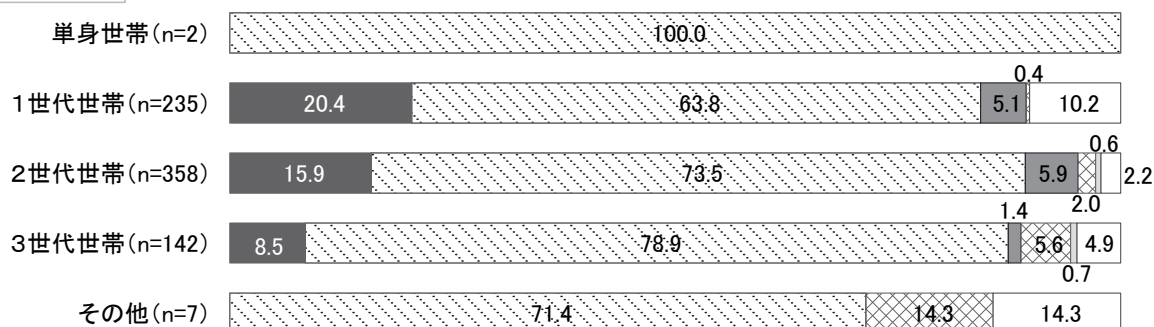
家族構成別でみると、同居している世代の数が多くなるほど「夫婦で同じくらい」の割合が低くなる一方、「主に妻」の割合が高くなっています。

問12-⑤. 家庭の中での仕事「掃除」

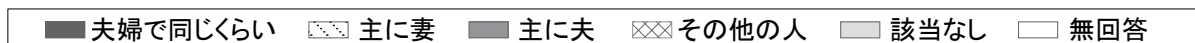
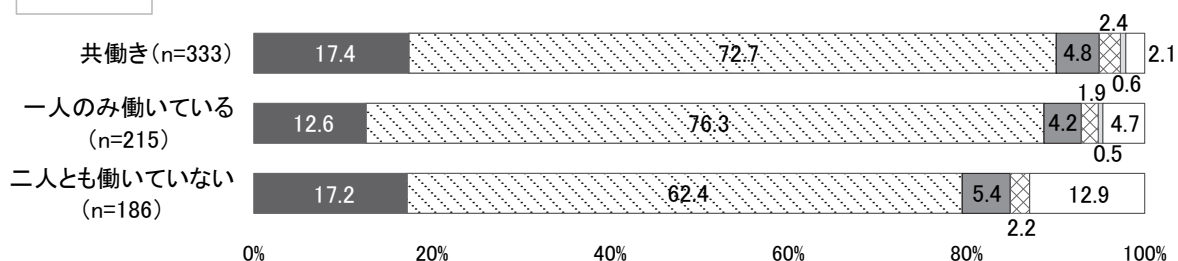
就業状況



家族構成



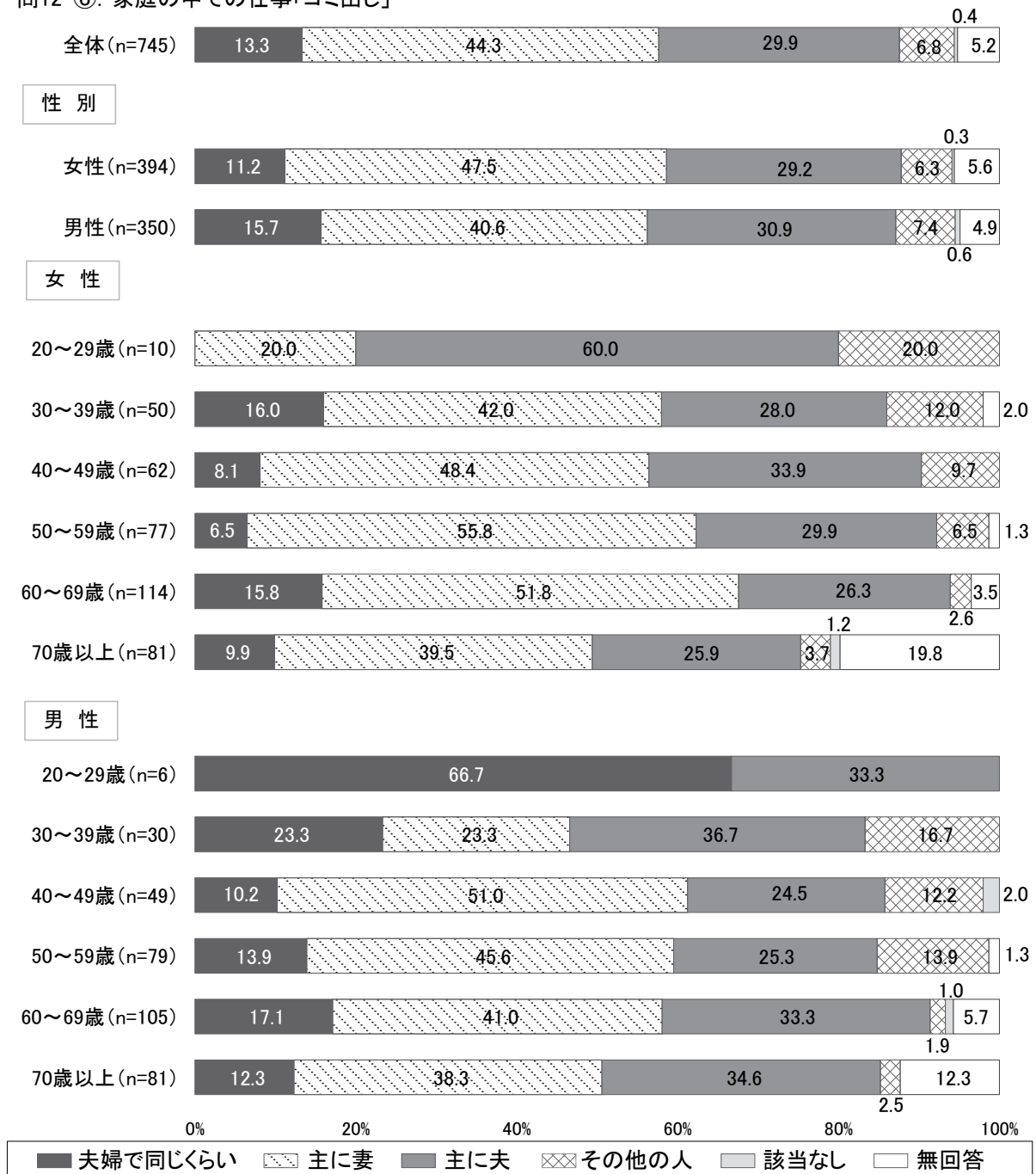
共働き



「ゴミ出し」については、全体では、「主に妻」の割合が44.3%と最も高く、次いで「主に夫」の割合が29.9%となっています。

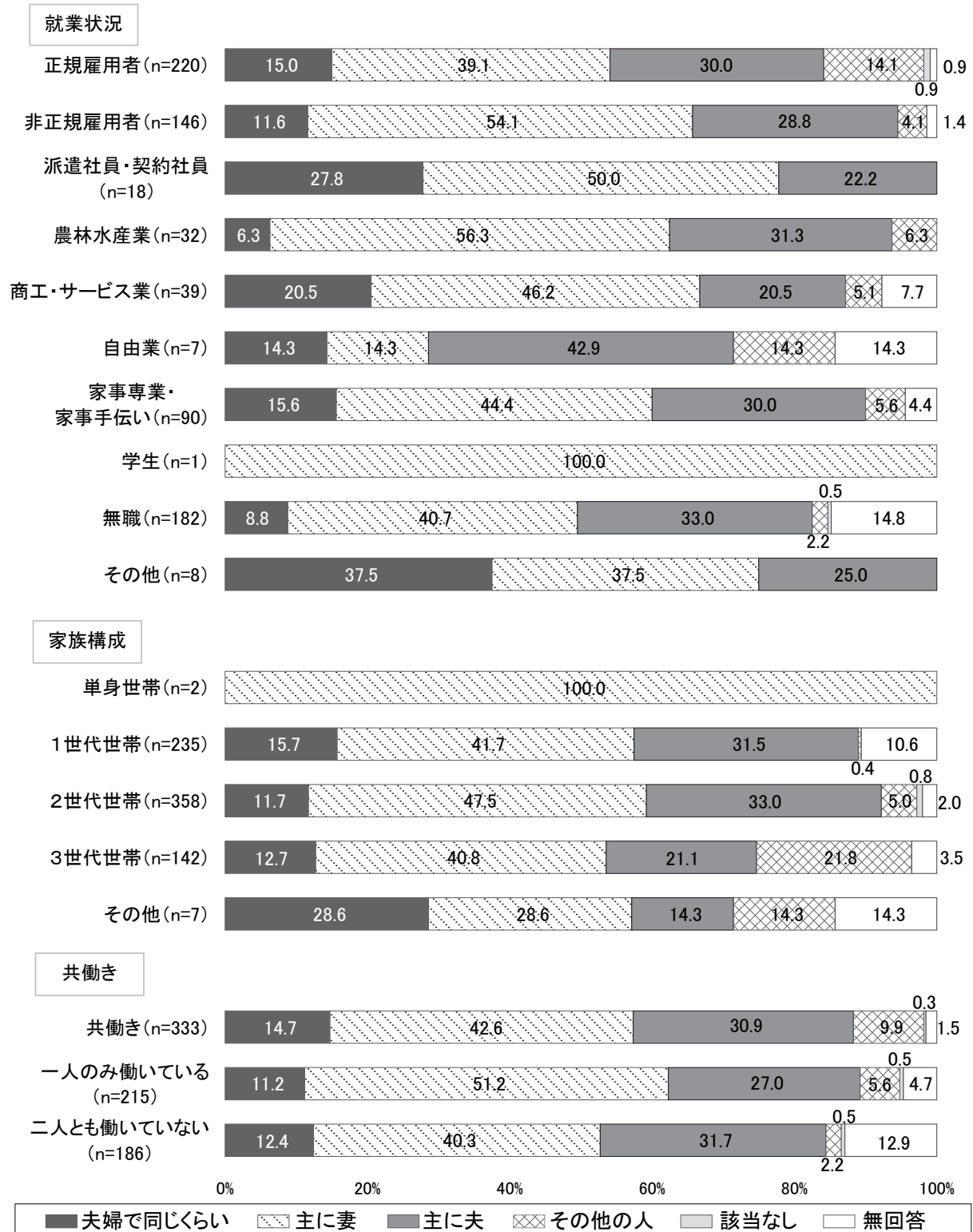
性別年代別で見ると、20歳代女性では、「主に夫」の割合が60.0%となっています。また、20歳代男性では、「夫婦で同じくらい」の割合が66.7%となっています。さらに、30歳代男性では、「主に夫」の割合が36.7%と最も高くなっています。

問12-⑥. 家庭の中での仕事「ゴミ出し」



就業状況別でみると、派遣社員・契約社員では、「夫婦で同じくらい」が27.8%となっています。  
 家族構成別でみると、3世代世帯では、「その他の人」の割合が21.8%となっています。

問12-⑥. 家庭の中での仕事「ゴミ出し」

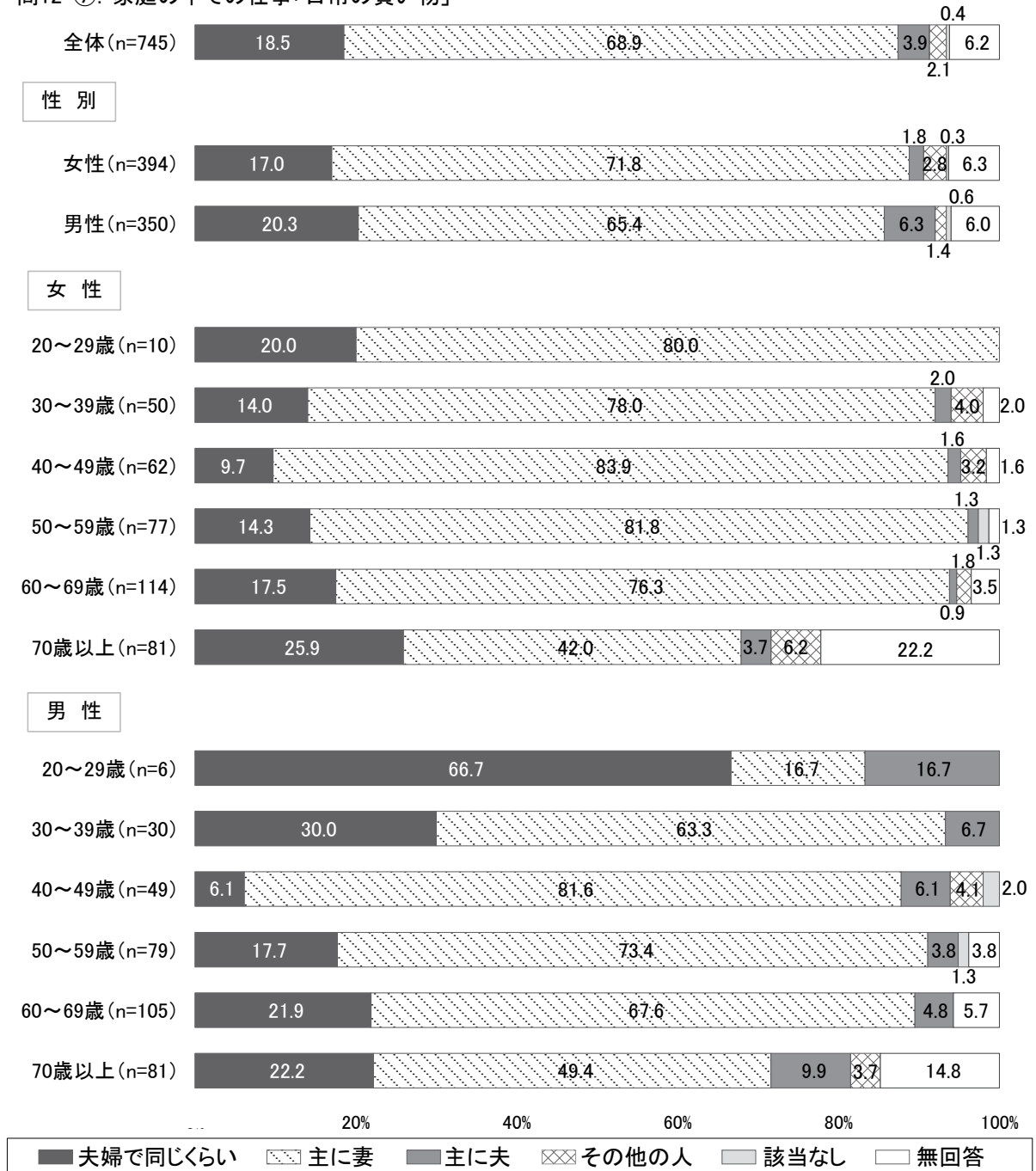




「日常の買い物」については、全体では、「主に妻」の割合が68.9%と最も高く、次いで「夫婦で同じくらい」の割合が18.5%となっています。

性別年代別で見ると、20歳代男性では、「夫婦で同じくらい」の割合が66.7%となっています。また、40歳代男性では、「夫婦で同じくらい」の割合が6.1%と、同性の他の年代よりも10ポイント以上低くなっています。

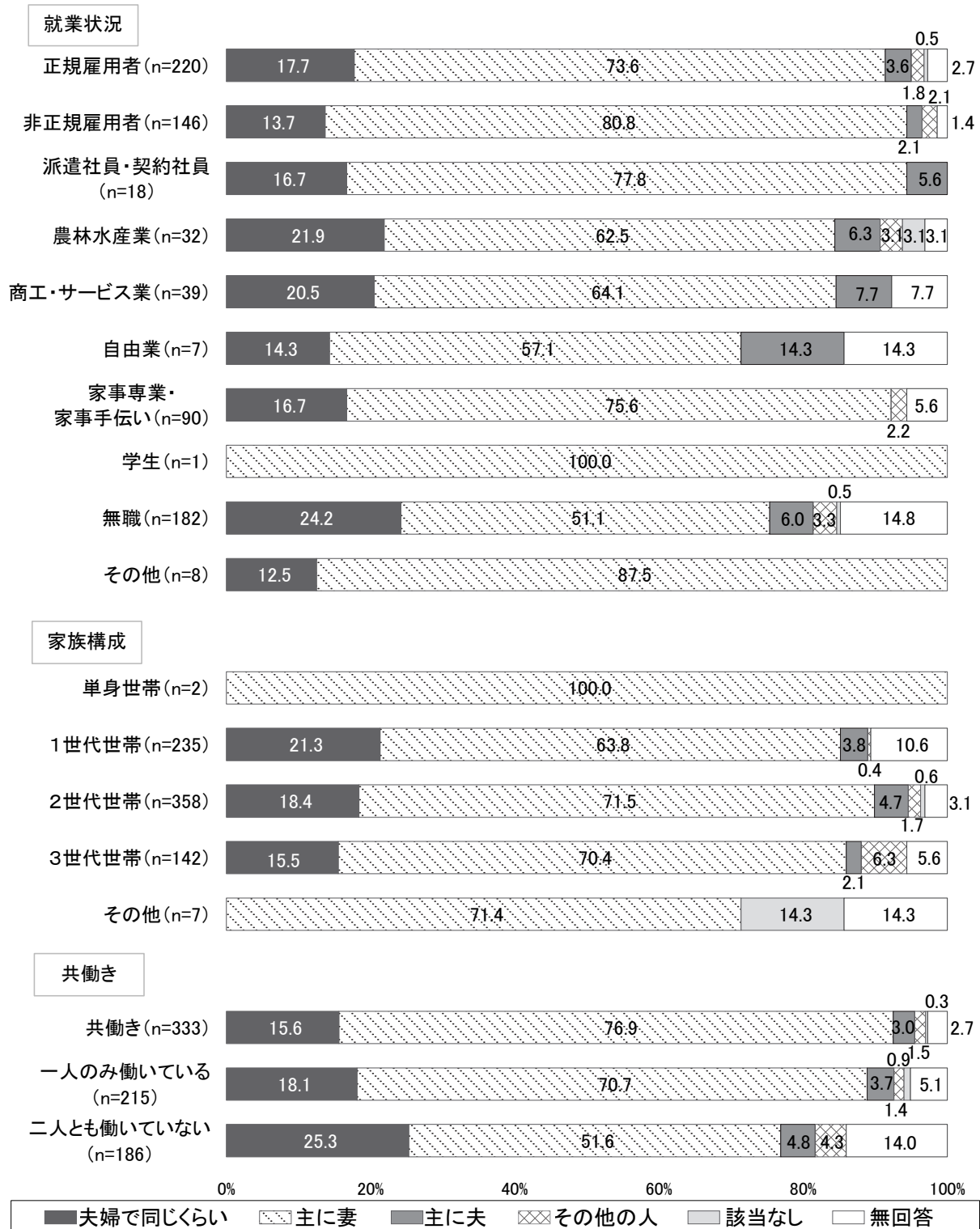
問12-⑦. 家庭の中での仕事「日常の買い物」



家族構成別でみると、同居している世代の数が多くなるほど「夫婦で同じくらい」の割合が低くなっています。

共働き状況別でみると、働く人の数が少なくなるほど「夫婦で同じくらい」の割合が高くなる一方、「主に妻」の割合が低くなっています。

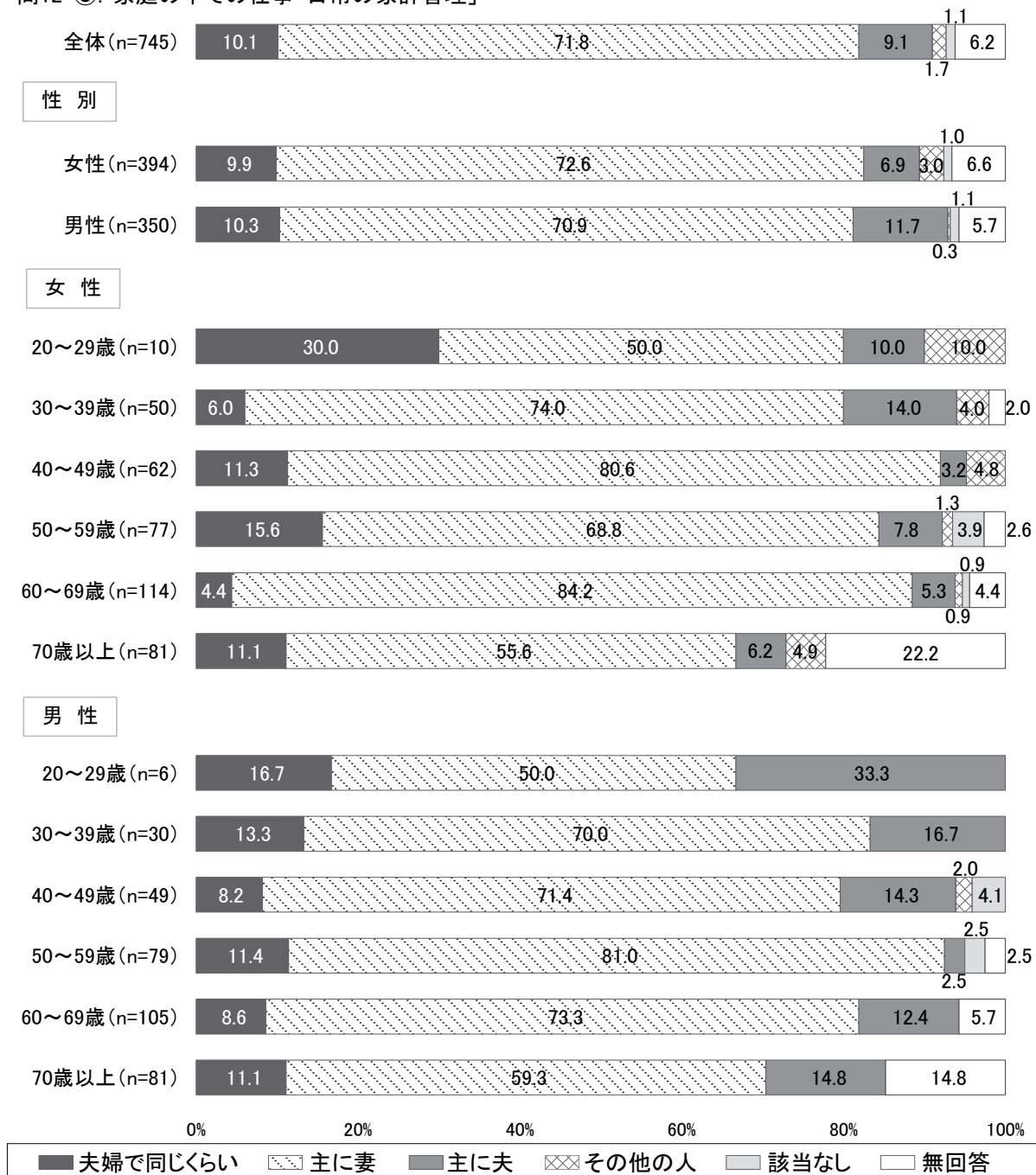
問12-⑦. 家庭の中での仕事「日常の買い物」



「日常の家計管理」については、全体では、「主に妻」の割合が71.8%と最も高く、次いで「夫婦で同じくらい」の割合が10.1%となっています。

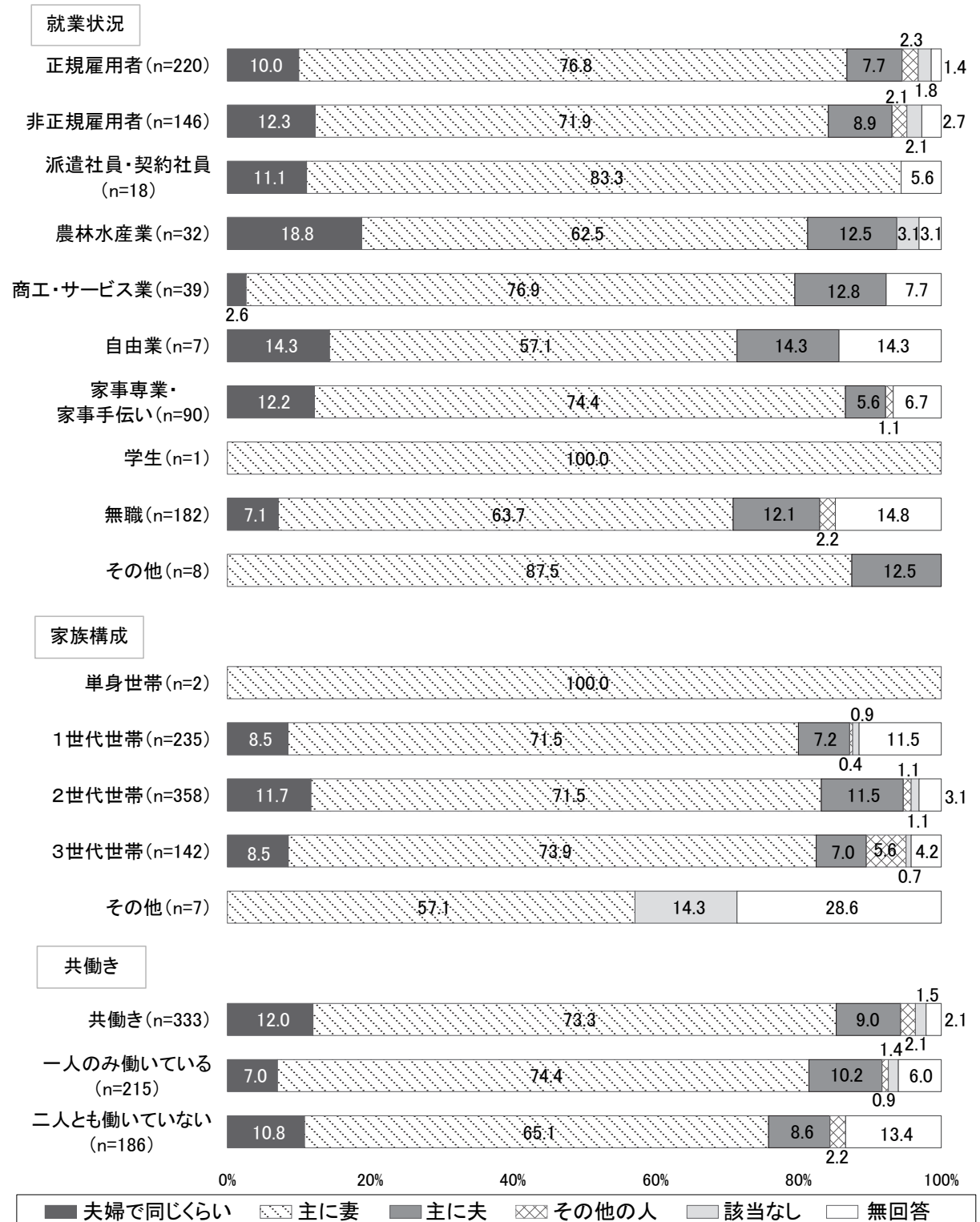
性別年代別で見ると、20歳代女性では、「夫婦で同じくらい」の割合が30.0%となっています。また、20歳代男性では、「主に夫」の割合が33.3%と、同性の他の年代よりも15ポイント以上高くなっています。さらに、50歳代男性では、「主に夫」の割合が2.5%と、同性の他の年代よりも9.9ポイント以上低くなっています。

問12-⑧. 家庭の中での仕事「日常の家計管理」



就業状況別でみると、派遣社員・契約社員では、「主に妻」の割合が83.3%となっており、「主に夫」と回答した人はいません。また、農林水産業では、「夫婦で同じくらい」の割合が18.8%と、就業状況別の中では唯一、約2割に及んでいます。

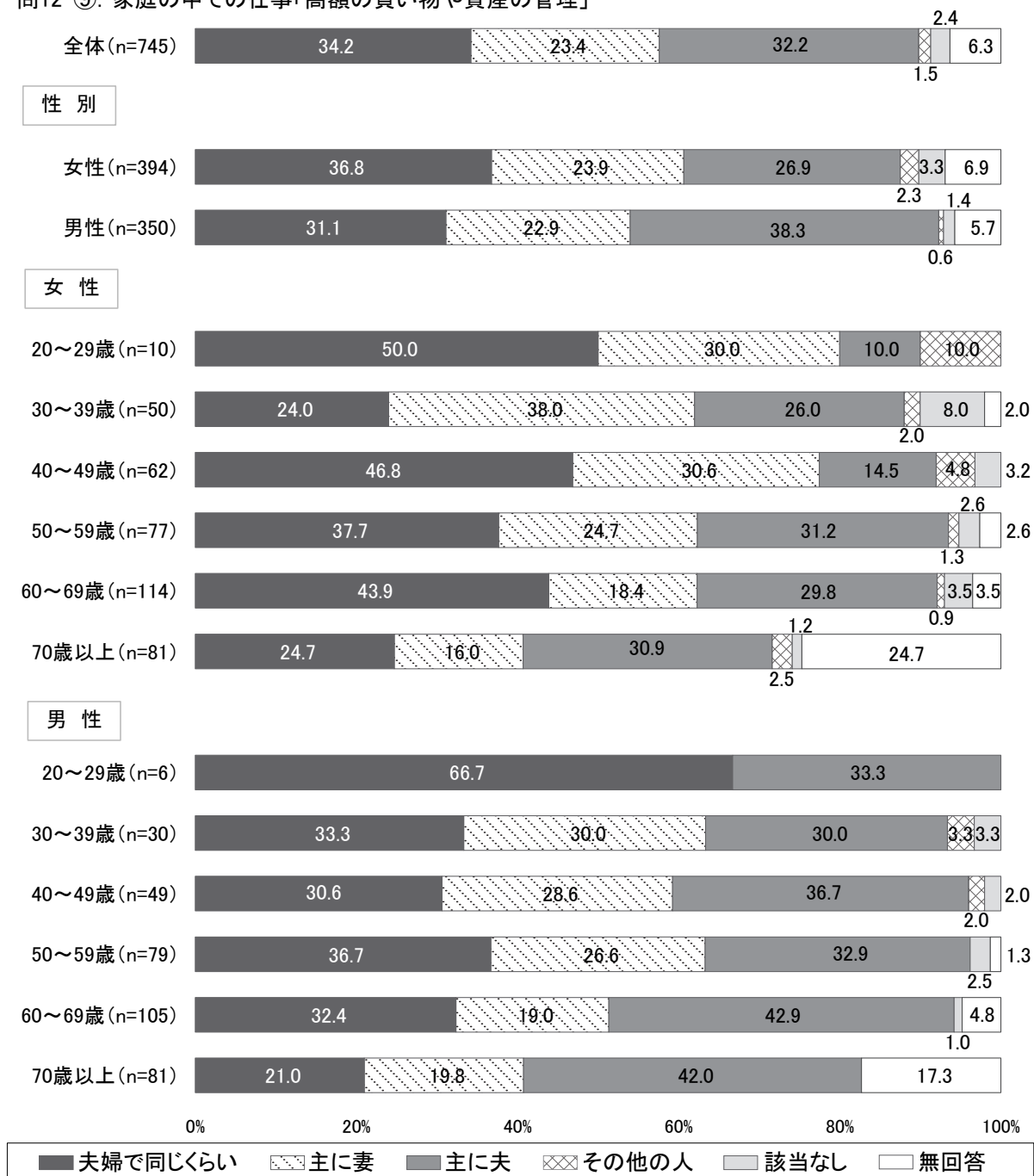
問12-⑧. 家庭の中での仕事「日常の家計管理」



「高額の買い物や資産の管理」については、全体では、「夫婦で同じくらい」の割合が34.2%と最も高く、次いで「主に夫」の割合が32.2%となっています。

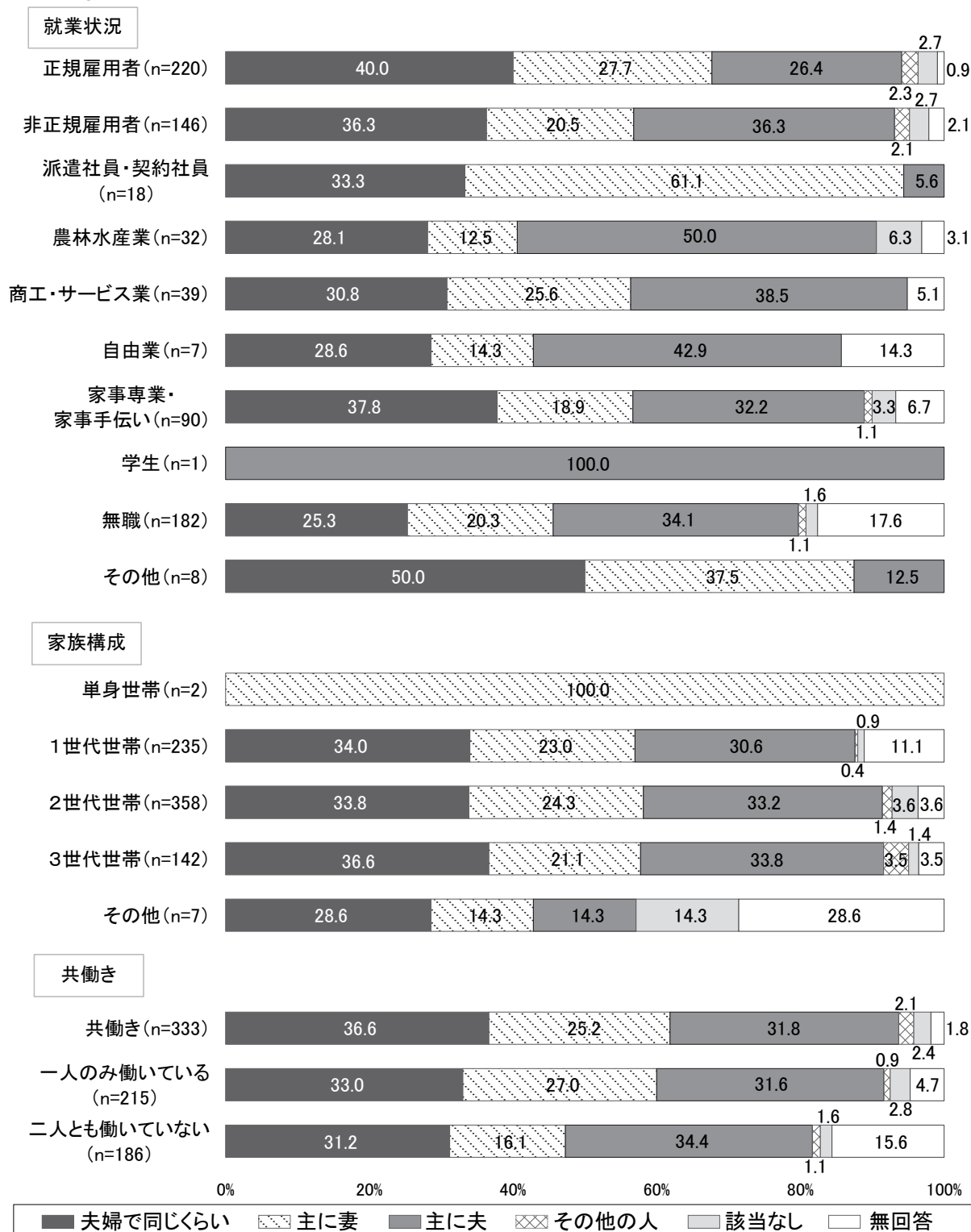
性別年代別でみると、20歳代女性と40歳代女性では、「主に夫」の割合が1割台と、同性の他の年代よりも10ポイント以上低くなっています。また、30歳代女性と70歳代女性では、「夫婦で同じくらい」の割合が2割台半ばと、同性の他の年代よりも10ポイント以上低くなっています。さらに、20歳代男性では、「夫婦で同じくらい」の割合が66.7%と非常に高くなっています。

問12-⑨. 家庭の中での仕事「高額の買い物や資産の管理」



就業状況別でみると、派遣社員・契約社員では、「主に妻」の割合が61.1%と、他の就業状況よりも20ポイント以上高くなっている一方、「主に夫」の割合は5.6%と、就業状況別の中では唯一、1割未満となっています。

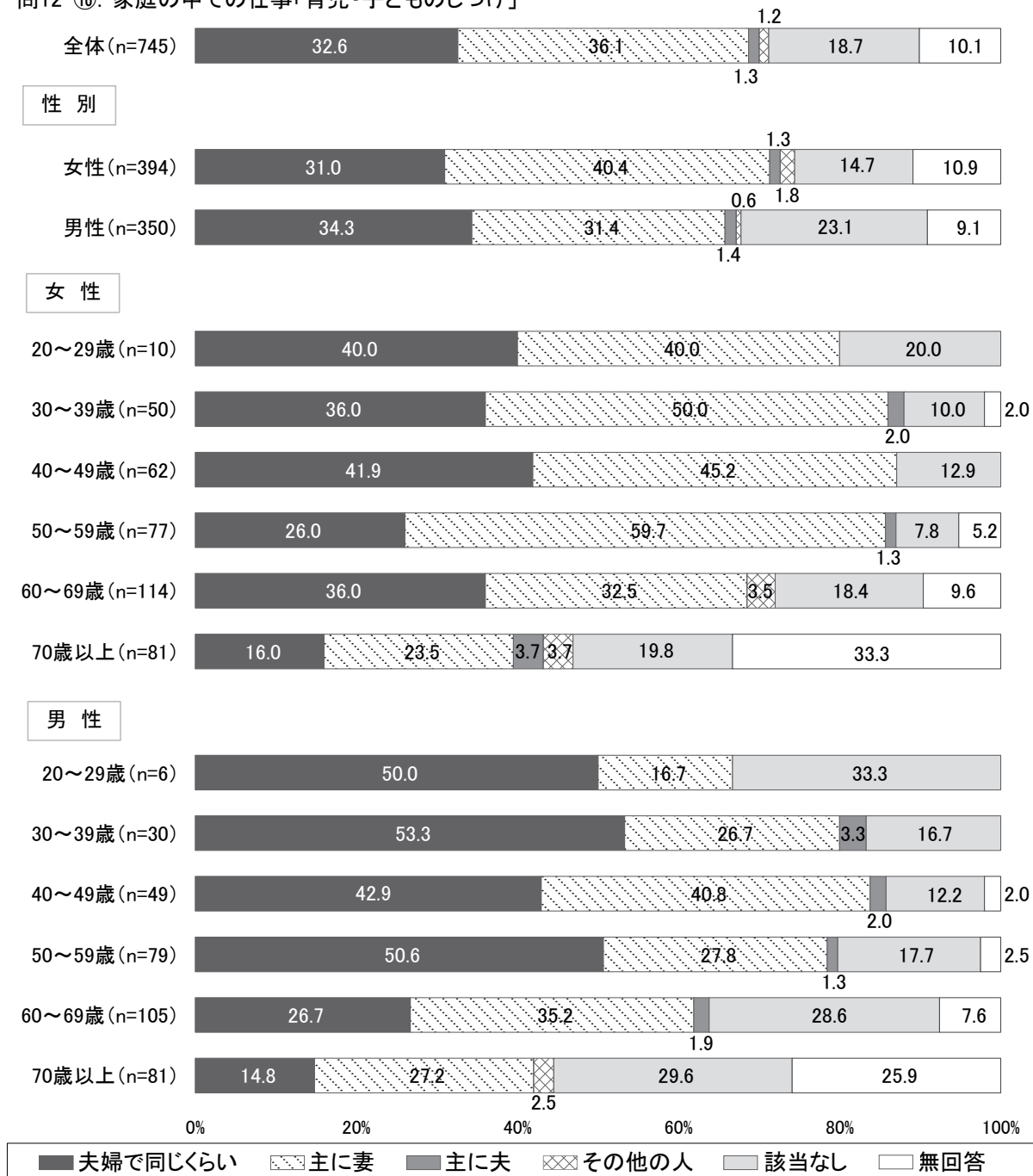
問12-⑨. 家庭の中での仕事「高額の買い物や資産の管理」



「育児・子どものしつけ」については、全体では、「主に妻」の割合が36.1%と最も高く、次いで「夫婦で同じくらい」の割合が32.6%となっています。

性別年代別で見ると、30歳代～50歳代女性では、「主に妻」の割合が最も高くなっている一方、同年代の男性では、「夫婦で同じくらい」の割合が最も高くなっています。70歳以上の男女では「夫婦で同じくらい」の割合は1割台となっており、同性の他の年代よりも10ポイント以上低くなっています。

問12-⑩. 家庭の中での仕事「育児・子どものしつけ」

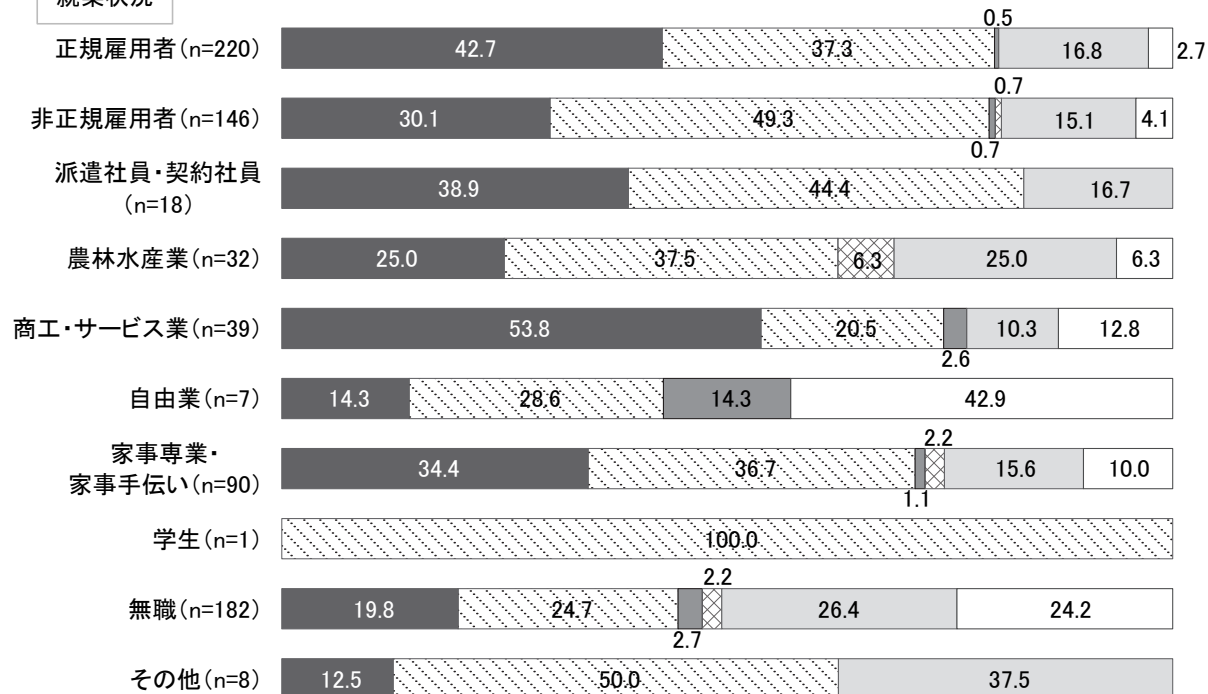


就業状況別で見ると、商工・サービス業では、「夫婦で同じくらい」の割合が53.8%と、他の就業状況よりも10ポイント以上高くなっています。

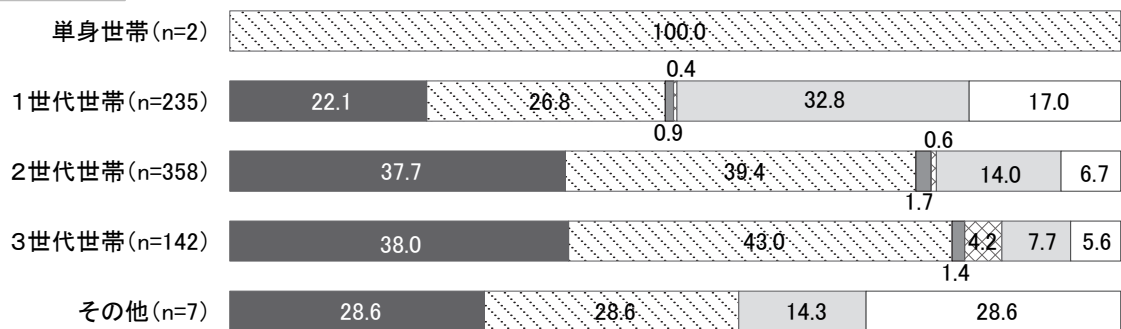
共働き状況別で見ると、共働きの場合では、「夫婦で同じくらい」の割合が43.2%と、共働きでない場合よりも15ポイント以上高くなっています。また、働く人の数が少なくなるほど「夫婦で同じくらい」の割合が低くなっています。

問12-⑩. 家庭の中での仕事「育児・子どものしつけ」

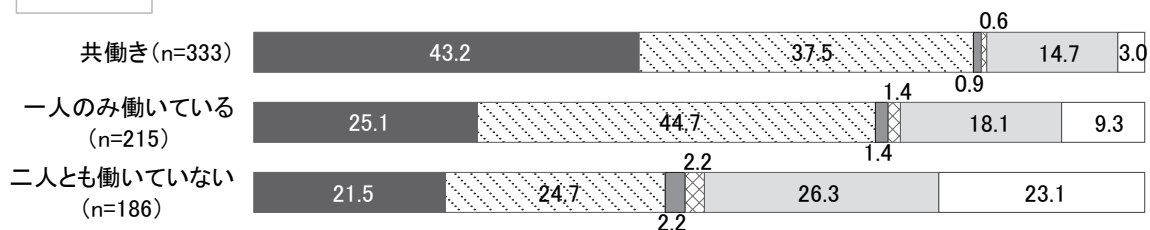
就業状況



家族構成



共働き

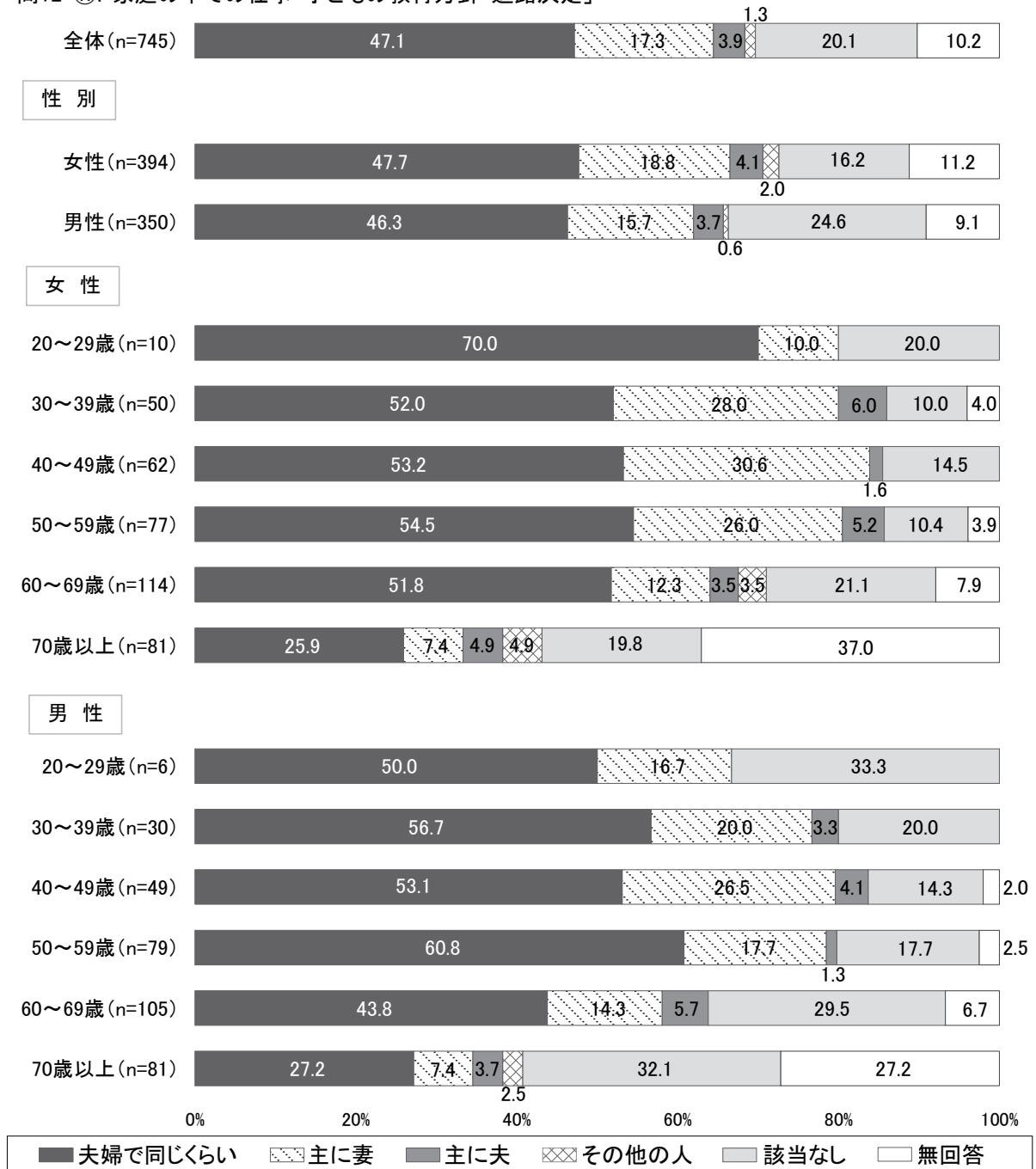




「子どもの教育方針・進路決定」については、全体では、「夫婦で同じくらい」の割合が47.1%と最も高くなっています。

性別年代別で見ると、20歳代女性では、「夫婦で同じくらい」の割合が70.0%となっています。また、70歳以上の男女では、「夫婦で同じくらい」の割合が3割未満と、同性の他の年代よりも15ポイント以上低くなっています。

問12-⑪. 家庭の中での仕事「子どもの教育方針・進路決定」



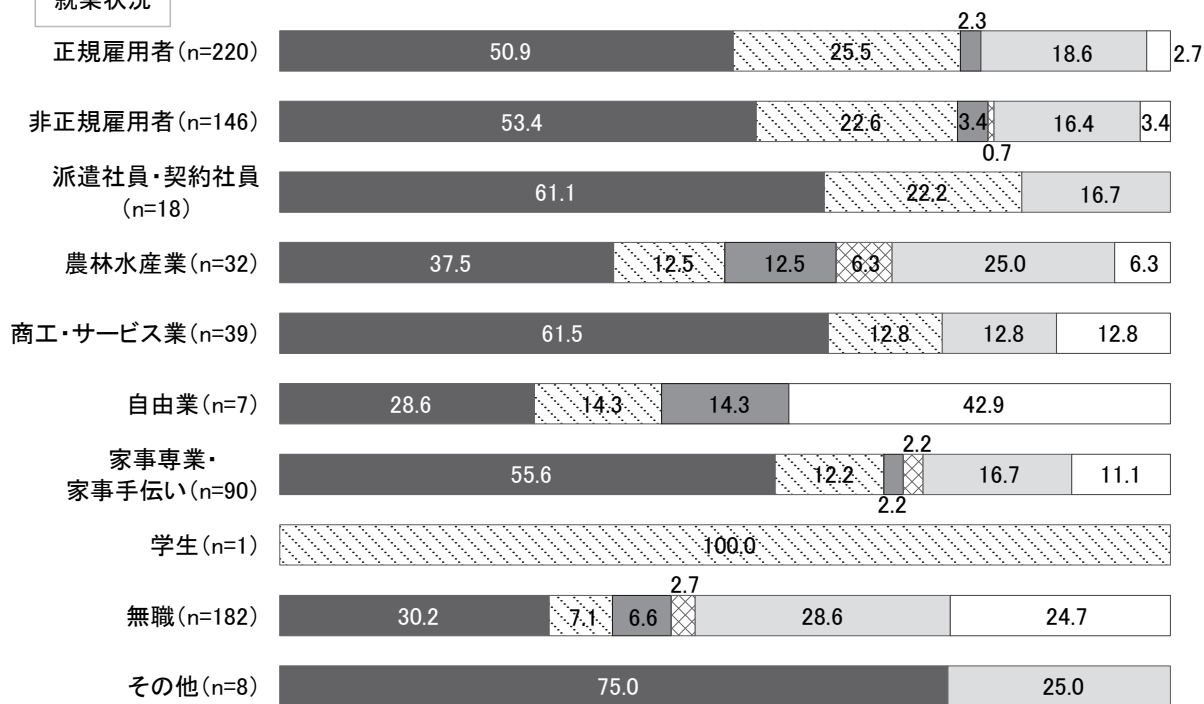
就業状況別でみると、農林水産業では、「主に夫」の割合が12.5%となっています。

家族構成別でみると、同居している世代の数が多くなるほど「夫婦で同じくらい」の割合が高くなっています。

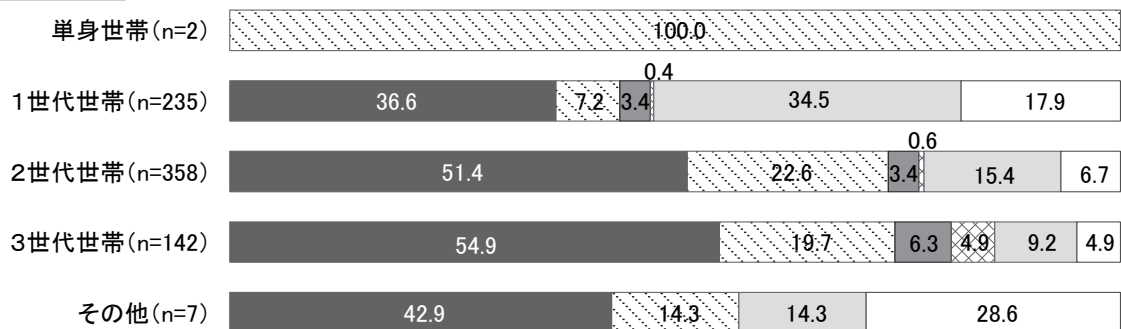
共働き状況別でみると、共働きの場合では、「夫婦で同じくらい」の割合が58.0%と、共働きでない場合よりも15ポイント以上高くなっています。また、働く人の数が少なくなるほど「夫婦で同じくらい」の割合が低くなっています。

問12-⑪. 家庭の中での仕事「子どもの教育方針・進路決定」

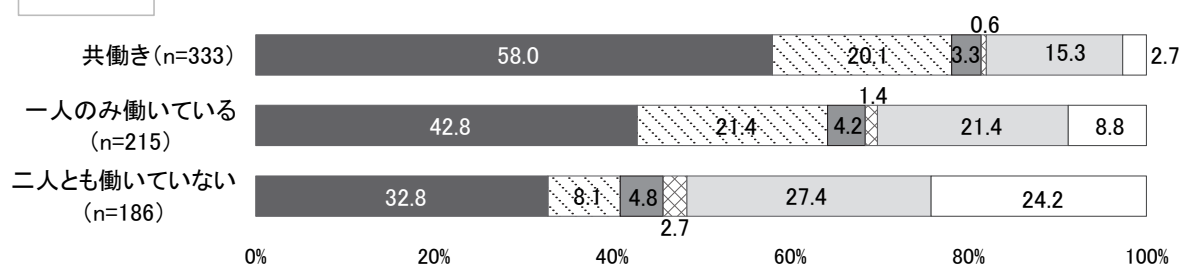
就業状況



家族構成



共働き

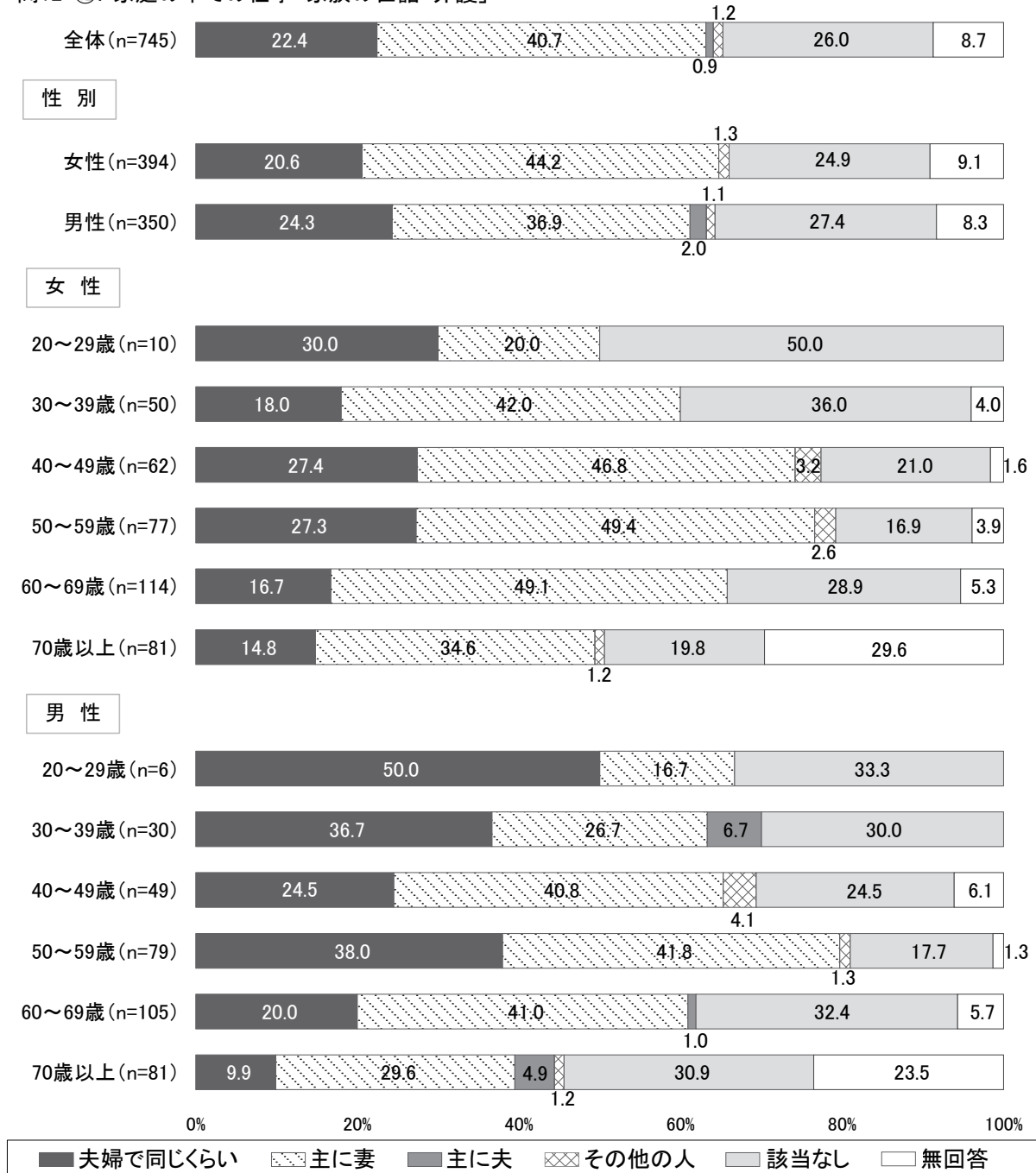


■ 夫婦で同じくらい    ▨ 主に妻    ■ 主に夫    ▩ その他の人    □ 該当なし    ◻ 無回答

「家族の世話・介護」については、全体では、「主に妻」の割合が40.7%と最も高くなっています。

性別年代別でみると、20歳代女性では、「主に妻」の割合が20.0%となっています。また、30歳代女性では、「主に妻」の割合が42.0%と最も高くなっている一方、同年代の男性では、「夫婦で同じくらい」の割合が36.7%と最も高くなっています。さらに、50歳代男性では、「夫婦で同じくらい」の割合が38.0%と、同年代の女性よりも10ポイント以上高くなっています。

問12-⑫. 家庭の中での仕事「家族の世話・介護」

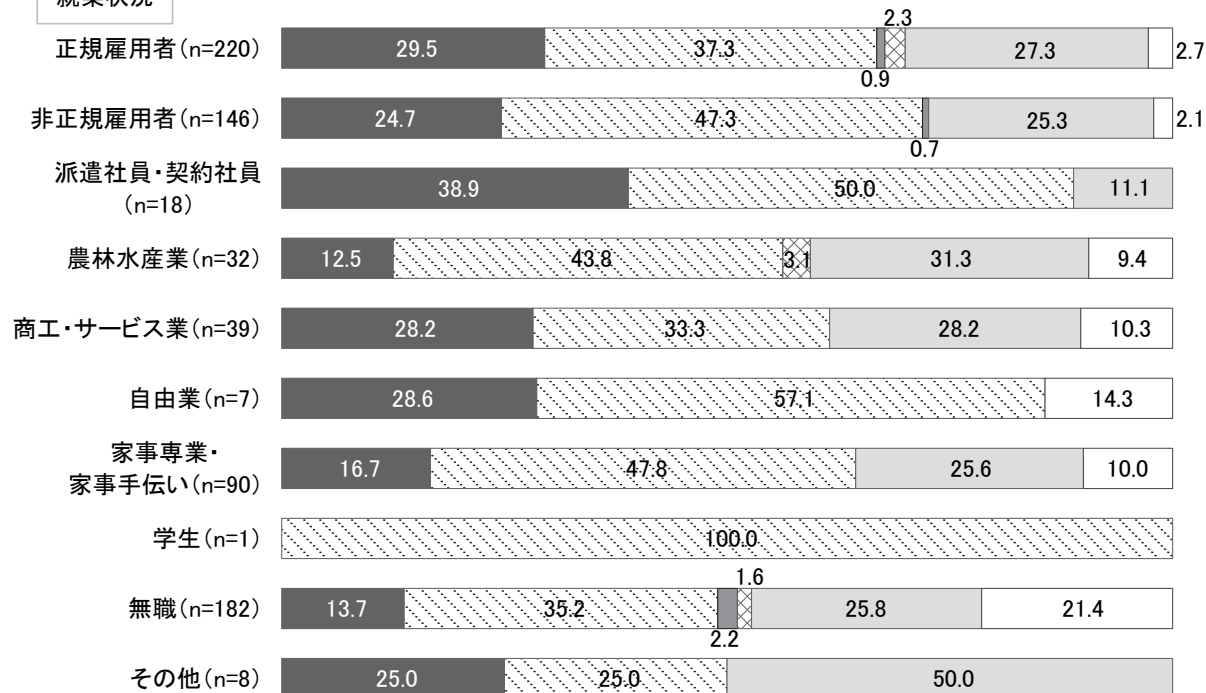


家族構成別でみると、同居している世代の数が多くなるほど「主に妻」の割合が高くなっていきます。

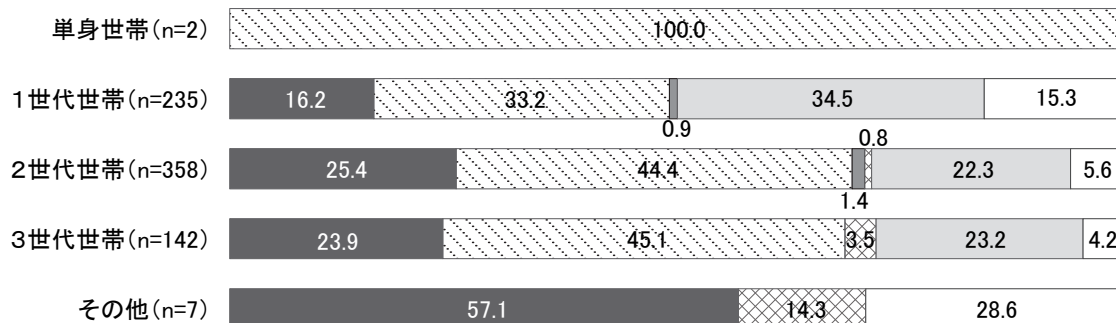
共働き状況別でみると、働く人の数が少なくなるほど「夫婦で同じくらい」の割合が低くなっています。

問12-⑫. 家庭の中での仕事「家族の世話・介護」

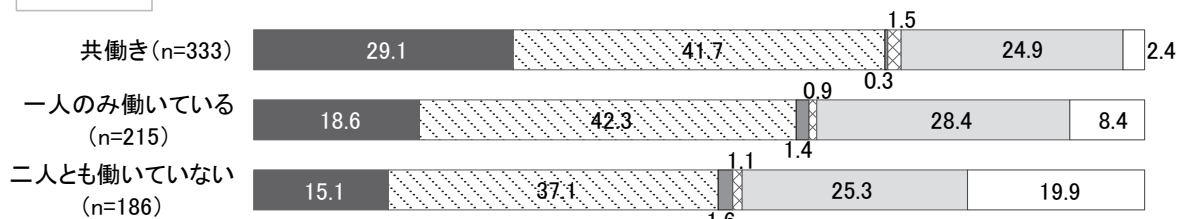
就業状況



家族構成



共働き



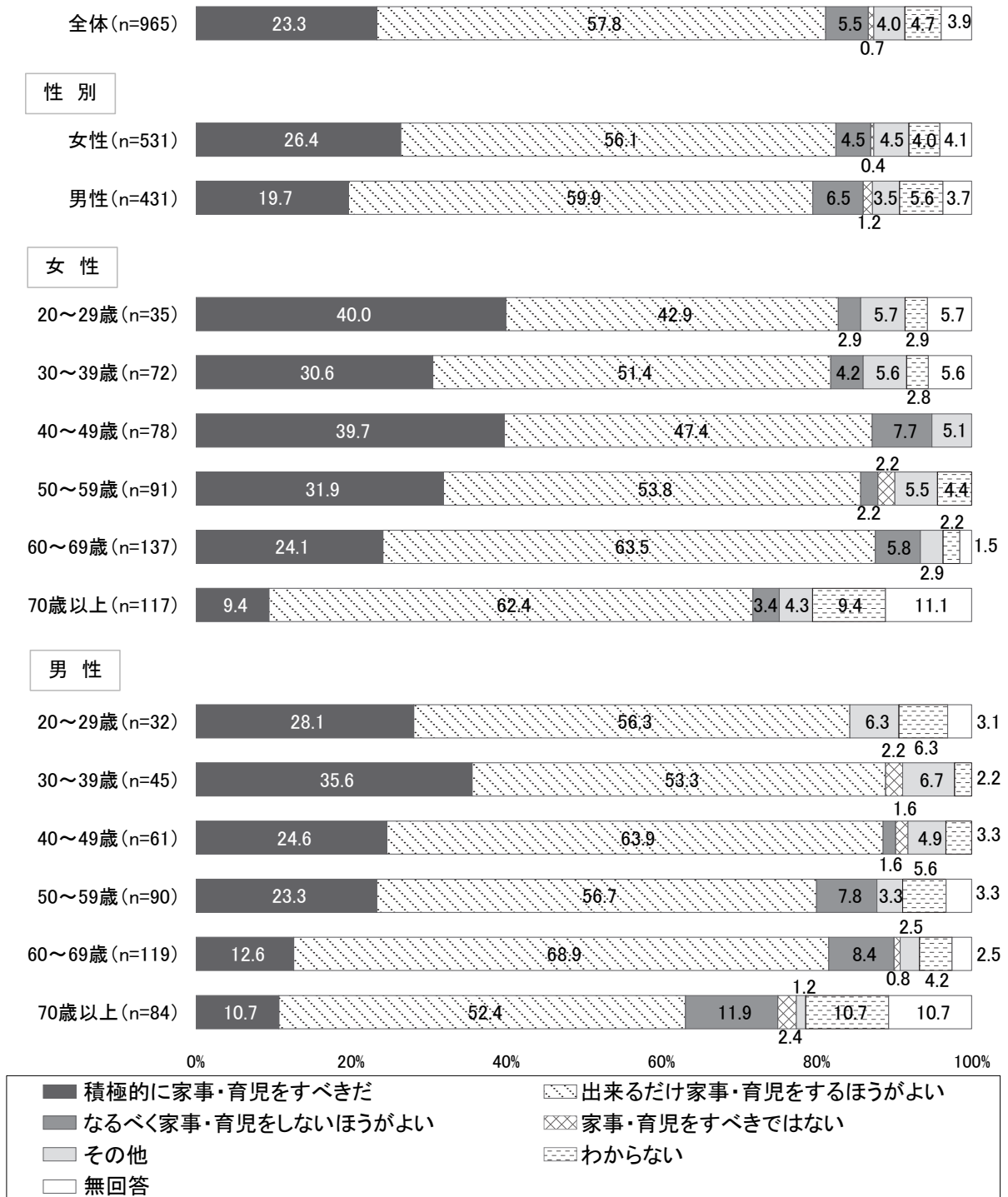
■ 夫婦で同じくらい    ▨ 主に妻    ■ 主に夫    ▩ その他の人    □ 該当なし    ◻ 無回答

問13. あなたは、毎日の生活の中で男性が家事（炊事・洗濯・掃除）・育児などをするについて、どう思いますか。（○は1つ）

全体では、「出来るだけ家事・育児をするほうがよい」の割合が57.8%と最も高く、次いで「積極的に家事・育児をすべきだ」の割合が23.3%となっています。

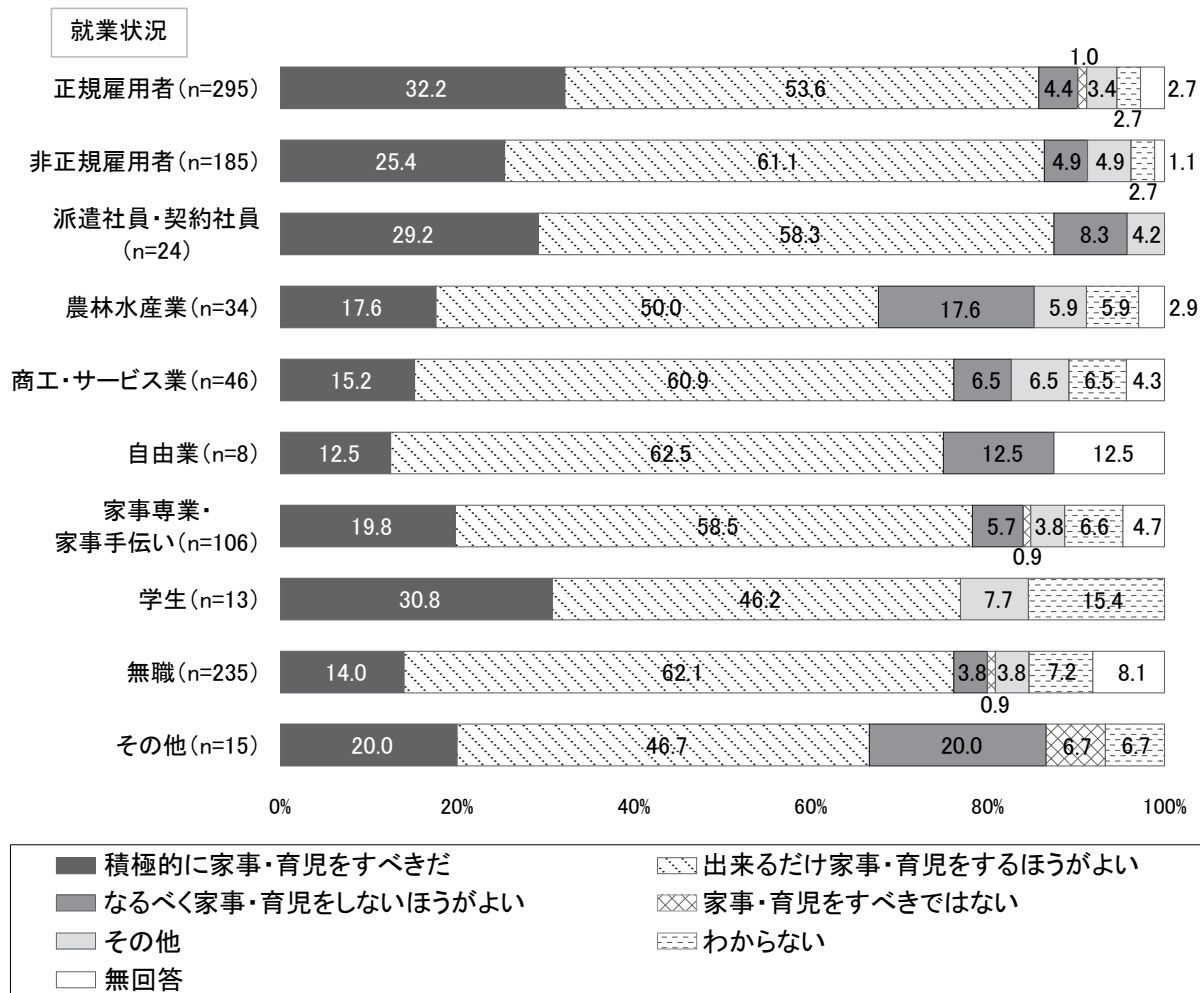
性別年代別でみると、70歳以上の女性では、「積極的に家事・育児をすべきだ」の割合が9.4%と、同性の他の年代よりも10ポイント以上低くなっています。また、40歳以上の男性では、年代が上がるほど「なるべく家事・育児をしないほうがよい」の割合が高く、70歳以上の男性では11.9%と、性別年代別の中では唯一、1割を超えています。

問13. 男性が家事・育児などをする事



就業状況別でみると、農林水産業では、「なるべく家事・育児をしないほうがよい」の割合が17.6%となっています。また、農林水産業では、「積極的に家事・育児をすべきだ」と「出来るだけ家事・育児をするほうがよい」を合わせた割合が67.6%となっている一方、正規雇用者と非正規雇用者、派遣社員・契約社員では9割弱を占めています。さらに、学生では、「積極的に家事・育児をすべきだ」の割合が30.8%となっており、「なるべく家事・育児をしないほうがよい」と「家事・育児をすべきではない」と回答した人はいません。

問13. 男性が家事・育児などをする事

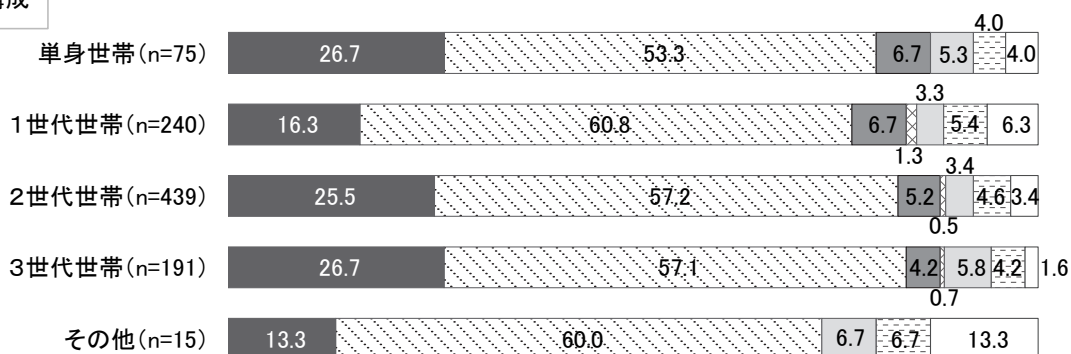


家族構成別でみると、1世代世帯では、「積極的に家事・育児をすべきだ」の割合が16.3%と、他の家族構成よりも10ポイント程度低くなっています。

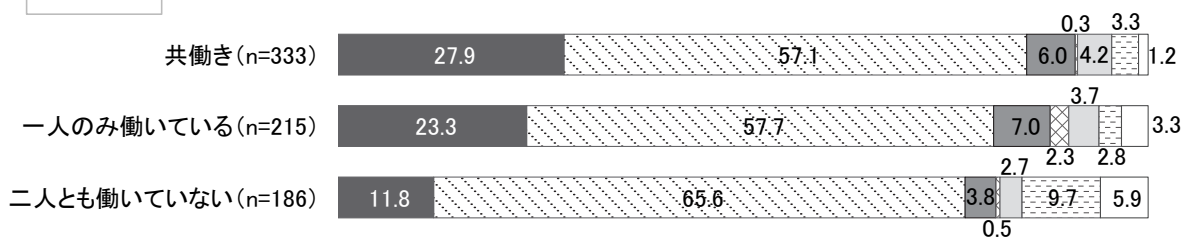
共働き状況別でみると、働く人の数が増えるほど「積極的に家事・育児をすべきだ」の割合が高くなっています。

問13. 男性が家事・育児などをする事

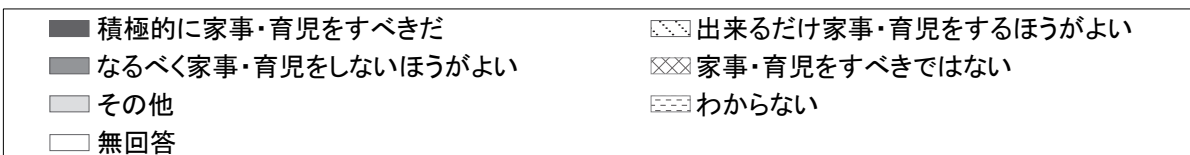
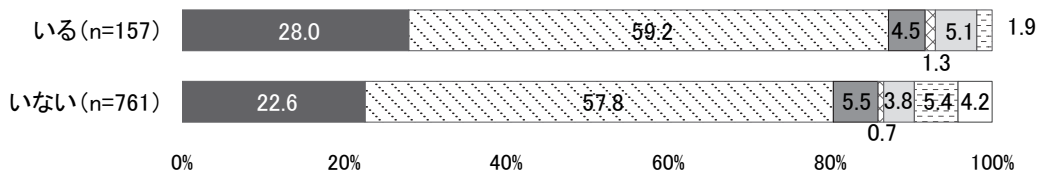
家族構成



共働き



同居している小学生以下の子ども



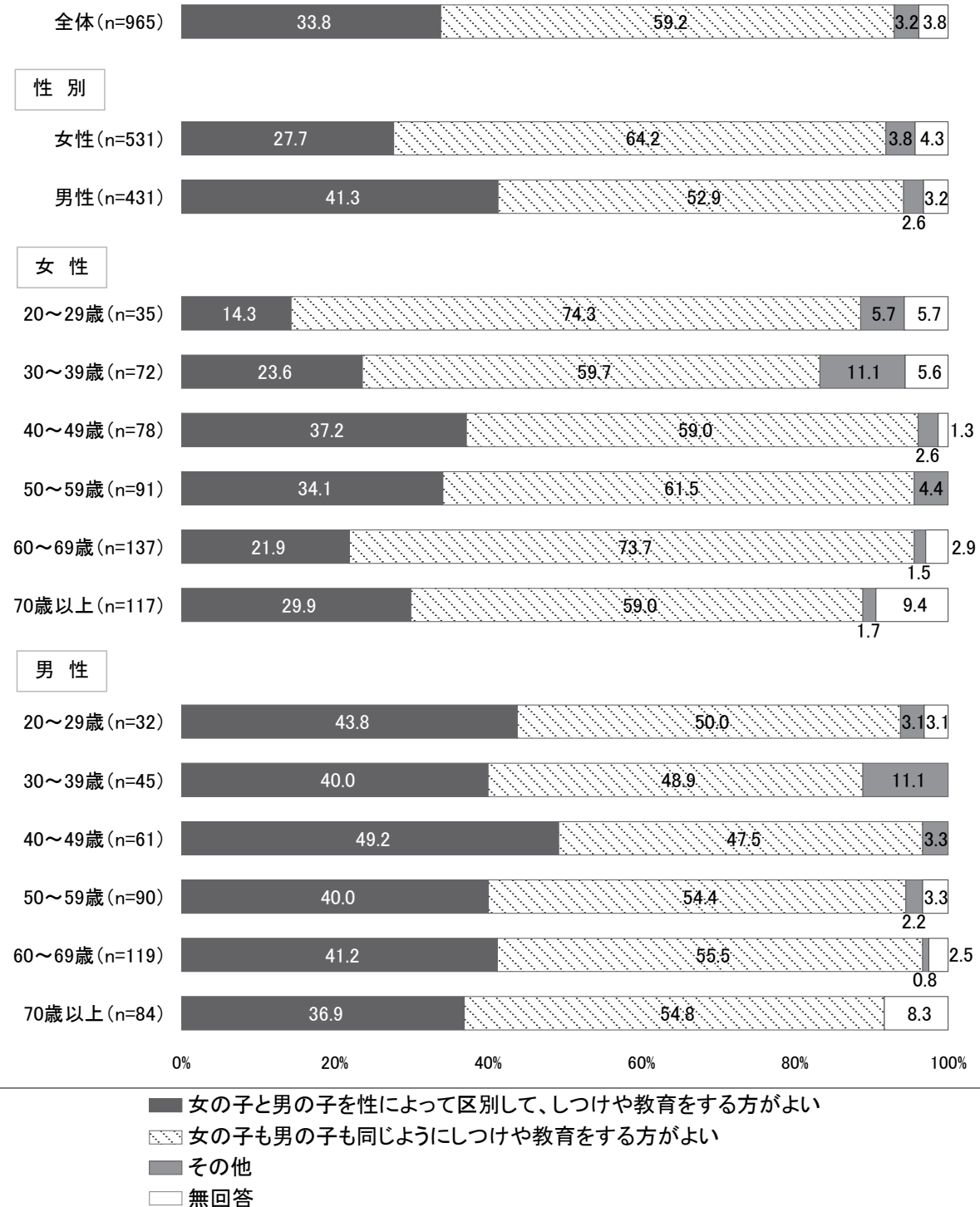
問14. あなたは、女の子と男の子のしつけや教育についてどう思いますか。(〇は1つ)

全体では、「女の子も男の子も同じようにしつけや教育をする方がよい」の割合が59.2%と最も高く、次いで「女の子と男の子を性によって区別して、しつけや教育をする方がよい」の割合が33.8%となっています。

性別でみると、女性では、「女の子と男の子を性によって区別して、しつけや教育をする方がよい」の割合が27.7%と、男性よりも13.6ポイント低くなっており、「女の子も男の子も同じようにしつけや教育をする方がよい」の割合が64.2%と、男性よりも11.3ポイント高くなっています。

性別年代別でみると、40歳代男性では、「女の子と男の子を性によって区別して、しつけや教育をする方がよい」の割合が49.2%と最も高く、性別年代別の中で唯一、「女の子も男の子も同じようにしつけや教育をする方がよい」の割合を上回っています。

問14. 子どものしつけや教育





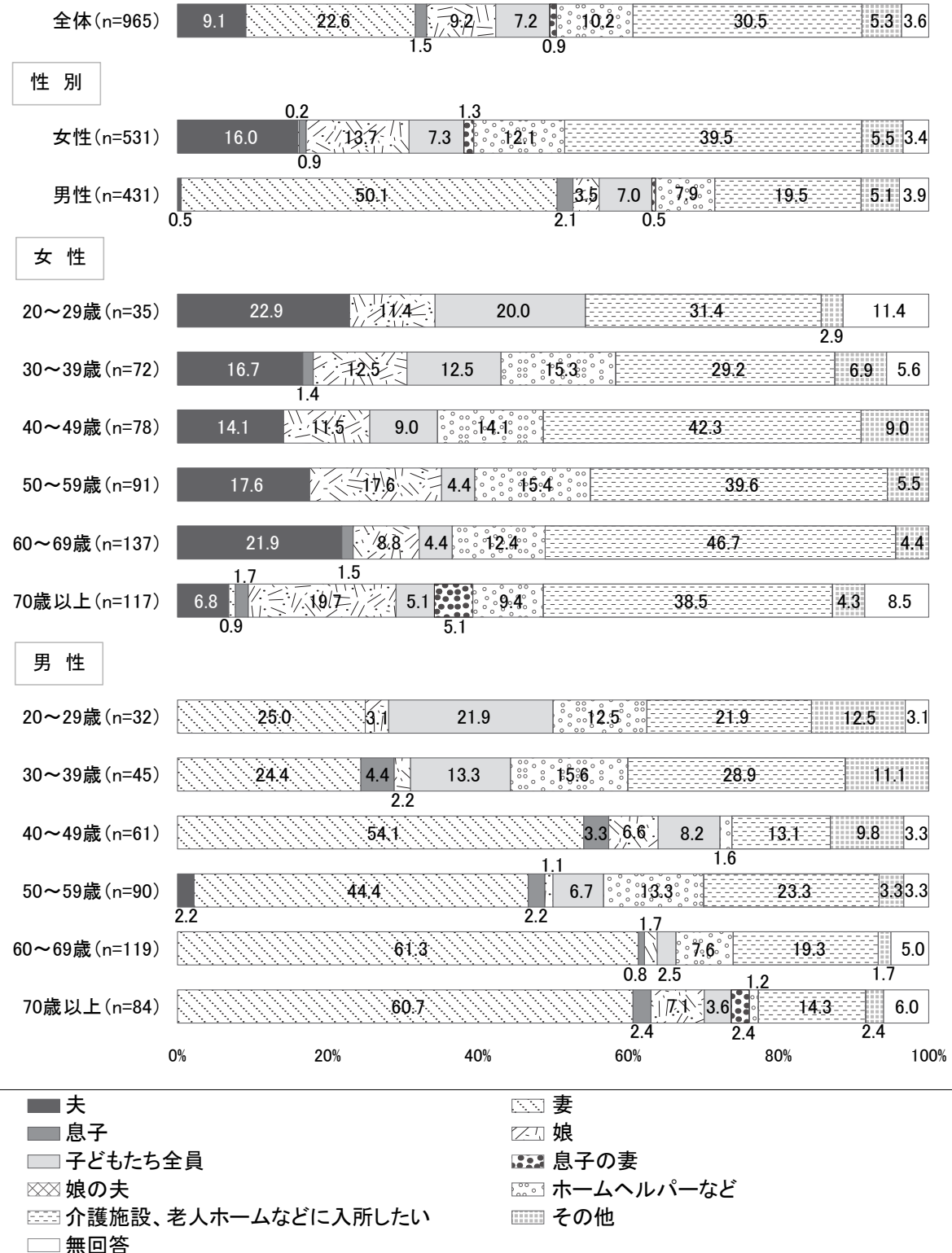
問15. あなたは将来、主に誰に介護をしてほしいと思いますか。(〇は1つ)

全体では、「介護施設、老人ホームなどに入所したい」の割合が30.5%と最も高く、次いで「妻」の割合が22.6%となっています。

性別でみると、女性では、「介護施設、老人ホームなどに入所したい」の割合が39.5%と最も高く、次いで「夫」の割合が16.0%となっています。一方、男性では、「妻」の割合が50.1%と最も高く、次いで「介護施設、老人ホームなどに入所したい」の割合が19.5%となっています。

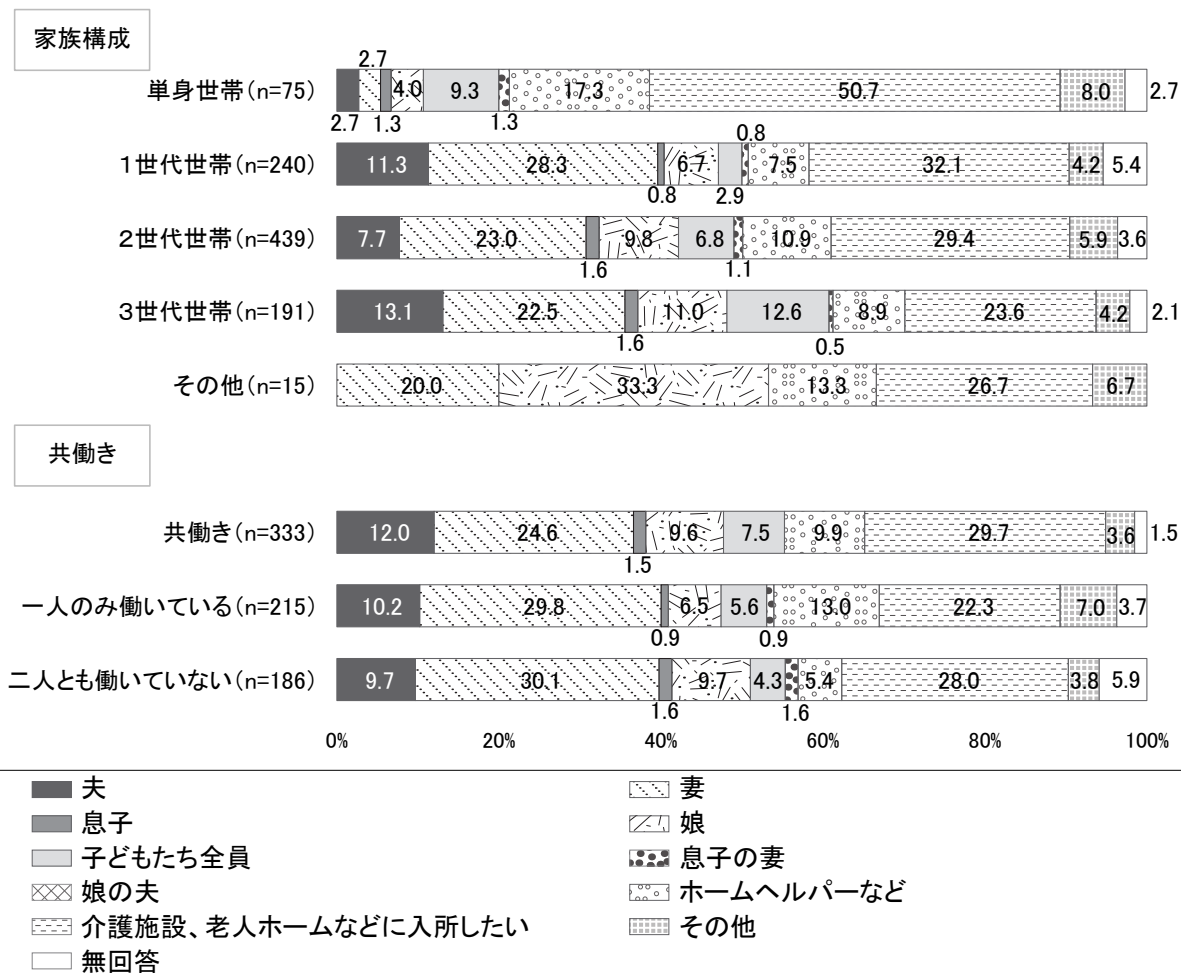
性別年代別でみると、20歳代～30歳代男性では、「妻」の割合が約25%と、同性の他の年代よりも15ポイント以上低くなっています。

問15. 将来、主に誰に介護してほしいか



家族構成別で見ると、単身世帯では、「介護施設、老人ホームなどに入所したい」の割合が50.7%と、他の家族構成よりも15ポイント以上高くなっています。また、同居している世代の数が多くなるほど「妻」の割合と「介護施設、老人ホームなどに入所したい」の割合が低くなる一方、「子どもたち全員」の割合と「娘」の割合が高くなっていきます。

問15. 将来、主に誰に介護してほしいか

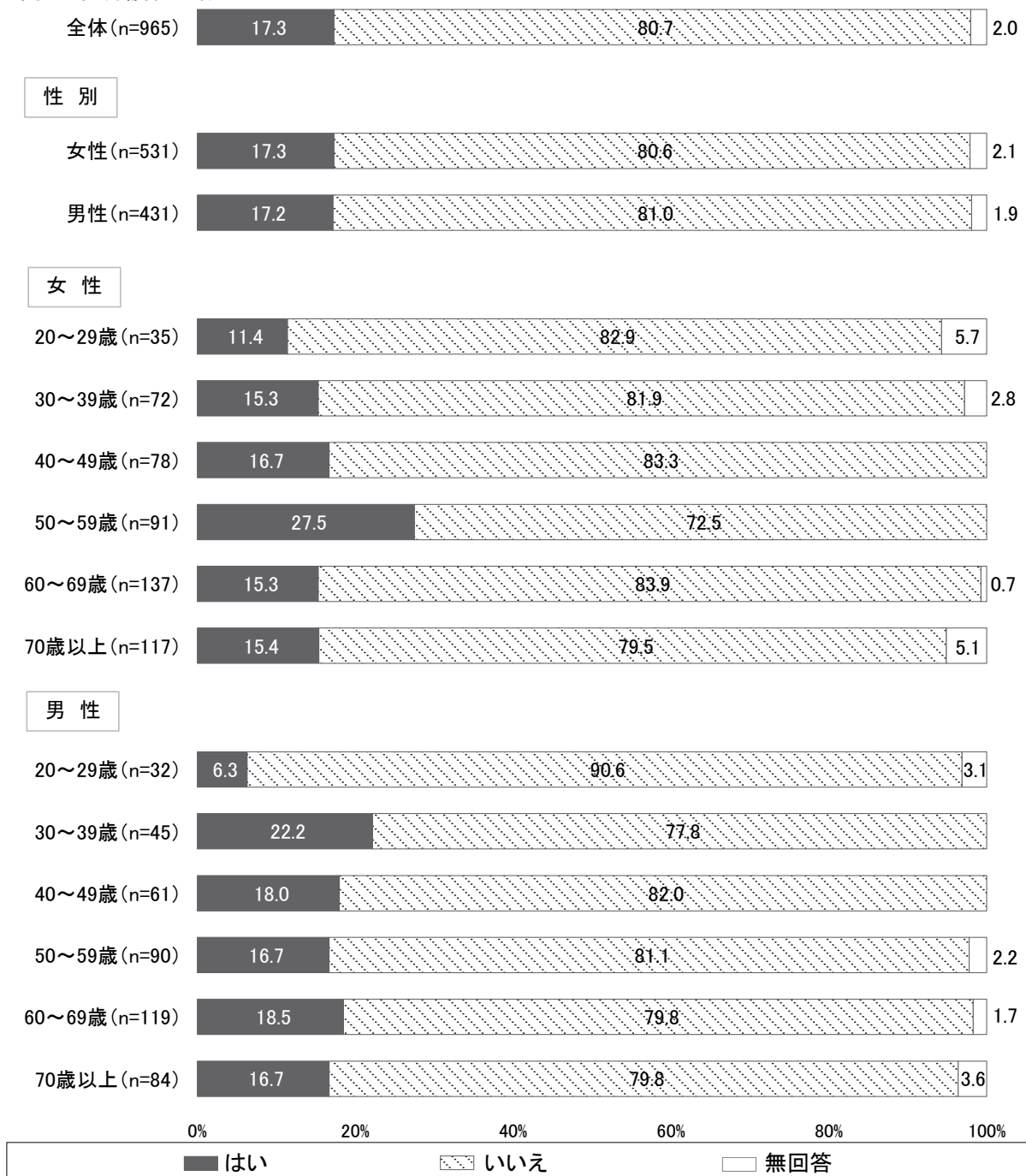


問16. あなたの家族（同居・別居に関わらず）で、常時介護の必要な方はいますか。（○は1つ）

全体では、「はい」の割合が17.3%、「いいえ」の割合が80.7%となっています。

性別年代別で見ると、50歳代女性では、「はい」の割合が27.5%と、同性の他の年代よりも10ポイント以上高くなっています。また、20歳代男性では、「はい」の割合が6.3%と、同性の他の年代よりも10ポイント以上低くなっています。

問16. 要介護者の有無



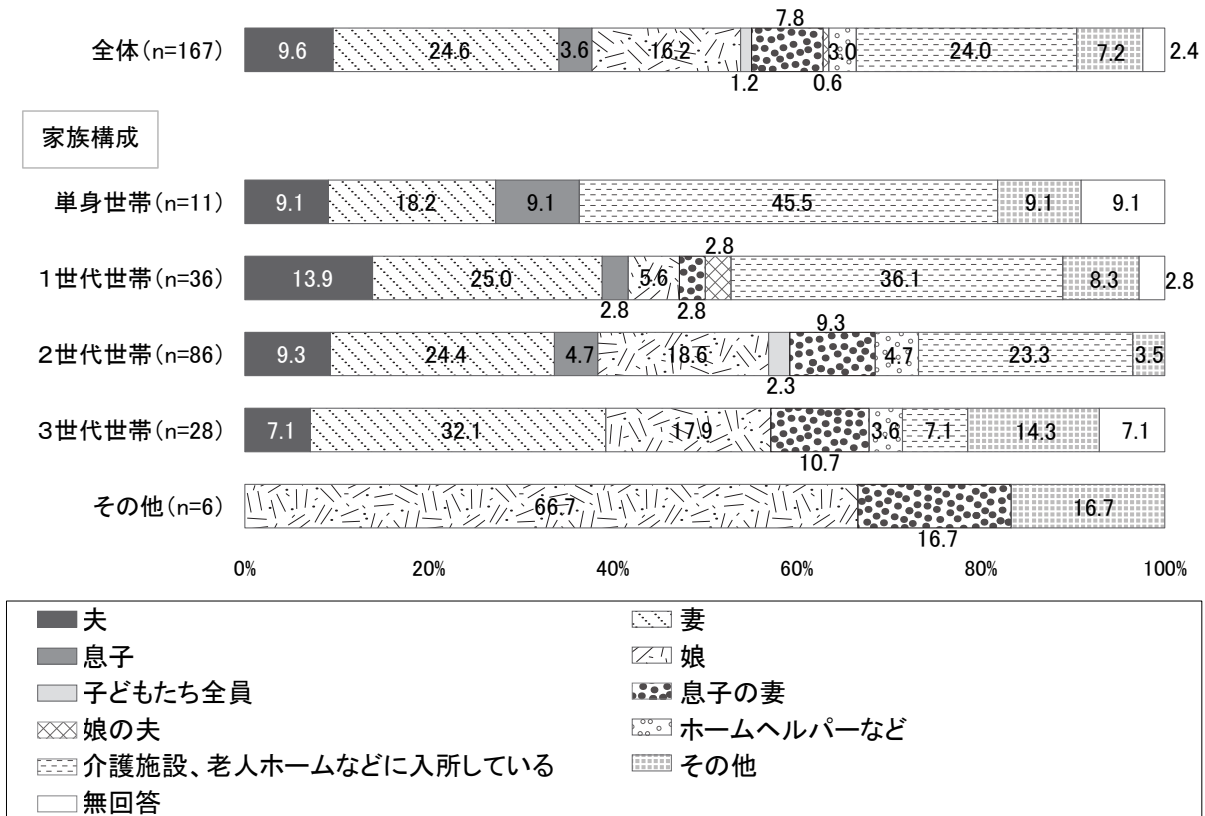
問17. 問16で「1. はい」に○印をつけた方におたずねします。

その方の世話は、要介護者から見て主に誰がしていますか。(○は1つ)

全体では、「妻」の割合が24.6%と最も高く、次いで「介護施設、老人ホームなどに入所している」の割合が24.0%となっています。

家族構成別でみると、単身世帯と1世代世帯では、「介護施設、老人ホームなどに入所している」の割合が最も高くなっている一方、2世代世帯と3世代世帯では、「妻」の割合が最も高くなっています。また、同居している世代の数が多くなるほど「夫」の割合と「介護施設、老人ホームなどに入所している」の割合が低くなっています。さらに、2世代世帯と3世代世帯では、「娘」の割合が2割弱となっています。

問17. 現在、要介護者からみて主に誰が介護をしているか



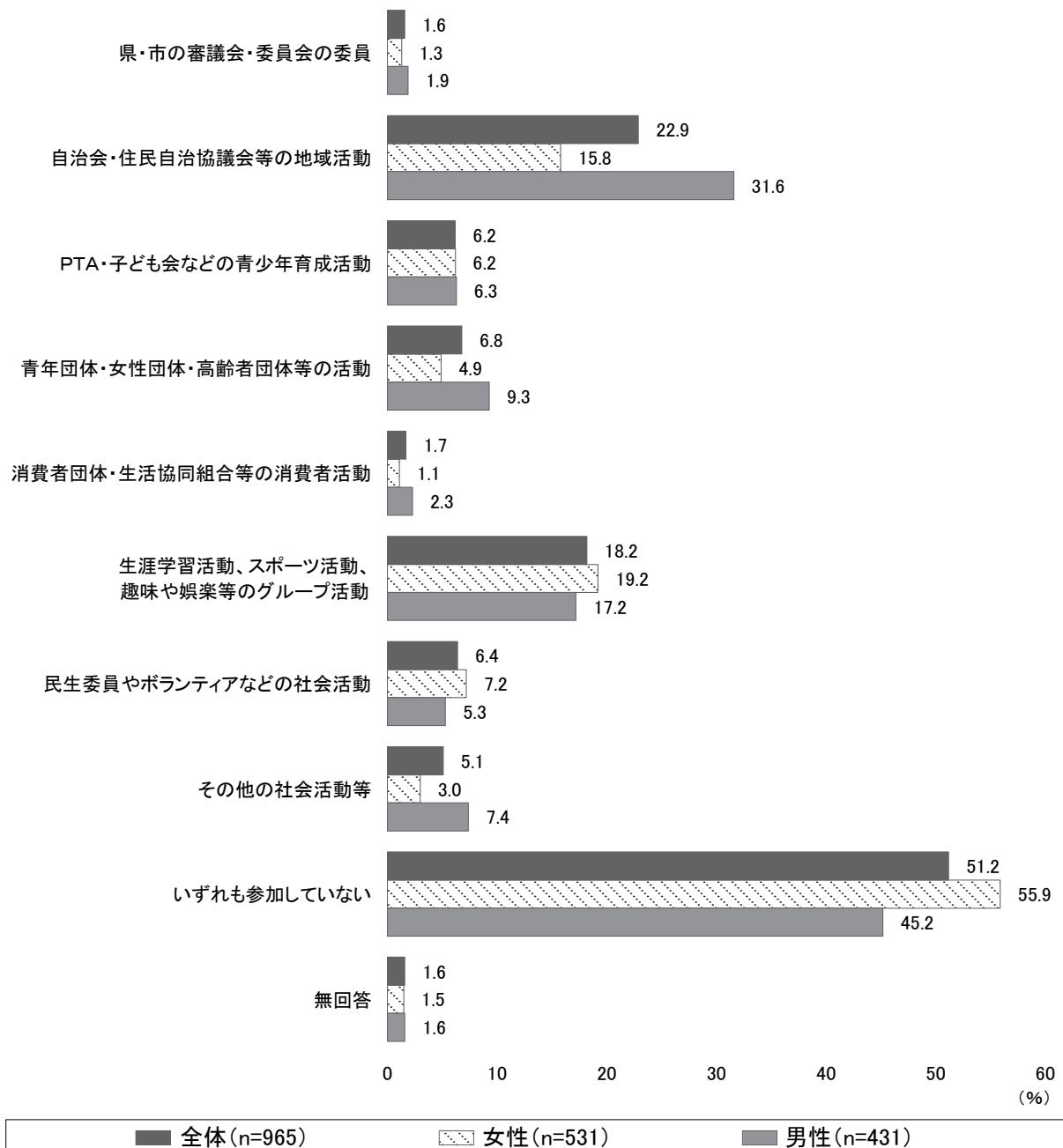
#### 4. 社会活動等について

問18. あなたは、次のような活動をしていますか。(〇はいくつでも)

全体では、「いずれも参加していない」の割合が51.2%と最も高く、次いで「自治会・住民自治協議会等の地域活動」の割合が22.9%となっています。

性別で見ると、女性では、「いずれも参加していない」の割合が55.9%と最も高く、次いで「生涯学習活動、スポーツ活動、趣味や娯楽等のグループ活動」の割合が19.2%となっています。一方、男性では、「いずれも参加していない」の割合が45.2%と最も高く、次いで「自治会・住民自治協議会等の地域活動」の割合が31.6%となっています。

問18. 社会活動への参加



性別年代別でみると、20歳代女性では、「いずれも参加していない」の割合が85.7%、20歳代男性では、その割合が62.5%と、同性の他の年代よりも10ポイント以上高くなっています。

就業状況別でみると、農林水産業では、「いずれも参加していない」の割合が29.4%となっている一方、「自治会・住民自治協議会等の地域活動」の割合が47.1%と、他の就業状況よりも15ポイント以上高くなっています。

		問18. 社会活動への参加 (%)									
		会 県 の ・ 市 の 審 議 会 ・ 委 員	会 自 治 の 会 地 ・ 住 民 自 治 協 議	の P T A ・ 青 少 年 ・ 子 ど も 会 な ど	高 年 齢 者 団 体 ・ 女 性 団 体 ・	組 消 費 者 の 団 体 ・ 消 費 者 ・ 生 活 協 同	の ツ グ ル ー プ 活 動	生 涯 学 習 活 動 ・ 趣 味 や 娯 楽 等	ア 民 生 委 員 や ボ ラ ン テ イ	そ の 他 の 社 会 活 動 等	い い ず れ も 参 加 し て
全体 (n=965)		1.6	22.9	6.2	6.8	1.7	18.2	6.4	5.1	51.2	1.6
女性 (n=531)		1.3	15.8	6.2	4.9	1.1	19.2	7.2	3.0	55.9	1.5
男性 (n=431)		1.9	31.6	6.3	9.3	2.3	17.2	5.3	7.4	45.2	1.6
女性	20~29歳 (n=35)	-	-	-	-	2.9	2.9	8.6	-	85.7	-
	30~39歳 (n=72)	-	8.3	16.7	1.4	1.4	9.7	-	-	72.2	2.8
	40~49歳 (n=78)	1.3	15.4	21.8	-	-	16.7	3.8	1.3	51.3	-
	50~59歳 (n=91)	-	26.4	3.3	1.1	2.2	15.4	4.4	3.3	52.7	1.1
	60~69歳 (n=137)	2.9	24.1	0.7	6.6	0.7	29.2	15.3	3.6	41.6	1.5
	70歳以上 (n=117)	1.7	7.7	-	12.8	0.9	23.1	6.0	5.1	59.8	2.6
男性	20~29歳 (n=32)	-	9.4	3.1	3.1	-	25.0	-	3.1	62.5	3.1
	30~39歳 (n=45)	-	22.2	13.3	6.7	2.2	13.3	2.2	11.1	48.9	2.2
	40~49歳 (n=61)	1.6	36.1	16.4	6.6	1.6	21.3	3.3	6.6	39.3	-
	50~59歳 (n=90)	2.2	33.3	7.8	5.6	-	15.6	3.3	4.4	51.1	-
	60~69歳 (n=119)	2.5	40.3	2.5	11.8	1.7	12.6	7.6	9.2	39.5	1.7
	70歳以上 (n=84)	2.4	27.4	-	15.5	7.1	21.4	9.5	8.3	42.9	3.6
就業状況	正規雇用者 (n=295)	1.0	26.8	10.2	5.4	0.7	15.3	3.4	3.7	52.2	0.7
	非正規雇用者 (n=185)	1.6	29.2	9.7	4.3	1.6	19.5	4.9	3.2	48.1	1.1
	派遣社員・契約社員 (n=24)	-	25.0	4.2	4.2	-	12.5	-	12.5	58.3	-
	農林水産業 (n=34)	8.8	47.1	-	20.6	5.9	14.7	11.8	8.8	29.4	-
	商工・サービス業 (n=46)	-	23.9	8.7	6.5	6.5	21.7	2.2	2.2	52.2	2.2
	自由業 (n=8)	25.0	25.0	-	25.0	-	25.0	12.5	37.5	25.0	-
	家事専業・家事手伝い (n=106)	0.9	10.4	3.8	3.8	2.8	25.5	9.4	2.8	51.9	3.8
	学生 (n=13)	-	-	-	-	-	-	23.1	-	76.9	-
	無職 (n=235)	1.3	16.2	1.3	10.2	1.3	19.6	8.9	6.8	53.6	2.6
その他 (n=15)	-	20.0	-	-	-	6.7	13.3	13.3	53.3	-	
結婚	結婚している (事実婚含む) (n=745)	1.7	25.5	7.9	7.4	2.0	19.2	6.7	4.8	48.1	1.5
	結婚していたが、離婚・死別などで現在は夫・妻はいない (n=96)	1.0	19.8	1.0	8.3	-	20.8	7.3	6.3	47.9	3.1
	結婚していない (n=120)	0.8	8.3	-	1.7	0.8	10.8	3.3	5.0	73.3	0.8
共働き	共働き (n=333)	2.1	28.8	13.8	6.3	1.8	17.7	3.9	3.9	46.8	0.6
	一人のみ働いている (n=215)	1.9	28.4	5.6	7.0	3.3	19.1	8.8	6.0	46.0	1.9
	二人とも働いていない (n=186)	0.5	16.1	-	10.2	1.1	22.6	9.7	5.4	52.7	2.7
同居中の小学生以下の子ども	いる (n=157)	1.9	26.8	23.6	4.5	2.5	19.1	2.5	0.6	47.1	1.3
	いない (n=761)	1.4	22.7	3.0	7.5	1.6	18.3	7.4	5.9	51.0	1.4

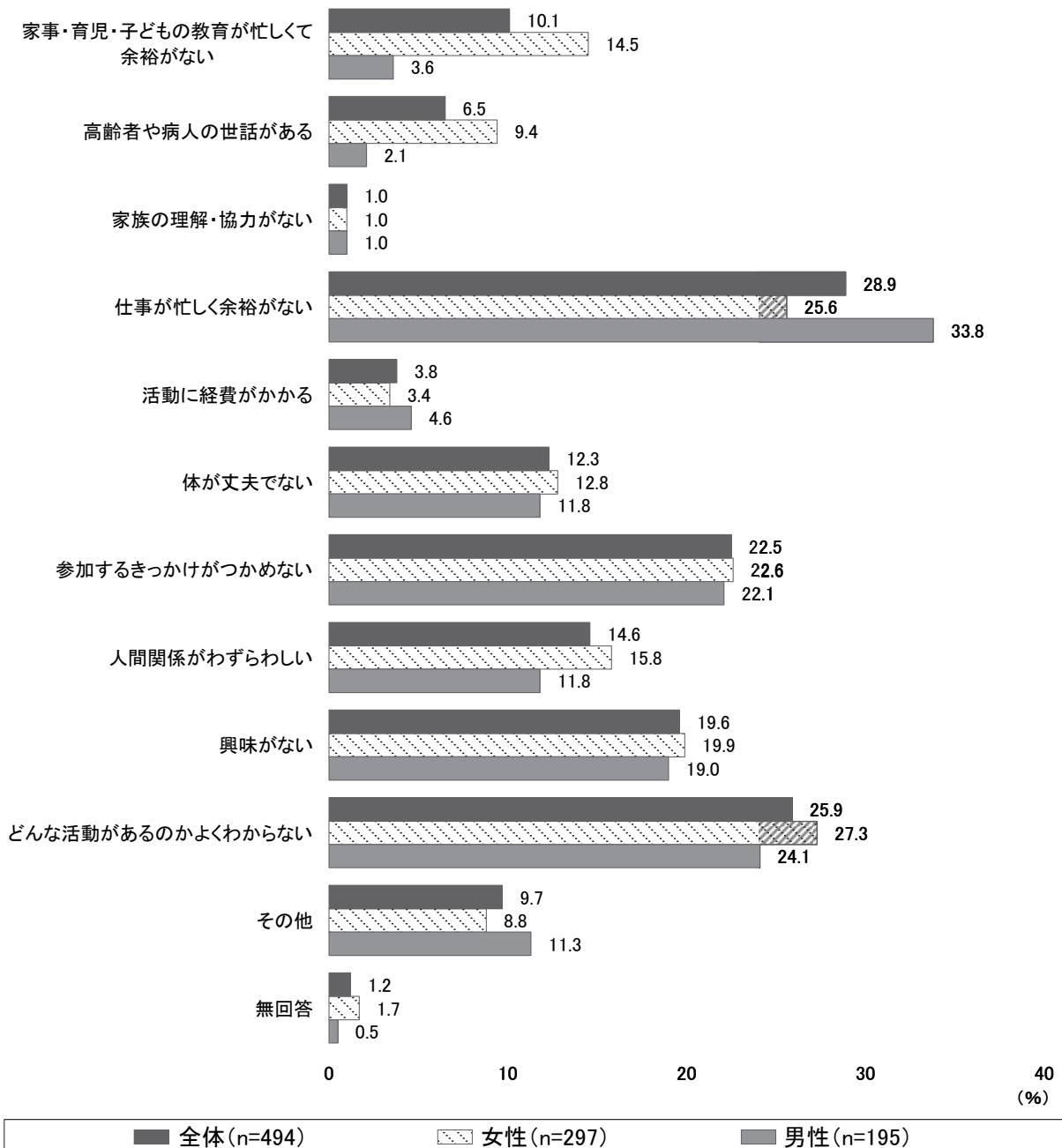
問19. 問18で「9. いずれも参加していない」に○印をつけた方におたずねします。  
その理由は何ですか。次の中から選んでください。(○はいくつでも)

全体では、「仕事が忙しく余裕がない」の割合が28.9%と最も高く、次いで「どんな活動があるのかよくわからない」の割合が25.9%となっています。

性別で見ると、女性では、「どんな活動があるのかよくわからない」の割合が27.3%と最も高く、次いで「仕事が忙しく余裕がない」の割合が25.6%となっています。一方、男性では、「仕事が忙しく余裕がない」の割合が33.8%と最も高く、次いで「どんな活動があるのかよくわからない」の割合が24.1%となっています。

また、女性では、「家事・育児・子どもの教育が忙しくて余裕がない」の割合が14.5%と男性よりも10.9ポイント高く、「高齢者や病人の世話がある」の割合が9.4%と男性よりも7.3ポイント高くなっています。

問19. 社会活動に参加していない理由



性別年代別でみると、20歳代女性と40歳代女性では、「興味がない」の割合が3割台と、同性の他の年代よりも10ポイント以上高くなっています。また、20歳代～30歳代女性では、「どんな活動があるのかよくわからない」の割合が約5割、「参加するきっかけがつかめない」の割合が3割台となっています。さらに、30歳代女性では、「家事・育児・子どもの教育が忙しくて余裕がない」の割合が34.6%と、同性の他の年代よりも9.6ポイント以上高くなっています。加えて、30歳代男性では、「興味がない」の割合が40.9%と、同性の他の年代よりも20ポイント以上高くなっています。また、40歳代～50歳代男性では、「仕事が忙しく余裕がない」の割合が半数以上を占めており、同性の他の年代よりも15ポイント以上高くなっています。

共働き状況別でみると、働く人の数が少なくなるほど「体が丈夫でない」の割合が高くなっています。

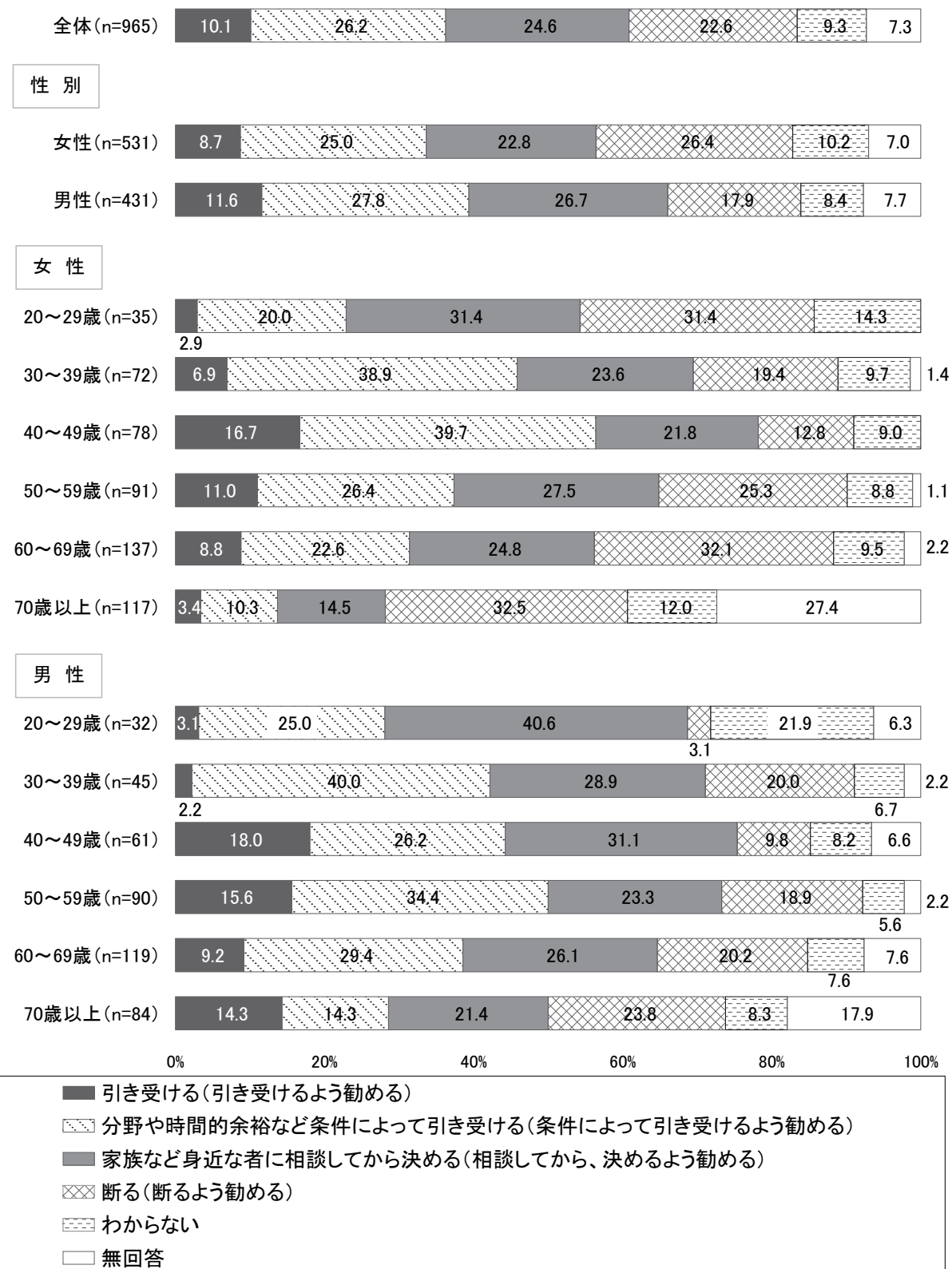
	問19. 社会活動に参加していない理由 (%)														
	ても余の裕が育がない忙し	家事・育児・子どもの	世話がや病	高年齢者の	協力がない	家族の理解	余裕がない忙し	仕事が忙しく	か活動に経費が	体が丈夫でない	が参加するきっかけ	わ人間関係がわずら	興味がない	のどんな活動がある	その他
全体 (n=494)	10.1	6.5	1.0	28.9	3.8	12.3	22.5	14.6	19.6	25.9	9.7	1.2			
女性 (n=297)	14.5	9.4	1.0	25.6	3.4	12.8	22.6	15.8	19.9	27.3	8.8	1.7			
男性 (n=195)	3.6	2.1	1.0	33.8	4.6	11.8	22.1	11.8	19.0	24.1	11.3	0.5			
女性	20～29歳 (n=30)	10.0	3.3	-	30.0	10.0	-	36.7	10.0	36.7	53.3	6.7	-		
	30～39歳 (n=52)	34.6	-	1.9	21.2	1.9	5.8	34.6	13.5	19.2	46.2	5.8	-		
	40～49歳 (n=40)	25.0	7.5	-	35.0	2.5	2.5	15.0	20.0	30.0	15.0	17.5	-		
	50～59歳 (n=48)	12.5	14.6	4.2	33.3	2.1	16.7	18.8	10.4	18.8	25.0	2.1	-		
	60～69歳 (n=57)	5.3	10.5	-	33.3	5.3	14.0	26.3	22.8	17.5	21.1	3.5	1.8		
	70歳以上 (n=70)	4.3	15.7	-	10.0	1.4	25.7	11.4	15.7	10.0	15.7	15.7	5.7		
男性	20～29歳 (n=20)	5.0	-	-	20.0	5.0	-	30.0	5.0	20.0	40.0	10.0	-		
	30～39歳 (n=22)	9.1	-	-	36.4	4.5	-	13.6	22.7	40.9	22.7	9.1	-		
	40～49歳 (n=24)	4.2	-	-	58.3	8.3	4.2	12.5	8.3	12.5	25.0	8.3	-		
	50～59歳 (n=46)	6.5	4.3	2.2	52.2	6.5	6.5	23.9	6.5	15.2	30.4	6.5	2.2		
	60～69歳 (n=47)	-	-	2.1	27.7	4.3	23.4	31.9	14.9	17.0	25.5	4.3	-		
	70歳以上 (n=36)	-	5.6	-	8.3	-	22.2	13.9	13.9	16.7	5.6	30.6	-		
就業状況	正規雇用者 (n=154)	11.7	3.9	-	51.9	3.2	2.6	25.3	9.7	20.1	31.2	4.5	0.6		
	非正規雇用者 (n=89)	7.9	4.5	1.1	30.3	5.6	13.5	25.8	12.4	21.3	34.8	5.6	1.1		
	派遣社員・契約社員 (n=14)	14.3	-	14.3	50.0	-	-	28.6	21.4	28.6	35.7	-	-		
	農林水産業 (n=10)	10.0	-	-	50.0	-	-	10.0	-	20.0	10.0	30.0	-		
	商工・サービス業 (n=24)	4.2	-	-	50.0	8.3	12.5	20.8	8.3	16.7	16.7	20.8	-		
	自由業 (n=2)	-	-	50.0	50.0	-	50.0	-	50.0	50.0	-	-	-		
	家事専業・家事手伝い (n=55)	25.5	20.0	-	5.5	1.8	10.9	18.2	23.6	20.0	21.8	9.1	1.8		
	学生 (n=10)	10.0	-	-	-	-	-	10.0	-	10.0	40.0	30.0	-		
	無職 (n=126)	4.0	8.7	0.8	3.2	4.0	27.8	18.3	20.6	18.3	15.9	14.3	2.4		
その他 (n=8)	12.5	-	-	37.5	12.5	-	50.0	-	-	25.0	12.5	-			
結婚	結婚している (事実婚含む) (n=358)	13.1	6.7	1.4	31.0	3.9	12.6	19.8	14.8	20.1	22.3	8.9	0.6		
	結婚していたが、離婚・死別などで現在は夫・妻はいない (n=46)	2.2	10.9	-	23.9	2.2	21.7	17.4	13.0	8.7	19.6	15.2	6.5		
	結婚していない (n=88)	2.3	3.4	-	22.7	4.5	6.8	35.2	13.6	22.7	44.3	10.2	-		
共働き	共働き (n=156)	14.7	3.2	2.6	48.7	3.8	5.1	21.8	9.6	20.5	28.2	8.3	-		
	一人のみ働いている (n=99)	21.2	4.0	1.0	25.3	6.1	12.1	21.2	20.2	25.3	19.2	4.0	1.0		
	二人とも働いていない (n=98)	3.1	15.3	-	8.2	2.0	24.5	16.3	17.3	14.3	16.3	15.3	1.0		
同居中の小学生以下の子ども	いる (n=74)	43.2	-	2.7	32.4	6.8	2.7	16.2	9.5	21.6	35.1	8.1	1.4		
	いない (n=388)	4.4	7.5	0.8	28.6	3.4	14.4	22.9	15.5	19.3	24.2	9.3	1.3		



問20. 女性の場合はあなたが、男性の場合は妻・母親など身近な女性が、次のような役職につく（立候補する）ことを依頼された場合、どうしますか。（〇は1つずつ）

「PTA、自治会、住民自治協議会などの役員」については、全体では、「分野や時間的余裕など条件によって引き受ける（条件によって引き受けるよう勧める）」の割合が26.2%と最も高く、次いで「家族など身近な者に相談してから決める（相談してから、決めるよう勧める）」の割合が24.6%となっています。

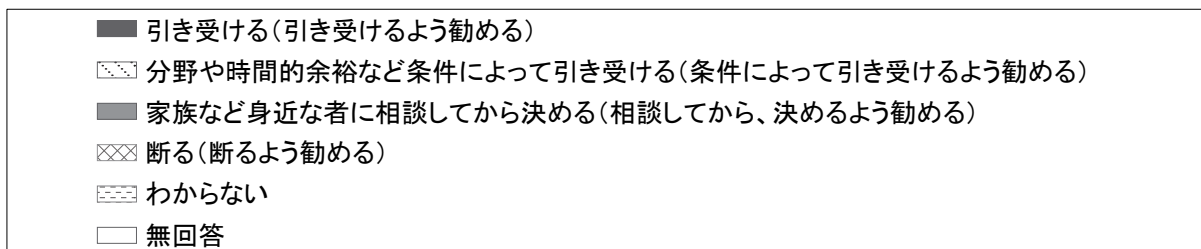
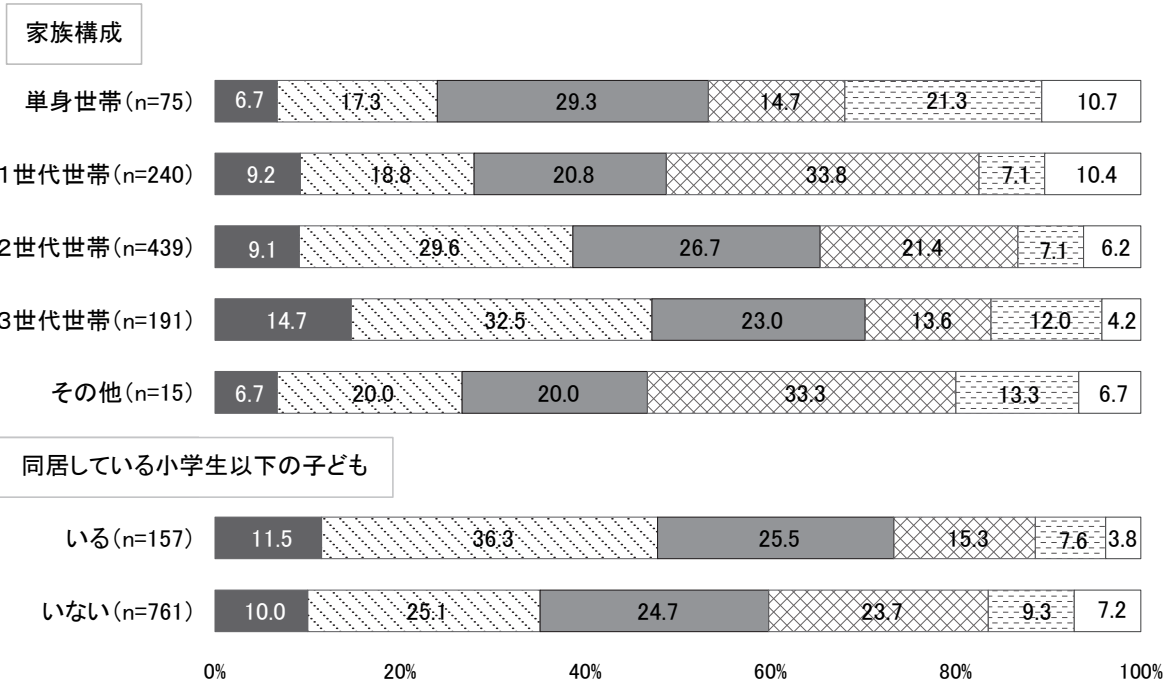
問20-①. 女性が役職につく(立候補する)ことを依頼された場合  
「PTA、自治会、住民自治協議会」



家族構成別でみると、同居している世代の数が多くなるほど「分野や時間的余裕など条件によって引き受ける（条件によって引き受けるよう勧める）」の割合が高くなる一方、「断る（断るよう勧める）」の割合が低くなっています。

同居中の小学生以下の子どもの有無別でみると、子どもがいる場合には、「分野や時間的余裕など条件によって引き受ける（条件によって引き受けるよう勧める）」の割合が36.3%と、子どもがいない場合よりも10ポイント以上高くなっています。

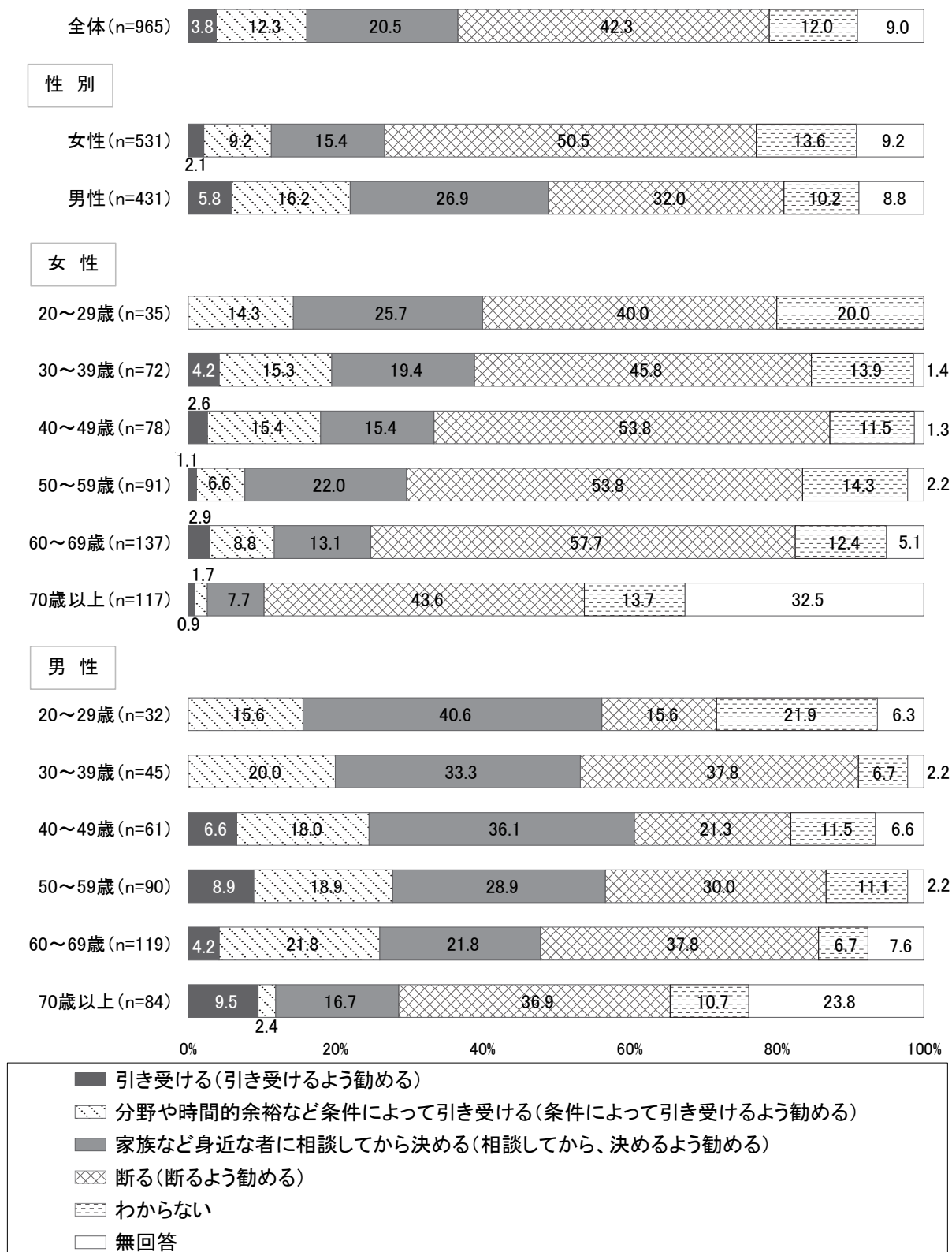
問20-①. 女性が役職につく(立候補する)ことを依頼された場合  
「PTA、自治会、住民自治協議会」



「市の審議会・委員会等の委員」については、全体では、「断る（断るよう勧める）」の割合が42.3%と最も高く、次いで「家族など身近な者に相談してから決める（相談してから、決めるよう勧める）」の割合が20.5%となっています。

性別で見ると、女性では、「断る（断るよう勧める）」の割合が50.5%と、男性よりも18.5ポイント高く、「家族など身近な者に相談してから決める（相談してから、決めるよう勧める）」の割合が15.4%と、男性よりも11.5ポイント低くなっています。

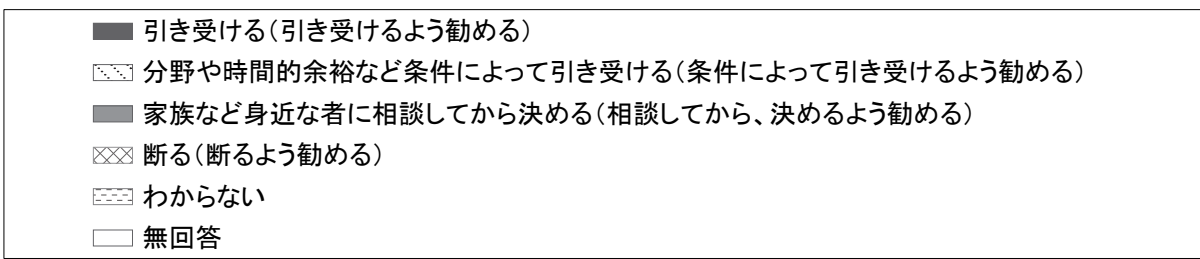
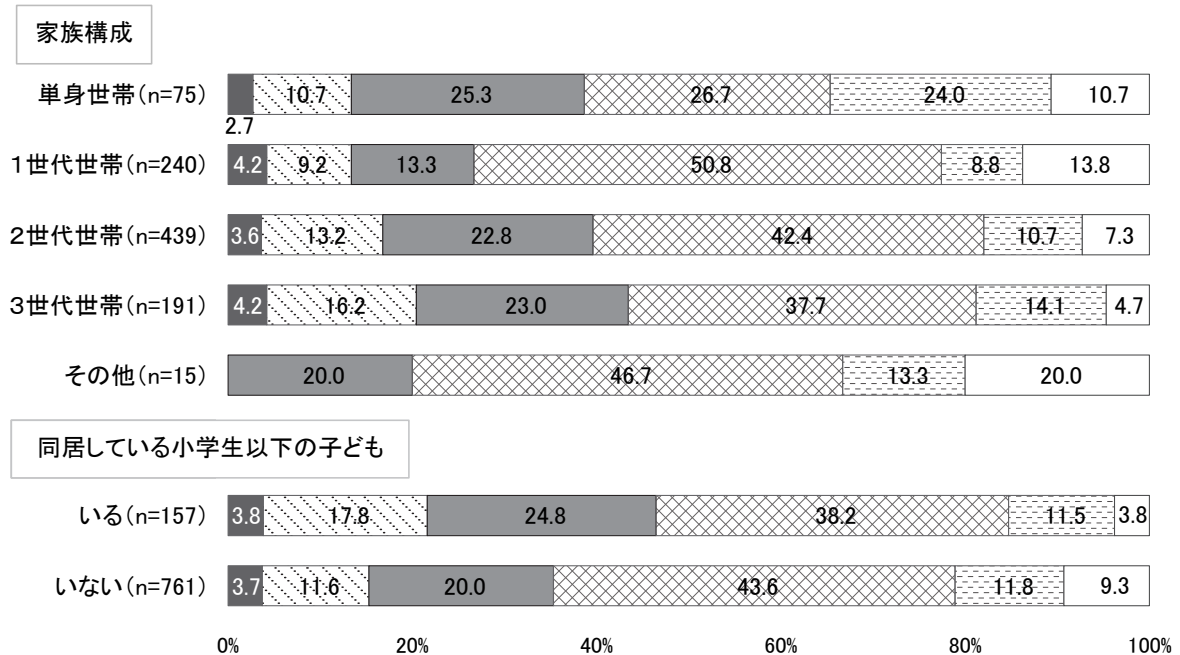
問20-②. 女性が役職につく(立候補する)ことを依頼された場合  
「市の審議会、委員会」



家族構成別でみると、同居している世代の数が多くなるほど「分野や時間的余裕など条件によって引き受ける（条件によって引き受けるよう勧める）」の割合と「家族など身近な者に相談してから決める（相談してから、決めるよう勧める）」の割合が高くなる一方、「断る（断るよう勧める）」の割合が低くなっています。

同居中の小学生以下の子どもの有無別でみると、子どもがいる場合には、「引き受ける（引き受けるよう勧める）」と「分野や時間的余裕など条件によって引き受ける（条件によって引き受けるよう勧める）」を合わせた割合は、子どもがいない場合よりも6.3ポイント高くなっています。

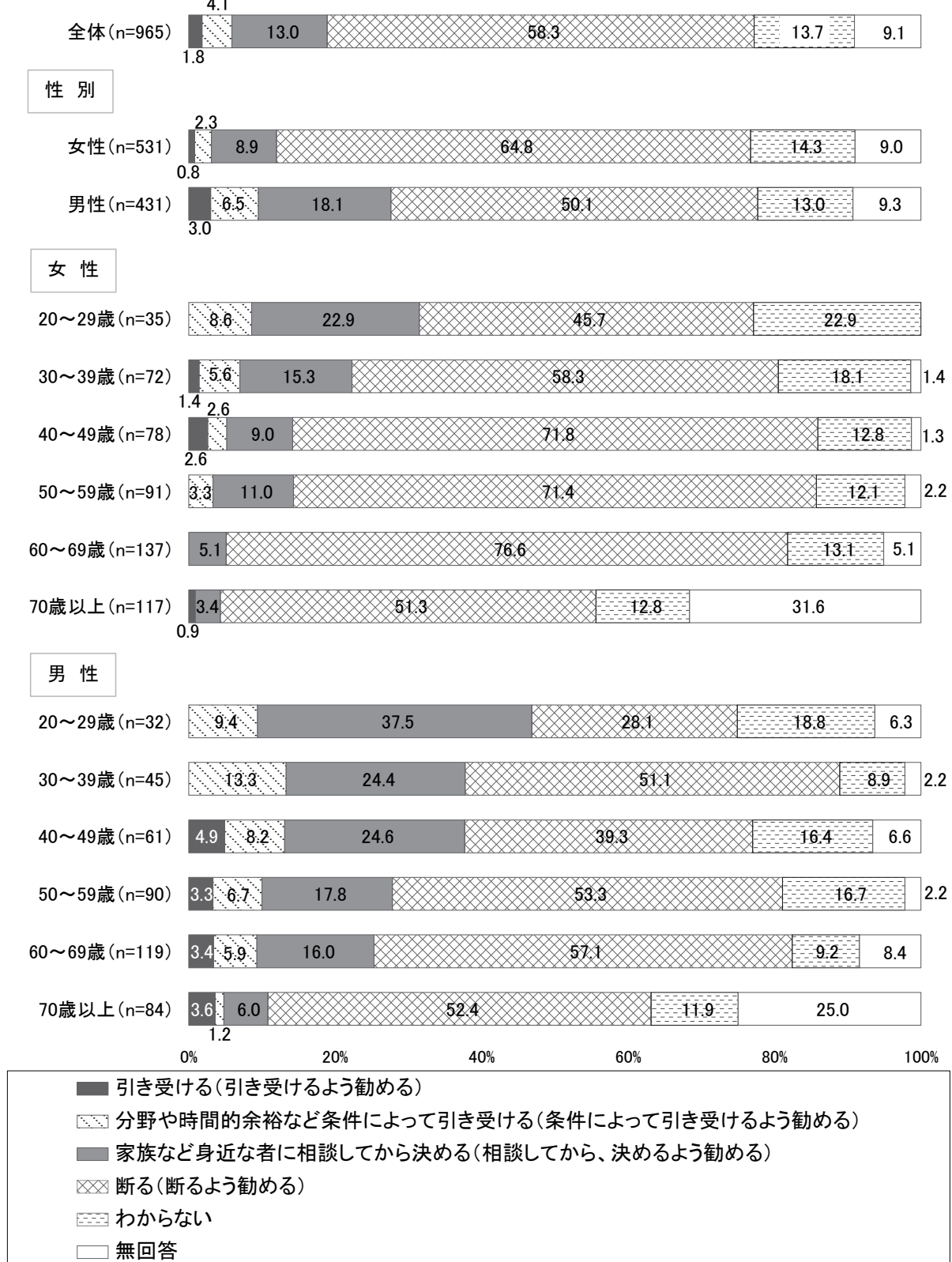
問20-②. 女性が役職につく(立候補する)ことを依頼された場合  
「市の審議会、委員会」



「市議会議員・県議会議員」については、全体では、「断る（断るよう勧める）」の割合が58.3%と最も高く、次いで「わからない」の割合が13.7%となっています。

性別でみると、女性では、「断る（断るよう勧める）」の割合が64.8%と、男性よりも14.7ポイント高く、「家族など身近な者に相談してから決める（相談してから、決めるよう勧める）」の割合が8.9%と、男性よりも9.2ポイント低くなっています。

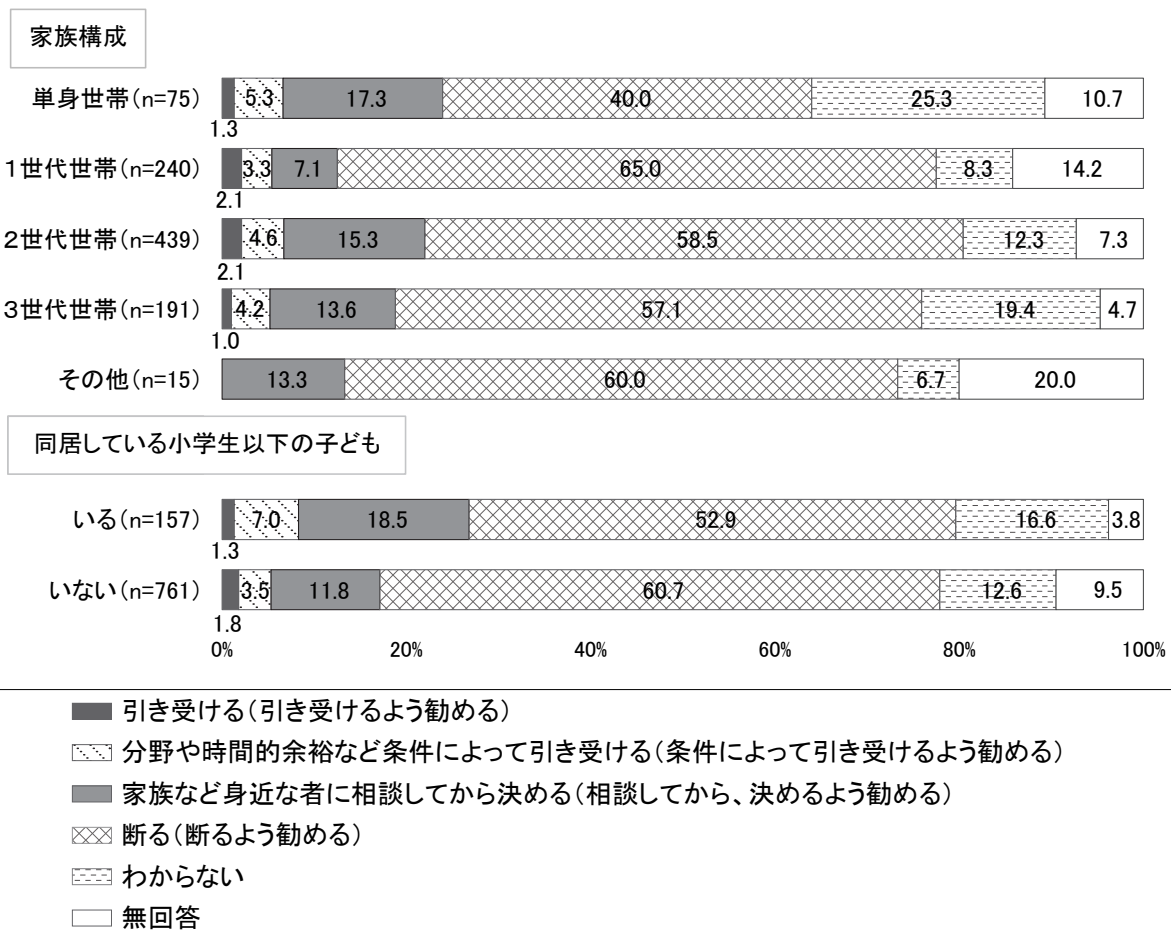
問20-③. 女性が役職につく(立候補する)ことを依頼された場合  
「市議会議員・県議会議員」



家族構成別でみると、単身世帯では、「断る（断るよう勧める）」の割合が40.0%と、他の家族構成よりも15ポイント以上低くなっています。

同居中の小学生以下の子どもの有無別でみると、子どもがいない場合では、「断る（断るよう勧める）」の割合が60.7%と、子どもがいる場合よりも7.8ポイント高くなっています。

問20-③. 女性が役職につく(立候補する)ことを依頼された場合  
「市議会議員・県議会議員」

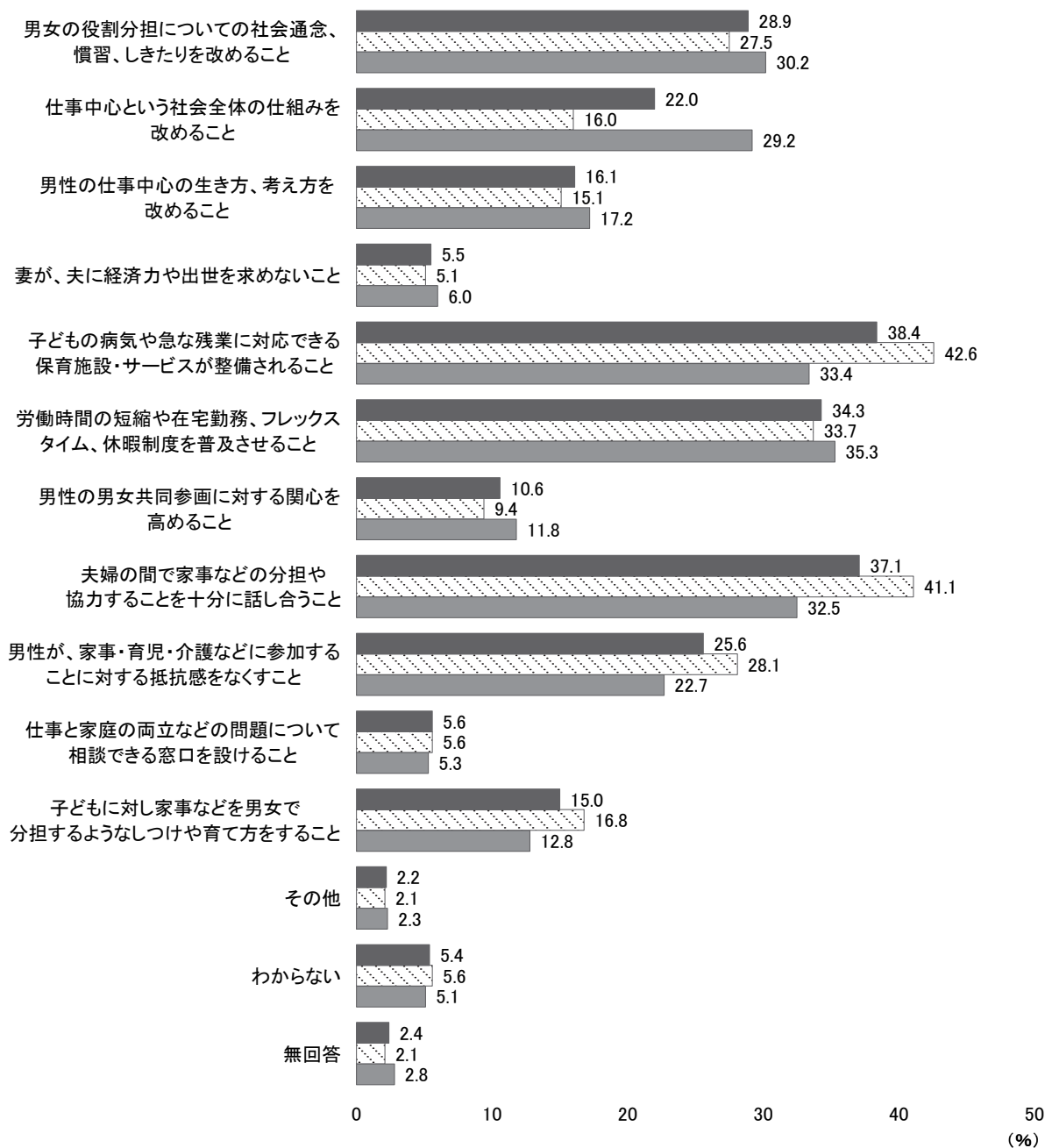


問21. 今後、女性・男性がともに家事、子育てや教育、介護および地域活動などに積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

全体では、「子どもの病気や急な残業に対応できる保育施設・サービスが整備されること」の割合が38.4%と最も高く、次いで「夫婦の間で家事などの分担や協力することを十分に話し合うこと」の割合が37.1%となっています。

性別で見ると、女性では、「子どもの病気や急な残業に対応できる保育施設・サービスが整備されること」の割合が42.6%と最も高く、次いで「夫婦の間で家事などの分担や協力することを十分に話し合うこと」の割合が41.1%となっています。一方、男性では、「労働時間の短縮や在宅勤務、フレックスタイム、休暇制度を普及させること」の割合が35.3%と最も高く、次いで「子どもの病気や急な残業に対応できる保育施設・サービスが整備されること」の割合が33.4%となっています。また、男性では、「仕事中心という社会全体の仕組みを改めること」の割合が29.2%と、女性よりも13.2ポイント高くなっています。

問21. 男女がともに家事や子育て、教育、介護および地域活動に積極的に参加していくために必要なこと



■ 全体 (n=965)

▨ 女性 (n=531)

■ 男性 (n=431)



性別年代別でみると、20歳代女性では、「子どもの病気や急な残業に対応できる保育施設・サービスが整備されること」の割合が71.4%と、同性の他の年代よりも20ポイント以上高くなっています。

共働き状況別でみると、共働きの場合と一人のみ働いている場合では、「子どもの病気や急な残業に対応できる保育施設・サービスが整備されること」の割合と「労働時間の短縮や在宅勤務、フレックスタイム、休暇制度を普及させること」の割合が、二人とも働いていない場合よりも10ポイント以上高くなっています。

同居中の小学生以下の子どもの有無別でみると、子どもがいる場合では、「子どもの病気や急な残業に対応できる保育施設・サービスが整備されること」の割合が50.3%、「労働時間の短縮や在宅勤務、フレックスタイム、休暇制度を普及させること」の割合が43.9%と、子どもがいない場合よりも10ポイント以上高くなっています。

		問21. 男女がともに家事や子育て、教育、介護および地域活動に積極的に参加していくために必要なこと (%)													
		男女の役割分担を改めること	仕事中心という社会全体の仕組みを改めること	男性の仕事中心の生き方、考え方を改めること	妻が、夫に経済力や出世を求めないこと	子どもの病気や急な残業に対応できる保育施設・サービスが整備されること	労働時間の短縮や在宅勤務、フレックスタイム、休暇制度を普及させること	男性の男女共同参画に対する関心を高めること	夫婦の間で家事などの分担や協力することを十分に話し合うこと	男性が、家事・育児・介護などに参加すること	仕事と家庭の両立などの問題について相談できる窓口を設けること	子どもに押し付けや育て方をすること	その他	わからない	無回答
全体 (n=965)		28.9	22.0	16.1	5.5	38.4	34.3	10.6	37.1	25.6	5.6	15.0	2.2	5.4	2.4
女性 (n=531)		27.5	16.0	15.1	5.1	42.6	33.7	9.4	41.1	28.1	5.6	16.8	2.1	5.6	2.1
男性 (n=431)		30.2	29.2	17.2	6.0	33.4	35.3	11.8	32.5	22.7	5.3	12.8	2.3	5.1	2.8
女性	20~29歳 (n=35)	2.9	25.7	8.6	-	71.4	48.6	2.9	48.6	37.1	5.7	8.6	-	-	-
	30~39歳 (n=72)	19.4	29.2	23.6	5.6	51.4	50.0	6.9	25.0	26.4	8.3	12.5	5.6	5.6	1.4
	40~49歳 (n=78)	33.3	15.4	15.4	2.6	39.7	38.5	5.1	29.5	28.2	3.8	15.4	3.8	9.0	1.3
	50~59歳 (n=91)	31.9	16.5	15.4	3.3	46.2	36.3	11.0	40.7	31.9	2.2	15.4	2.2	3.3	1.1
	60~69歳 (n=137)	35.0	12.4	19.0	5.1	43.8	32.1	8.0	49.6	27.7	5.1	20.4	0.7	1.5	-
70歳以上 (n=117)		23.9	9.4	6.8	9.4	26.5	16.2	16.2	47.0	23.9	8.5	19.7	0.9	12.0	6.0
男性	20~29歳 (n=32)	18.8	37.5	25.0	12.5	34.4	43.8	6.3	34.4	18.8	6.3	6.3	-	6.3	-
	30~39歳 (n=45)	13.3	22.2	15.6	4.4	44.4	53.3	4.4	28.9	24.4	8.9	15.6	4.4	2.2	-
	40~49歳 (n=61)	24.6	37.7	16.4	6.6	41.0	49.2	4.9	21.3	18.0	4.9	11.5	4.9	3.3	1.6
	50~59歳 (n=90)	30.0	37.8	21.1	6.7	33.3	33.3	10.0	27.8	22.2	2.2	11.1	2.2	6.7	2.2
	60~69歳 (n=119)	42.9	26.9	17.6	5.0	31.9	31.1	16.0	37.0	22.7	6.7	16.0	0.8	1.7	2.5
70歳以上 (n=84)		29.8	17.9	10.7	4.8	23.8	20.2	19.0	40.5	27.4	4.8	11.9	2.4	10.7	7.1
結婚	結婚している(事実婚含む) (n=745)	30.9	22.3	16.0	5.4	38.4	32.6	10.7	37.2	25.1	5.6	15.3	2.0	5.2	2.3
	結婚していたが、離婚・死別などで現在は夫・妻はいない (n=96)	26.0	11.5	14.6	5.2	35.4	27.1	13.5	39.6	26.0	5.2	18.8	3.1	8.3	5.2
	結婚していない (n=120)	18.3	29.2	16.7	6.7	41.7	51.7	6.7	35.0	28.3	5.8	10.0	2.5	4.2	0.8
共働き	共働き (n=333)	31.2	26.4	18.9	6.6	42.6	36.3	8.4	32.4	23.4	5.1	14.4	2.1	4.5	1.8
	一人のみ働いている (n=215)	29.3	25.1	15.8	2.8	40.9	34.4	8.8	32.6	25.1	7.4	15.8	3.3	4.2	2.3
	二人とも働いていない (n=186)	31.2	11.8	10.2	5.9	29.0	24.2	16.7	51.1	28.0	4.8	16.7	0.5	8.1	3.2
同居中の小学生以下の子ども	いる (n=157)	19.7	26.1	19.7	5.1	50.3	43.9	7.0	27.4	21.0	7.6	19.1	4.5	4.5	0.6
	いない (n=761)	31.5	21.2	15.6	5.7	36.1	32.2	11.3	39.2	26.3	5.1	13.9	1.7	5.5	2.6



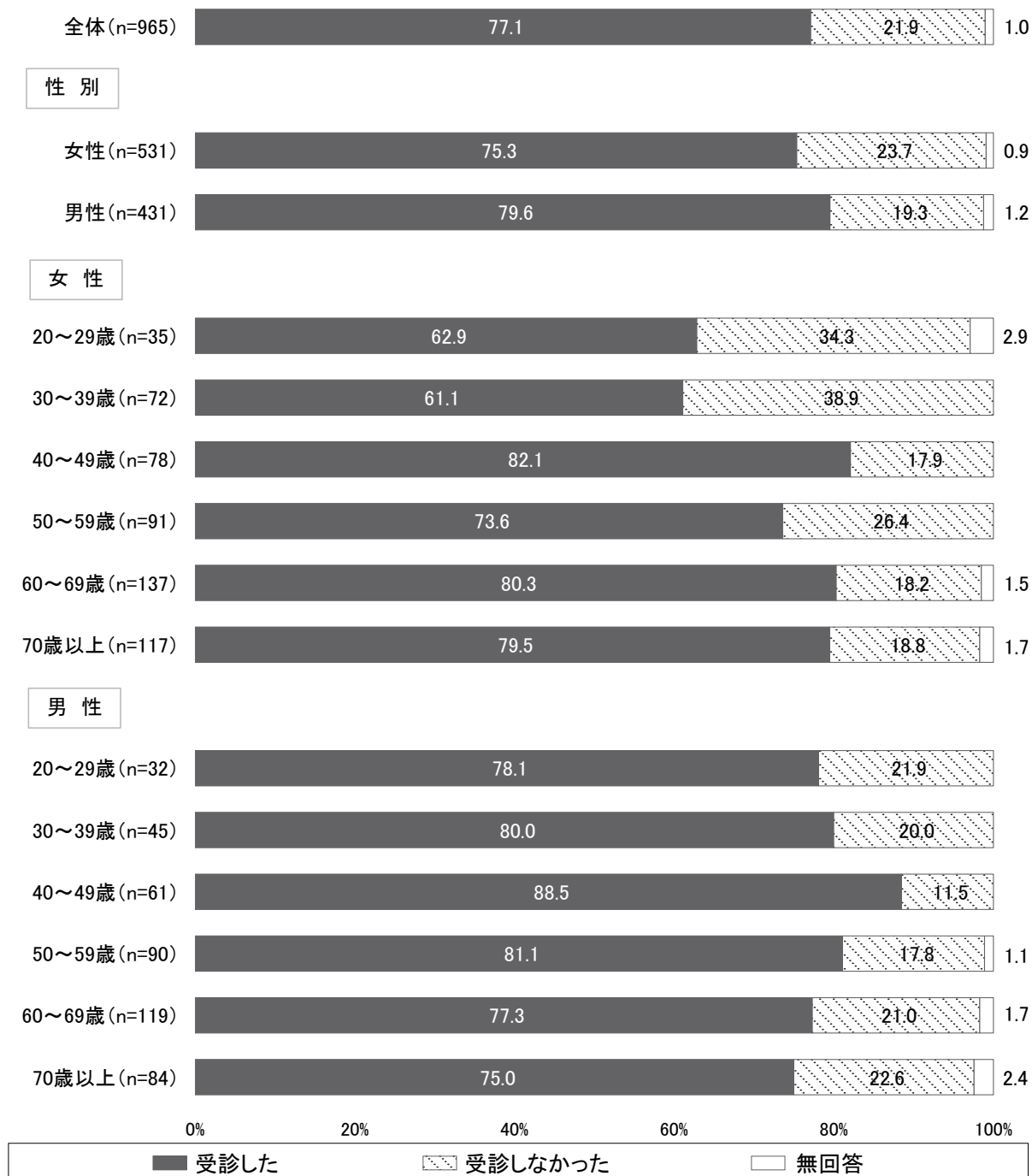
## 5. 心とからだについて

問22. あなたは平成25年度（平成25年4月～平成26年3月）の1年間で、健康診断を受診しましたか。（○は1つ）

全体では、「受診した」の割合が77.1%と、「受診しなかった」の割合が21.9%となっています。

性別年代別で見ると、20歳代～30歳代女性では、「受診した」の割合が約6割と、同性の他の年代よりも10ポイント以上低くなっています。一方、男性では、どの年代でも「受診した」の割合が7割台半ばを超えています。

問22. 平成25年度（平成25年4月～平成26年3月）の1年間に、健康診断を受診したか

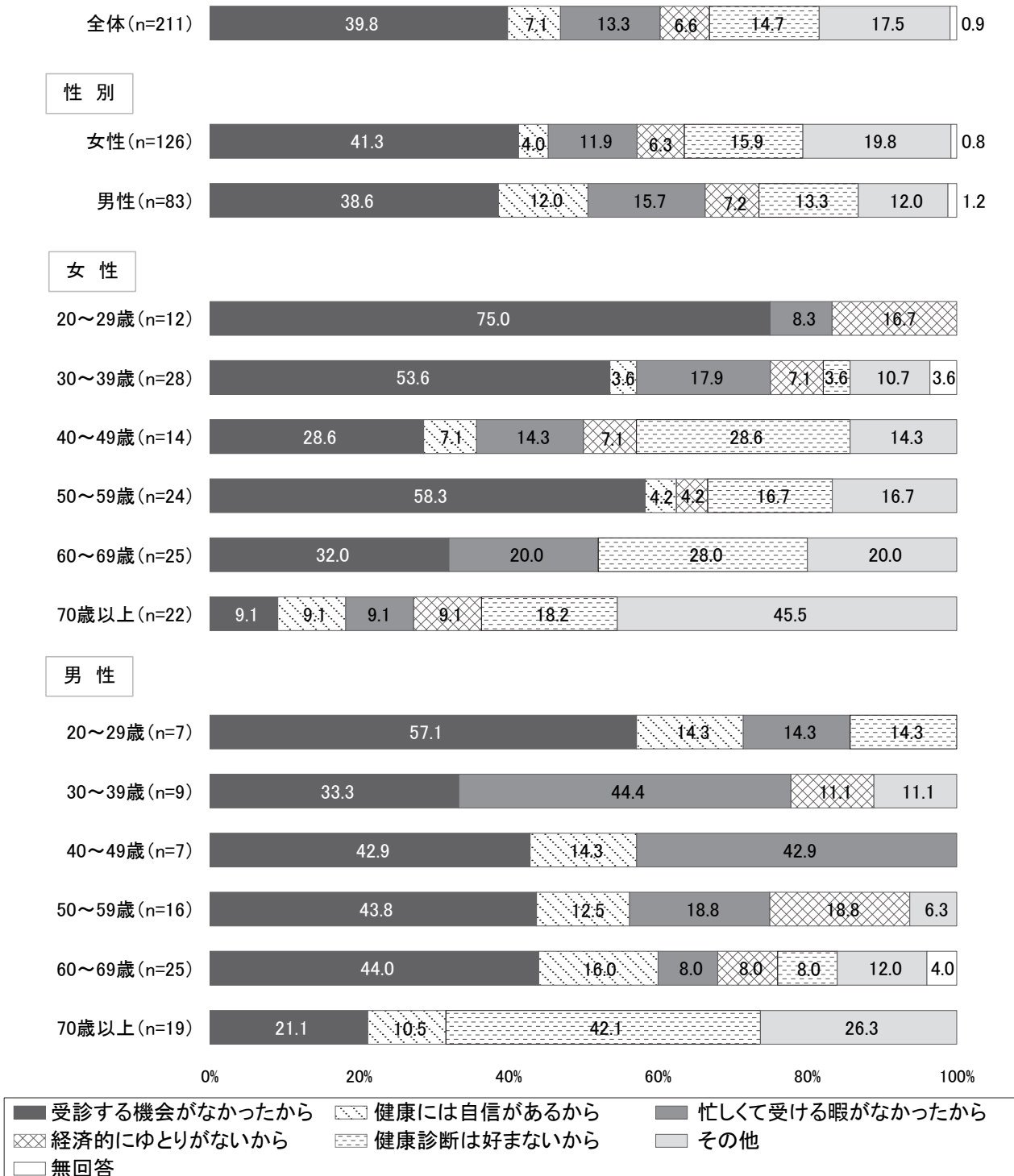


問23. 問22で「2. 受診しなかった」に○印をつけた方におたずねします。  
 なぜ、受診しなかったのですか。(○は1つ)

全体では、「受診する機会がなかったから」の割合が39.8%と最も高くなっています。

性別年代別でみると、20歳代女性では、「受診する機会がなかったから」の割合が75.0%と、同性の他の年代よりも10ポイント以上高くなっています。また、30歳代女性と50歳代女性では、「受診する機会がなかったから」の割合が5割以上にのぼっています。さらに、40歳代女性と60歳代女性では、「健康診断は好まないから」の割合が3割弱となっています。

問23. 健康診断を受診しなかった理由

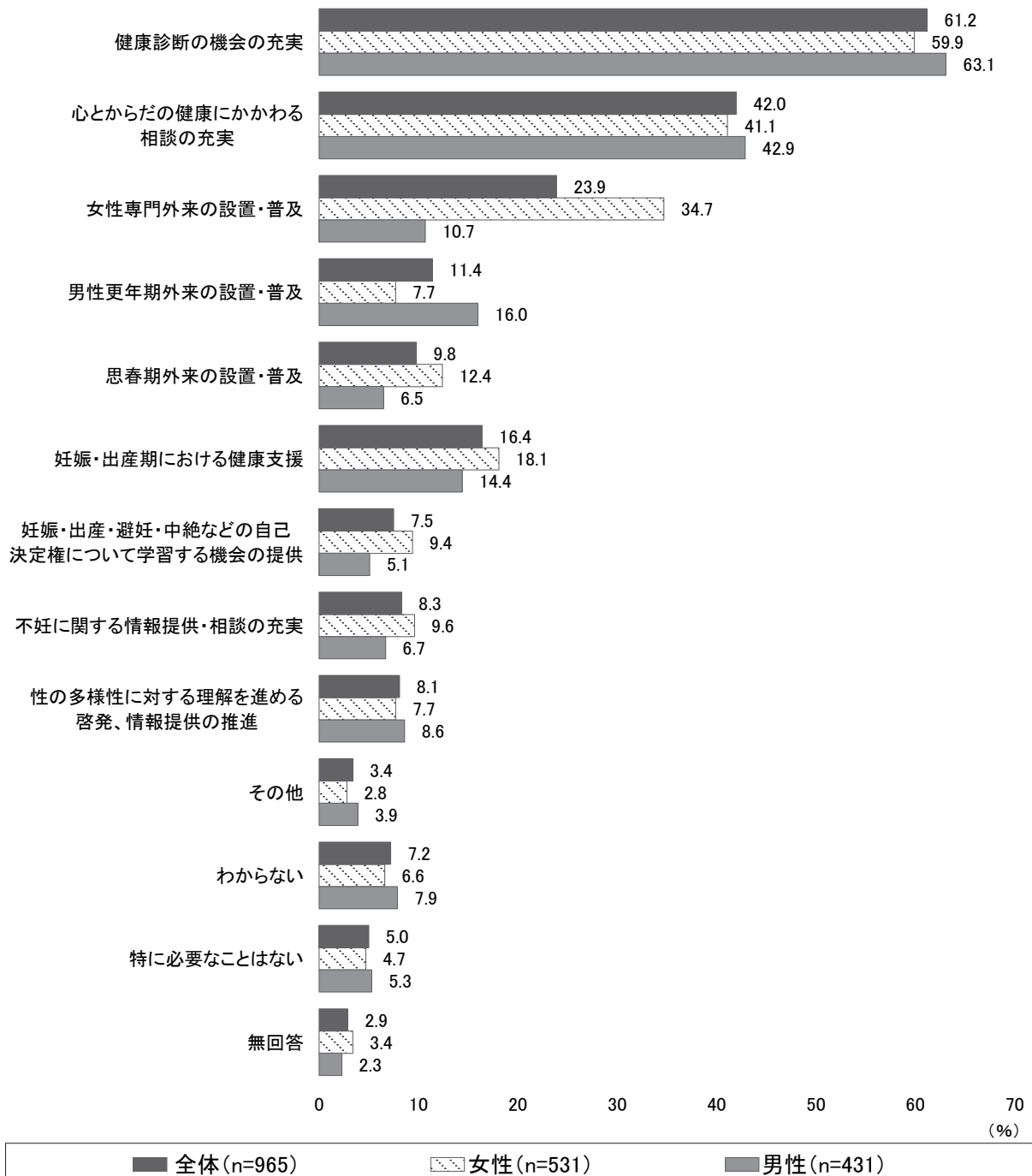


問24. あなたは、心とからだの健康のために、どのような取り組みが必要だと思いますか。  
(〇はいくつでも)

全体では、「健康診断の機会の充実」の割合が61.2%と最も高く、次いで「心とからだの健康にかかわる相談の充実」の割合が42.0%となっています。

性別で見ると、女性では、「女性専門外来の設置・普及」の割合が34.7%と高くなっています。一方、男性では、「男性更年期外来の設置・普及」の割合が16.0%と高くなっています。

問24. 心とからだの健康のために、どのような取り組みが必要か



性別年代別でみると、20歳代～30歳代女性では、「妊娠・出産期における健康支援」の割合が3割台半ばと、同性の他の年代よりも15ポイント以上高くなっています。また、30歳代女性では、「思春期外来の設置・普及」の割合が26.4%と、同性の他の年代よりも10ポイント以上高くなっています。さらに、女性では、年代が下がるにつれ「女性専門外来の設置・普及」の割合と「不妊に関する情報提供・相談の充実」の割合が高くなる傾向にあります。加えて、50歳代以上の男性では、「心とからだの健康にかかわる相談の充実」の割合が4割以上を占めています。

		問24. 心とからだの健康のために、どのような取り組みが必要か (%)												
		健康診断の機会の充実	心とからだの健康にかかわる相談の充実	女性専門外来の設置・普及	男性更年期外来の設置・普及	思春期外来の設置・普及	妊娠・出産期における健康支援	妊娠・出産について学習する機会の提供	不妊に関する情報提供・相談の充実	性の多様性に対する理解を進める啓発、情報提供の推進	その他	わからない	特に必要なことはない	無回答
全体 (n=965)		61.2	42.0	23.9	11.4	9.8	16.4	7.5	8.3	8.1	3.4	7.2	5.0	2.9
女性 (n=531)		59.9	41.1	34.7	7.7	12.4	18.1	9.4	9.6	7.7	2.8	6.6	4.7	3.4
男性 (n=431)		63.1	42.9	10.7	16.0	6.5	14.4	5.1	6.7	8.6	3.9	7.9	5.3	2.3
女性	20～29歳 (n=35)	62.9	22.9	42.9	11.4	14.3	34.3	14.3	28.6	8.6	5.7	-	5.7	5.7
	30～39歳 (n=72)	61.1	38.9	47.2	16.7	26.4	34.7	11.1	19.4	11.1	5.6	8.3	2.8	-
	40～49歳 (n=78)	64.1	44.9	43.6	7.7	12.8	15.4	7.7	10.3	7.7	3.8	11.5	-	2.6
	50～59歳 (n=91)	50.5	41.8	35.2	9.9	12.1	14.3	7.7	8.8	6.6	3.3	9.9	3.3	1.1
	60～69歳 (n=137)	64.2	45.3	31.4	4.4	8.8	16.1	11.7	3.6	8.0	1.5	3.6	4.4	3.6
	70歳以上 (n=117)	57.3	39.3	21.4	3.4	7.7	10.3	6.8	5.1	6.0	0.9	5.1	10.3	6.8
男性	20～29歳 (n=32)	68.8	31.3	6.3	3.1	9.4	18.8	3.1	12.5	9.4	-	3.1	6.3	-
	30～39歳 (n=45)	53.3	35.6	11.1	13.3	8.9	20.0	8.9	8.9	4.4	6.7	8.9	6.7	-
	40～49歳 (n=61)	59.0	29.5	14.8	16.4	8.2	14.8	1.6	9.8	1.6	8.2	11.5	6.6	3.3
	50～59歳 (n=90)	66.7	45.6	15.6	20.0	7.8	14.4	6.7	8.9	13.3	4.4	10.0	2.2	3.3
	60～69歳 (n=119)	67.2	43.7	7.6	19.3	5.0	12.6	5.0	3.4	9.2	0.8	4.2	7.6	1.7
	70歳以上 (n=84)	59.5	57.1	8.3	13.1	3.6	11.9	4.8	3.6	9.5	4.8	9.5	3.6	3.6
結婚	結婚している(事実婚含む) (n=745)	62.1	42.4	23.6	11.9	9.5	16.4	6.7	7.5	7.4	3.1	7.1	5.2	2.6
	結婚していたが、離婚・死別などで現在は夫・妻はいない (n=96)	60.4	40.6	24.0	6.3	9.4	12.5	13.5	4.2	10.4	1.0	7.3	4.2	5.2
	結婚していない (n=120)	57.5	40.8	25.8	12.5	12.5	20.0	6.7	16.7	10.8	6.7	7.5	4.2	2.5

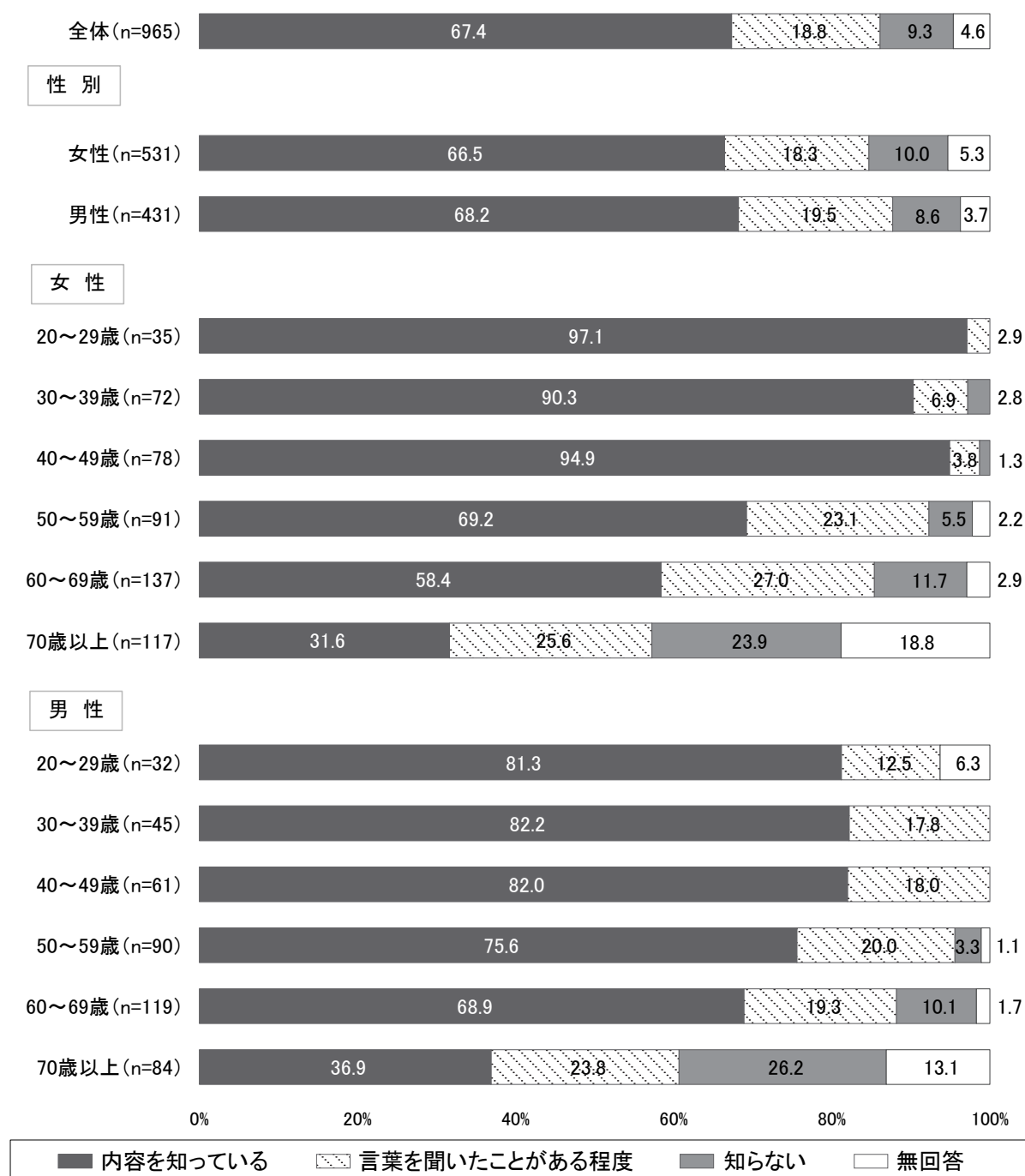
## 6. ドメスティック・バイオレンスについて

問25. あなたは、次の言葉についてご存知ですか。(〇は1つずつ)

「ドメスティック・バイオレンス」については、全体では、「内容を知っている」の割合が67.4%と最も高く、次いで「言葉を聞いたことがある程度」の割合が18.8%となっています。

性別年代別でみると、20歳代～40歳代女性では、「内容を知っている」の割合が9割以上を占めています。また、40歳代以上の女性では、年代が上がるほど「内容を知っている」の割合が低くなる一方、「知らない」の割合が高くなっています。さらに、70歳以上の男女では、「内容を知っている」の割合が3割台に留まっており、「知らない」の割合が2割以上を占めています。

問25-①. 言葉の認知度「ドメスティック・バイオレンス」

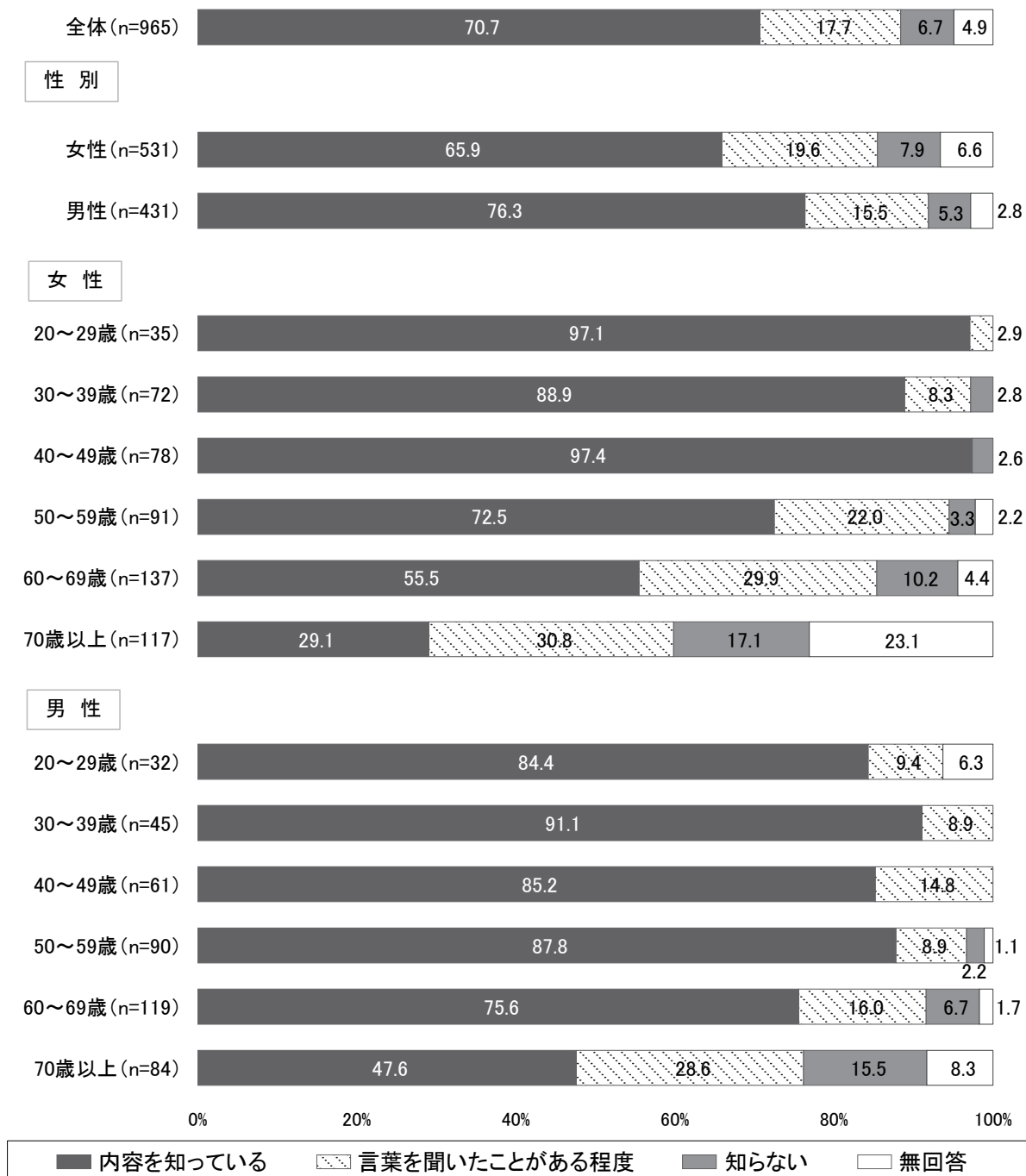


「セクシュアル・ハラスメント」については、全体では、「内容を知っている」の割合が70.7%と最も高く、次いで「言葉を聞いたことがある程度」の割合が17.7%となっています。

性別でみると、女性では、「内容を知っている」の割合が65.9%と、男性よりも10.4ポイント低くなっています。

性別年代別でみると、20歳代女性と40歳代女性では、「知っている」の割合が97%台と非常に高くなっています。また、40歳以上の女性では、年代が上がるほど「内容を知っている」の割合が低くなる一方、「言葉を聞いたことがある程度」の割合と「知らない」の割合が高くなっています。さらに、70歳以上の男女では、「知らない」の割合が2割弱となっています。

問25-②. 言葉の認知度「セクシュアル・ハラスメント」

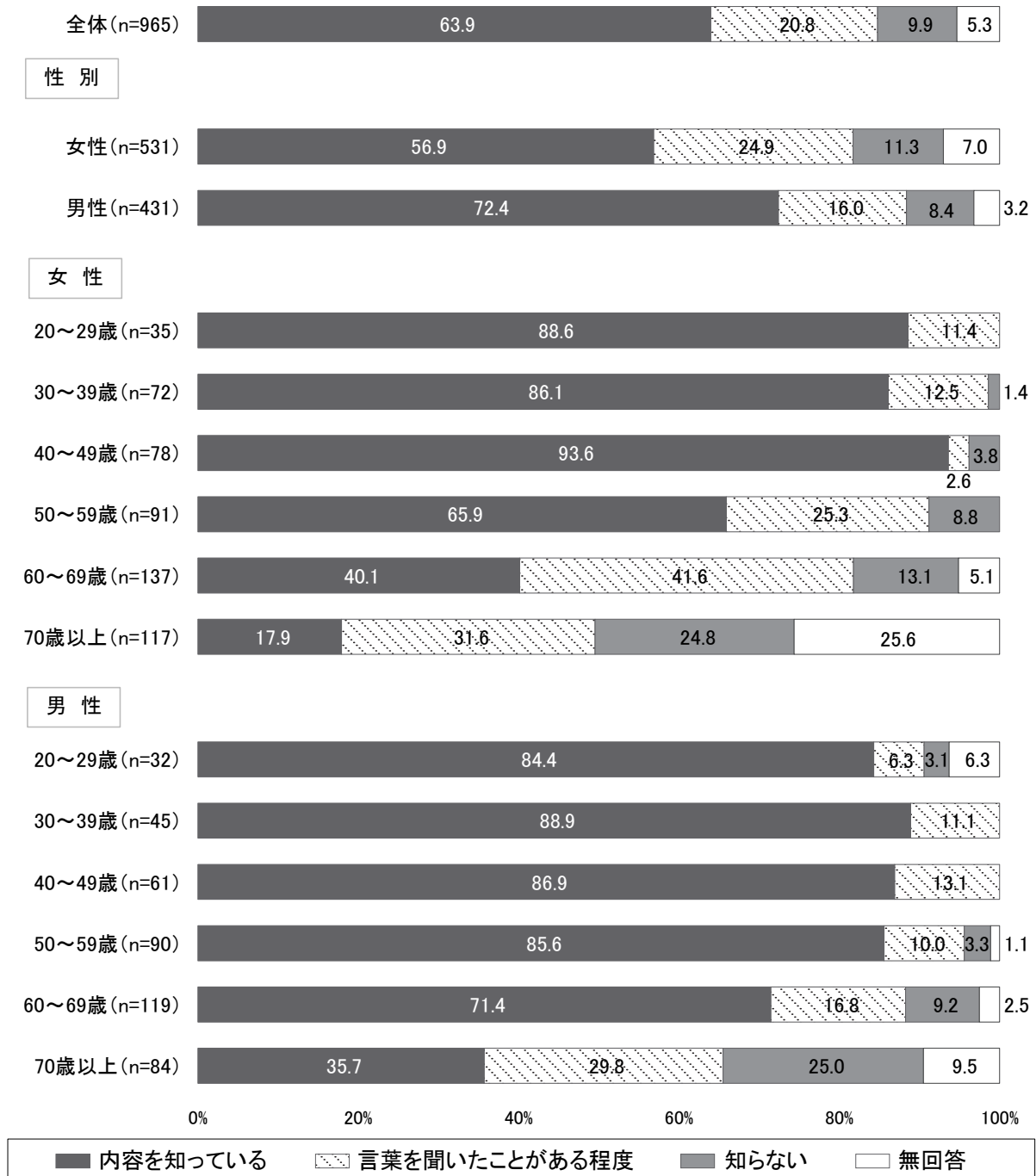


「パワーハラスメント」については、全体では、「内容を知っている」の割合が63.9%と最も高く、次いで「言葉を聞いたことがある程度」の割合が20.8%となっています。

性別でみると、女性では、「内容を知っている」の割合が56.9%と、男性よりも15.5ポイント低くなっています。

性別年代別でみると、40歳代以上の女性では、年代が上がるほど「内容を知っている」の割合が低くなる一方、「知らない」の割合が高くなる傾向にあります。また、50歳代以下の男性では「内容を知っている」の割合が8割以上となっている一方、60歳代以上の男性では、「言葉を聞いたことがある程度」の割合と「知らない」の割合が高くなっています。

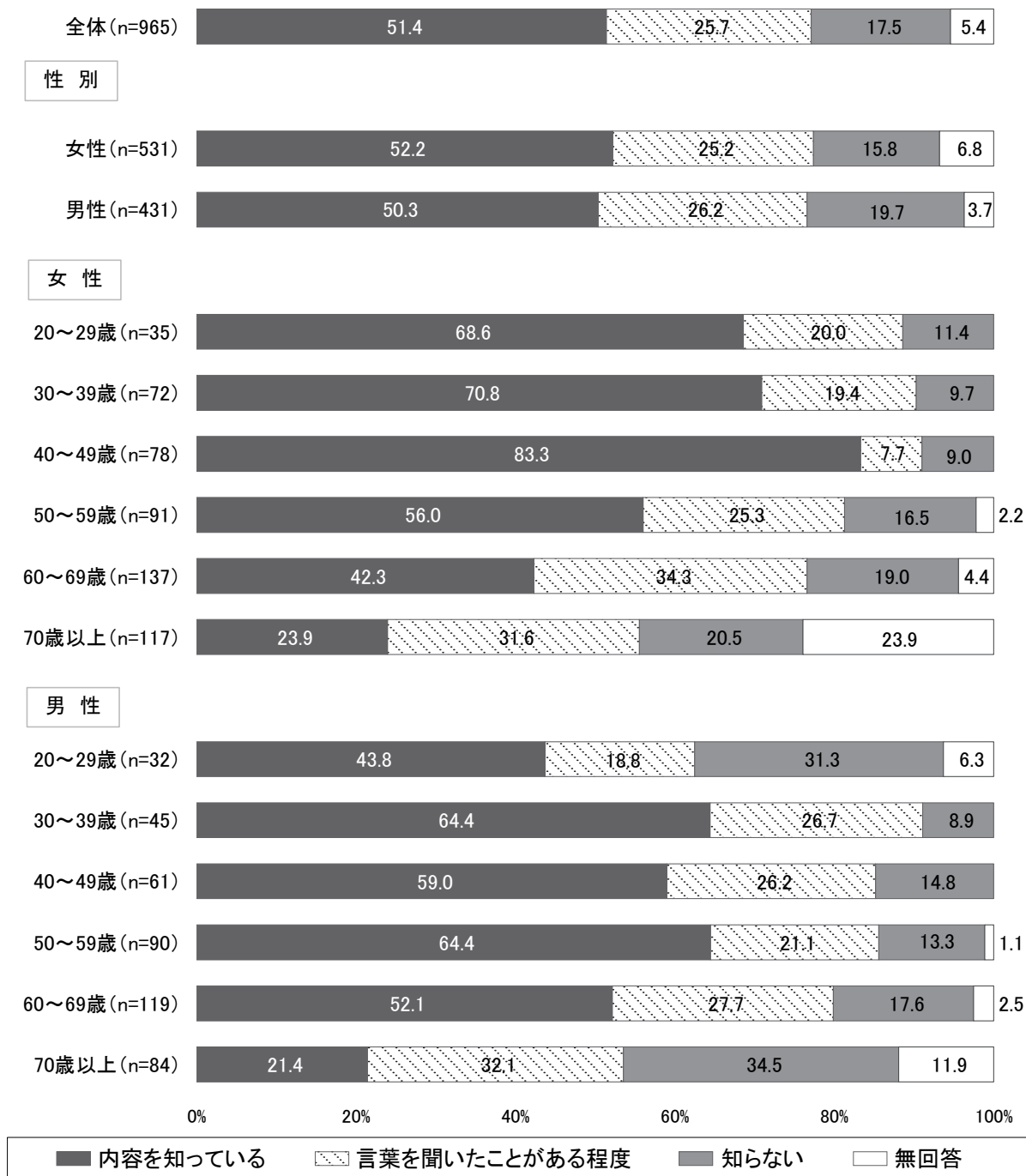
問25-③. 言葉の認知度「パワーハラスメント」



「マタニティハラスメント」については、全体では、「内容を知っている」の割合が51.4%と最も高く、次いで「言葉を聞いたことがある程度」の割合が25.7%となっています。

性別年代別でみると、20歳代～40歳代女性では、「内容を知っている」の割合が約7割以上を占めている一方、40歳代以上の女性では、年代が上がるほど「内容を知っている」の割合が低くなっています。また、20歳代と70歳代以上の男性では、「知らない」の割合が3割以上を占め、さらに、70歳代以上の男女では、「内容を知っている」の割合が約2割に留まっています。

問25-④. 言葉の認知度「マタニティハラスメント」





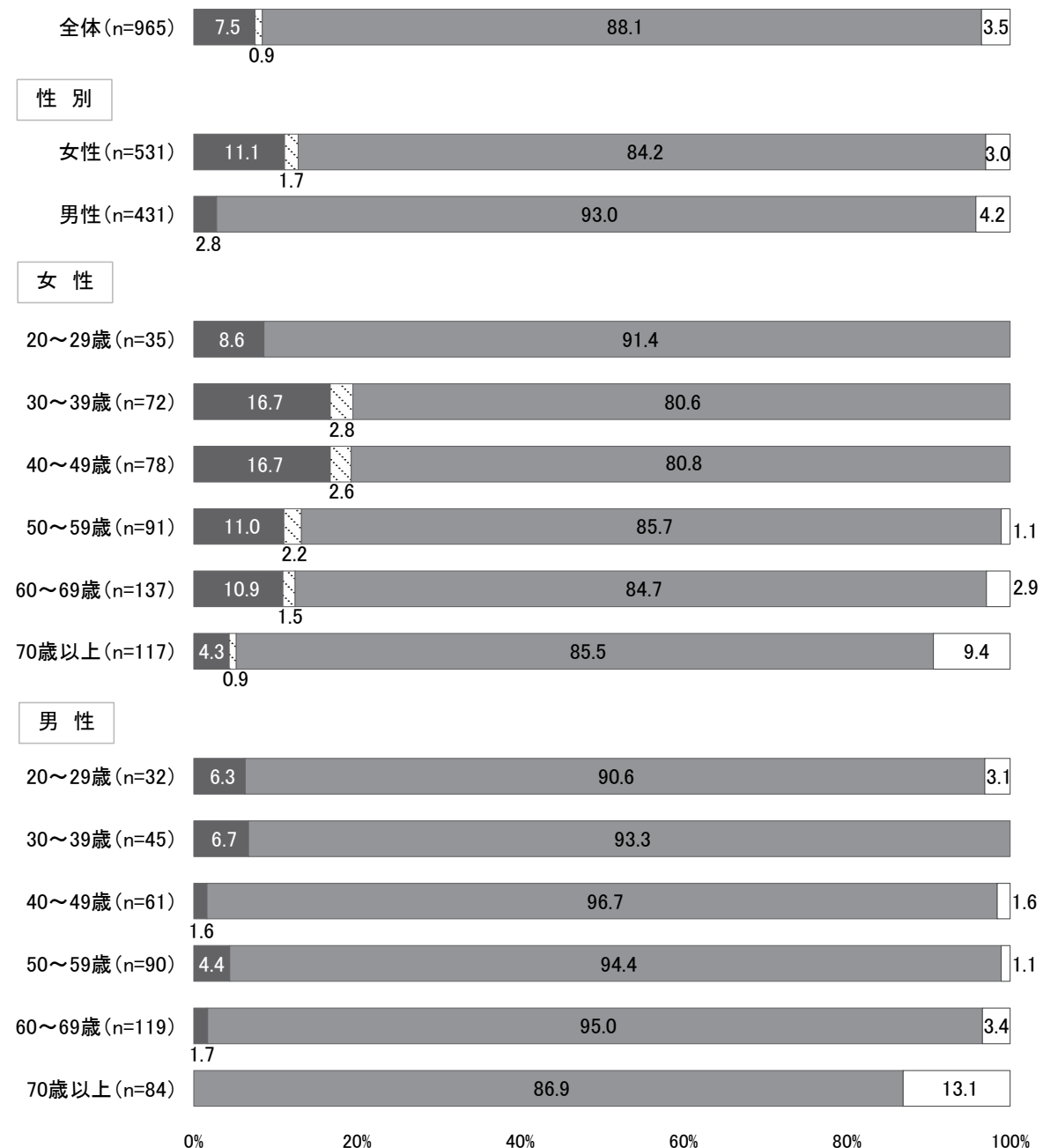
問26. あなたは、ドメスティック・バイオレンス（配偶者や親しい異性（恋人など）からの暴力）を受けた経験がありますか。（○は1つ）

全体では、「暴力を受けたことはない」の割合が88.1%と最も高く、次いで「過去に暴力を受けたことがある」の割合が7.5%となっています。

性別で見ると、女性では、「過去に暴力を受けたことがある」の割合が11.1%と、男性よりも8.3ポイント高くなっています。また、女性では、「現在も暴力を受けることがある」の割合が1.7%となっています。

性別年代別で見ると、30歳代～40歳代女性では、「過去に暴力を受けたことがある」の割合が16.7%となっています。

問26. ドメスティック・バイオレンスを受けた経験



■ 過去に暴力を受けたことがある ■ 現在も暴力を受けることがある ■ 暴力を受けたことはない □ 無回答

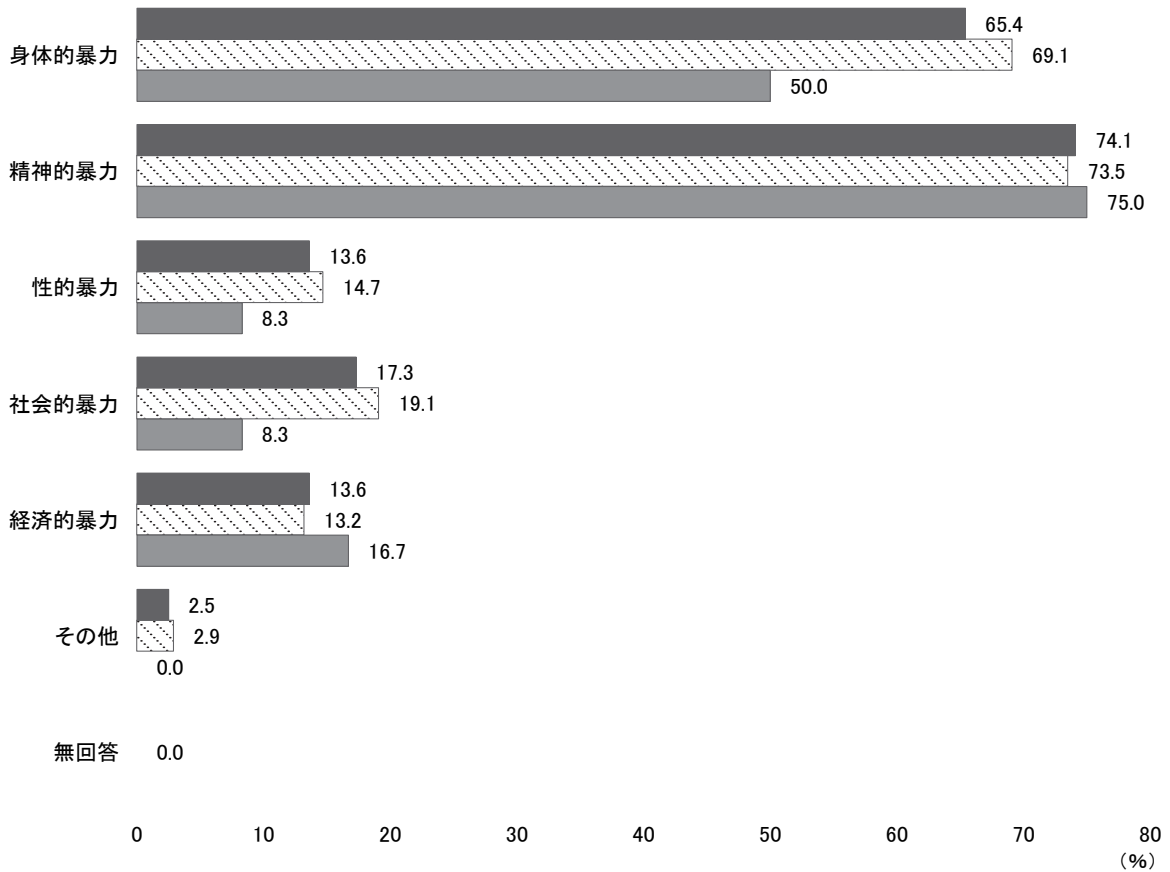
問27. 問26で「1」または「2」に○印をつけた方におたずねします。

あなたは、どんな暴力を受けましたか。(○はいくつでも)

全体では、「精神的暴力」の割合が74.1%と最も高く、次いで「身体的暴力」の割合が65.4%となっています。

性別で見ると、女性では、「身体的暴力」の割合が69.1%と、男性よりも19.1ポイント高く、「社会的暴力」の割合が19.1%と、男性よりも10.8ポイント高くなっています。

問27. 受けた暴力の内容



■ 全体 (n=81)      ▨ 女性 (n=68)      ■ 男性 (n=12)

就業状況別でみると、正規雇用者では、「社会的暴力」の割合が30.4%となっています。また、非正規雇用者と無職では、「身体的暴力」の割合が8割弱となっています。

家族構成別でみると、同居している世代の数が多くなるほど「身体的暴力」の割合と「社会的暴力」の割合、「経済的暴力」の割合が高くなっています。

婚姻状態別でみると、結婚していたが、離婚・死別などで現在は夫・妻はいない場合では、「性的暴力」の割合が30.0%と、他の婚姻状態よりも10ポイント以上高くなっています。また、結婚していない場合では、「社会的暴力」の割合が36.4%と、他の婚姻状態よりも15ポイント以上高くなっています。

同居中の小学生以下の子どもの有無でみると、子どもがいる場合では、「身体的暴力」の割合が75.0%と、子どもがいない場合よりも12.1ポイント高く、「社会的暴力」の割合が25.0%と、子どもがいない場合よりも10.5ポイント高くなっています。

		問27. 受けた暴力の内容 (%)					
		身体的暴力	精神的暴力	性的暴力	社会的暴力	経済的暴力	その他
全体 (n=81)		65.4	74.1	13.6	17.3	13.6	2.5
女性 (n=68)		69.1	73.5	14.7	19.1	13.2	2.9
男性 (n=12)		50.0	75.0	8.3	8.3	16.7	-
女性	20～29歳 (n=3)	100.0	66.7	66.7	66.7	-	-
	30～39歳 (n=14)	78.6	78.6	7.1	35.7	7.1	-
	40～49歳 (n=15)	66.7	73.3	13.3	20.0	20.0	6.7
	50～59歳 (n=12)	66.7	75.0	16.7	8.3	25.0	8.3
	60～69歳 (n=17)	64.7	70.6	11.8	11.8	11.8	-
	70歳以上 (n=6)	50.0	83.3	16.7	-	-	-
男性	20～29歳 (n=2)	100.0	50.0	-	-	-	-
	30～39歳 (n=3)	66.7	100.0	-	-	-	-
	40～49歳 (n=1)	100.0	-	-	-	-	-
	50～59歳 (n=4)	-	75.0	-	25.0	25.0	-
	60～69歳 (n=2)	50.0	100.0	50.0	-	50.0	-
	70歳以上 (n=0)	-	-	-	-	-	-
就業状況	正規雇用者 (n=23)	65.2	73.9	26.1	30.4	17.4	-
	非正規雇用者 (n=23)	78.3	73.9	8.7	17.4	8.7	-
	派遣社員・契約社員 (n=4)	25.0	100.0	-	-	25.0	-
	農林水産業 (n=0)	-	-	-	-	-	-
	商工・サービス業 (n=3)	66.7	66.7	-	33.3	-	-
	自由業 (n=0)	-	-	-	-	-	-
	家事専業・家事手伝い (n=11)	45.5	63.6	-	18.2	18.2	18.2
	学生 (n=1)	100.0	-	-	-	-	-
	無職 (n=13)	76.9	76.9	15.4	-	7.7	-
その他 (n=2)	50.0	100.0	50.0	-	50.0	-	
家族構成	単身世帯 (n=6)	50.0	66.7	-	33.3	-	-
	1世代世帯 (n=17)	64.7	82.4	17.6	5.9	11.8	-
	2世代世帯 (n=42)	69.0	69.0	7.1	14.3	14.3	4.8
	3世代世帯 (n=13)	69.2	76.9	30.8	38.5	23.1	-
	その他 (n=1)	100.0	100.0	100.0	-	-	-
結婚	結婚している (事実婚含む) (n=59)	66.1	71.2	10.2	13.6	13.6	1.7
	結婚していたが、離婚・死別などで現在は夫・妻はいない (n=10)	60.0	80.0	30.0	20.0	20.0	-
	結婚していない (n=11)	72.7	81.8	18.2	36.4	9.1	9.1
同居中の小学生以下の子ども	いる (n=16)	75.0	75.0	6.3	25.0	18.8	6.3
	いない (n=62)	62.9	72.6	16.1	14.5	12.9	1.6

※無回答はみられなかったため、表からは削除しました

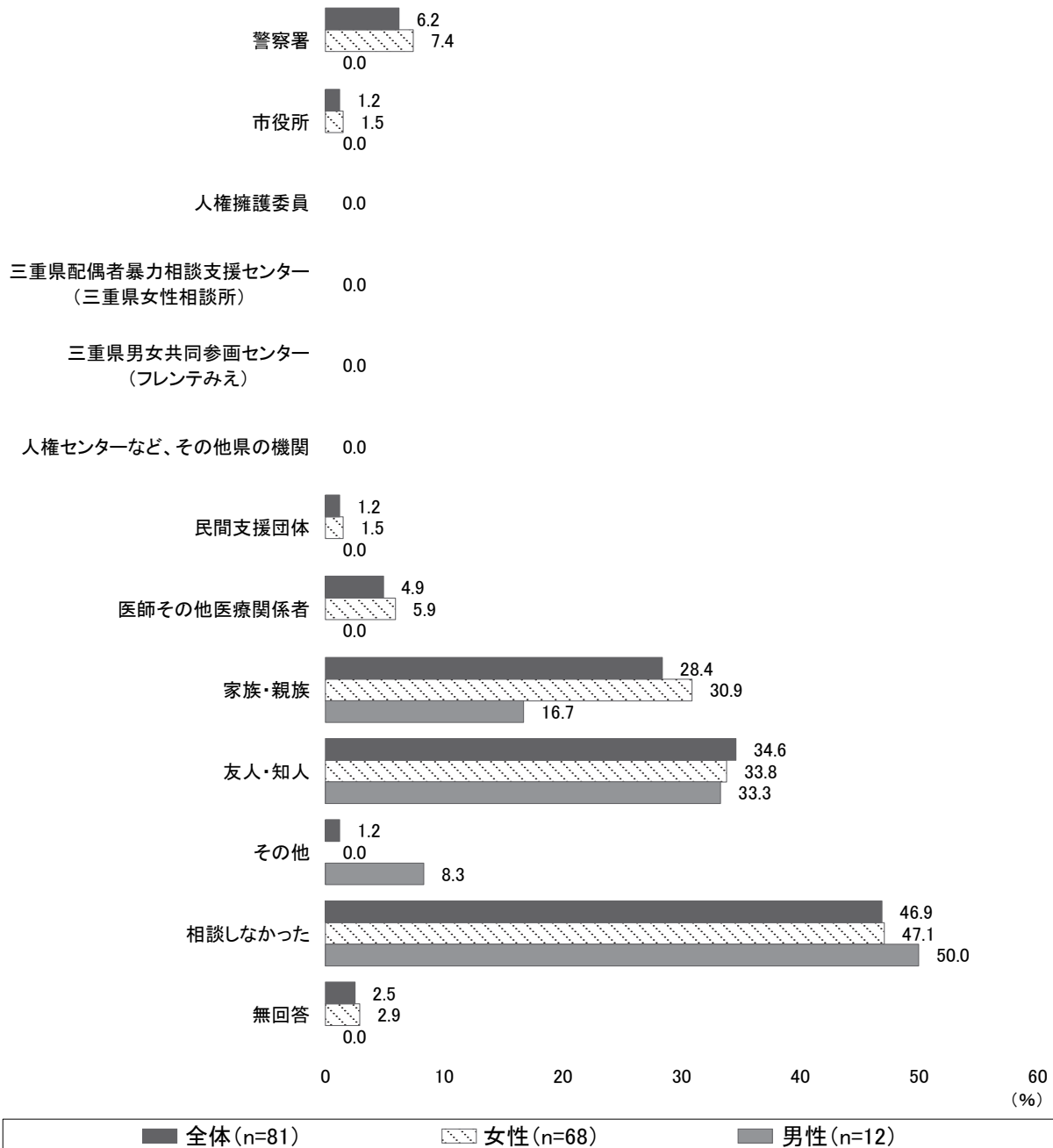
問28. 問26で「1」または「2」に○印をつけた方におたずねします。

あなたは、暴力を受けたとき誰に相談しましたか。(○はいくつでも)

全体では、「相談しなかった」の割合が46.9%と最も高く、次いで「友人・知人」の割合が34.6%となっています。また、「人権擁護委員」と「三重県配偶者暴力相談支援センター（三重県女性相談所）」、「三重県男女共同参画センター（フレんてみえ）」、「人権センターなど、その他県の機関」と回答した人はいません。

性別で見ると、女性では、「家族・親族」の割合が30.9%と、男性よりも14.2ポイント高くなっています。

問28. 暴力を受けたときに相談した相手



性別年代別でみると、60歳代女性では、「相談しなかった」の割合が64.7%と、同性の他の年代よりも10ポイント以上高くなっています。

家族構成別でみると、同居している世代の数が多くなるほど「家族・親族」の割合が低くなっています。

同居中の小学生以下の子どもの有無でみると、子どもがいる場合では、「相談しなかった」の割合が56.3%と、子どもがいない場合よりも11.1ポイント高くなっています。また、子どもがいない場合では、「友人・知人」の割合が37.1%と、子どもがいる場合よりも12.1ポイント高くなっています。

		問28. 暴力を受けたときに相談した相手 (%)												
		警察署	市役所	人権擁護委員	三重県配偶者暴力相談支援センター (三重県女性相談所)	三重県男女共同参画センター (フレンドテミえ)	人権センターなど、 その他県の機関	民間支援団体	医師その他医療関係者	家族・親族	友人・知人	その他	相談しなかった	無回答
全体 (n=81)		6.2	1.2	-	-	-	-	1.2	4.9	28.4	34.6	1.2	46.9	2.5
女性 (n=68)		7.4	1.5	-	-	-	-	1.5	5.9	30.9	33.8	-	47.1	2.9
男性 (n=12)		-	-	-	-	-	-	-	-	16.7	33.3	8.3	50.0	-
女性	20~29歳 (n=3)	33.3	-	-	-	-	-	-	33.3	33.3	33.3	-	33.3	33.3
	30~39歳 (n=14)	7.1	-	-	-	-	-	-	-	35.7	28.6	-	42.9	7.1
	40~49歳 (n=15)	6.7	6.7	-	-	-	-	6.7	-	20.0	46.7	-	40.0	-
	50~59歳 (n=12)	8.3	-	-	-	-	-	-	8.3	33.3	25.0	-	50.0	-
	60~69歳 (n=17)	-	-	-	-	-	-	-	-	29.4	23.5	-	64.7	-
	70歳以上 (n=6)	16.7	-	-	-	-	-	-	16.7	50.0	50.0	-	33.3	-
男性	20~29歳 (n=2)	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-	50.0	-	-
	30~39歳 (n=3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3	-	66.7	-
	40~49歳 (n=1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
	50~59歳 (n=4)	-	-	-	-	-	-	-	-	25.0	50.0	-	50.0	-
	60~69歳 (n=2)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-	50.0	-
	70歳以上 (n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
家族構成	単身世帯 (n=6)	-	-	-	-	-	-	-	16.7	-	33.3	-	66.7	-
	1世代世帯 (n=17)	5.9	-	-	-	-	-	-	-	41.2	29.4	-	41.2	-
	2世代世帯 (n=42)	7.1	2.4	-	-	-	-	2.4	4.8	26.2	28.6	-	54.8	2.4
	3世代世帯 (n=13)	-	-	-	-	-	-	-	-	23.1	46.2	7.7	30.8	7.7
	その他 (n=1)	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	100.0	-	-	-
結婚	結婚している (事実婚含む) (n=59)	5.1	1.7	-	-	-	-	1.7	3.4	28.8	30.5	-	52.5	-
	結婚していたが、離婚・死別などで現在は夫・妻はいない (n=10)	10.0	-	-	-	-	-	-	10.0	30.0	60.0	-	40.0	-
	結婚していない (n=11)	9.1	-	-	-	-	-	-	9.1	27.3	27.3	9.1	27.3	18.2
共働き	共働き (n=35)	2.9	-	-	-	-	-	-	2.9	28.6	31.4	-	54.3	-
	一人のみ働いている (n=20)	5.0	5.0	-	-	-	-	5.0	-	30.0	20.0	-	55.0	-
	二人とも働いていない (n=3)	33.3	-	-	-	-	-	-	33.3	33.3	100.0	-	-	-
同居中の小学生以下の子ども	いる (n=16)	6.3	6.3	-	-	-	-	6.3	-	31.3	25.0	-	56.3	-
	いない (n=62)	6.5	-	-	-	-	-	-	6.5	27.4	37.1	1.6	45.2	3.2

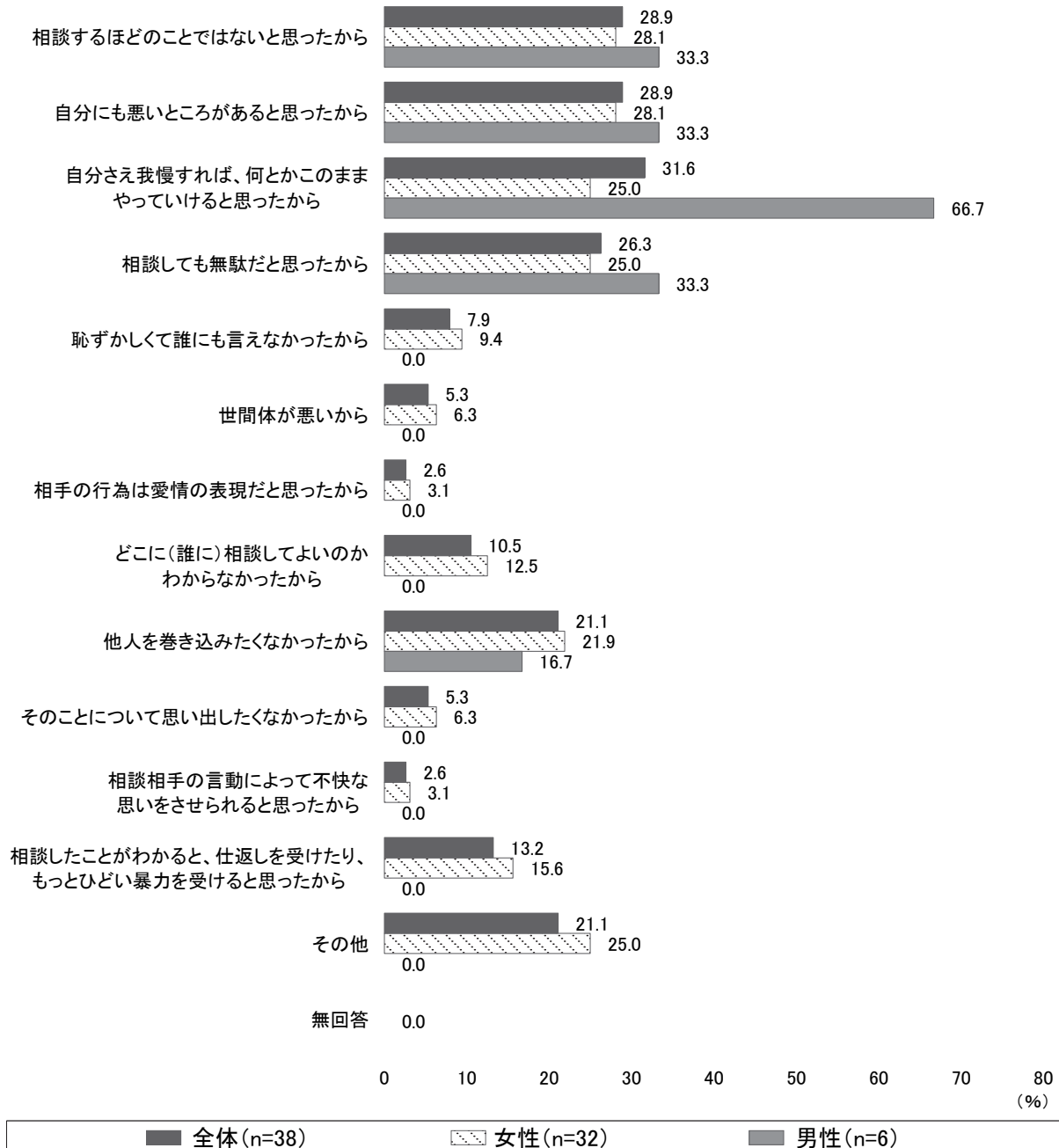
問29. 問28で「12. 相談しなかった」に○印をつけた方におたずねします。

相談しなかったのはなぜですか。(○はいくつでも)

全体では、「自分さえ我慢すれば、何とかこのままやっていけると思ったから」の割合が31.6%と最も高く、次いで「相談するほどのことではないと思ったから」の割合と「自分にも悪いところがあると思ったから」の割合が28.9%となっています。

性別で見ると、女性では、「相談するほどのことではないと思ったから」の割合と「自分にも悪いところがあると思ったから」の割合が28.1%と最も高くなっています。一方、男性では、「自分さえ我慢すれば、何とかこのままやっていけると思ったから」の割合が66.7%と最も高くなっています。

問29. 暴力を受けたことを相談しなかった理由

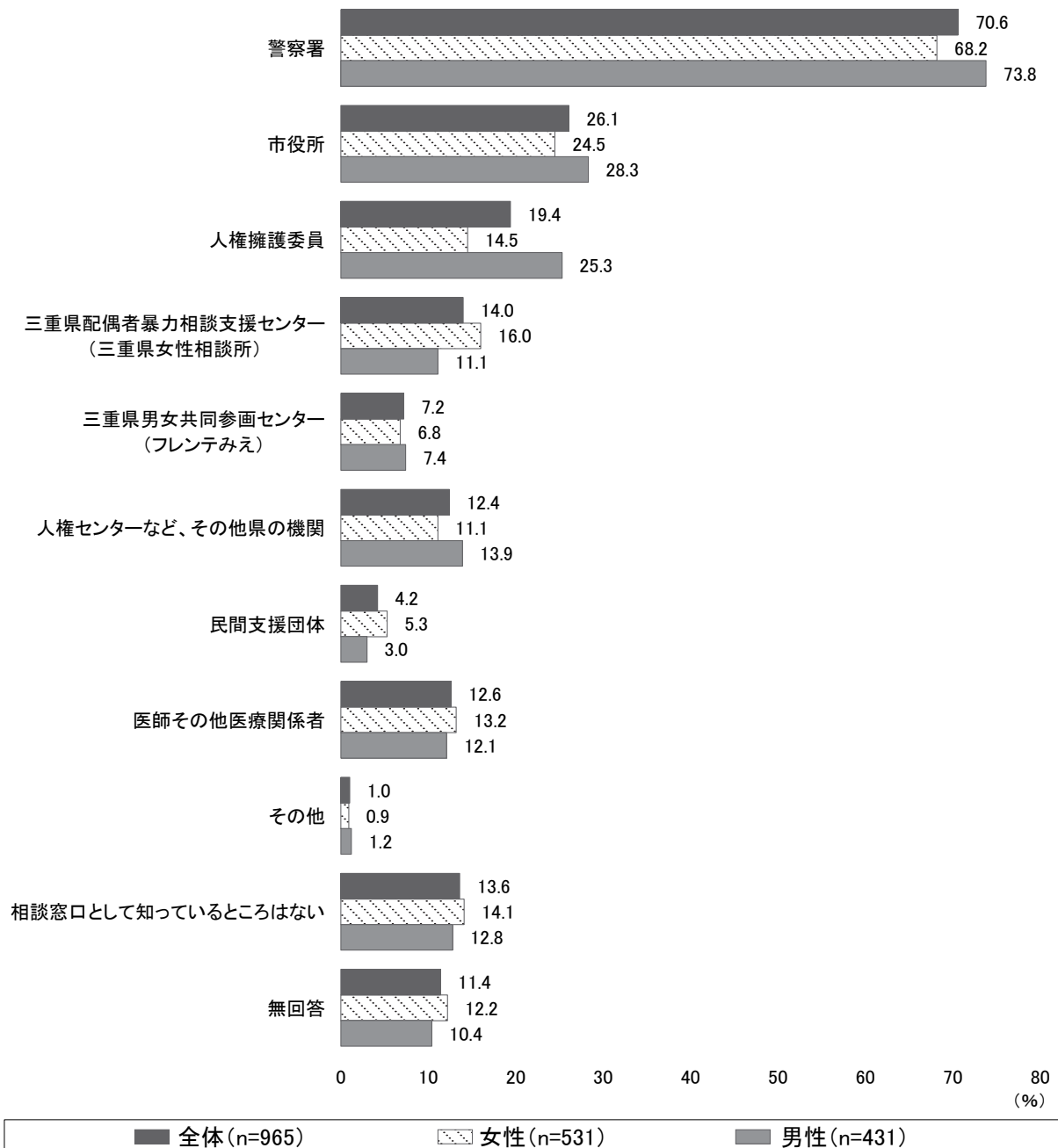


問30. 配偶者や恋人から暴力を受けたときに相談できる機関や関係者のうち知っているものを、次の中から選んでください。(〇はいくつでも)

全体では、「警察署」の割合が70.6%と最も高く、次いで「市役所」の割合が26.1%となっています。

性別で見ると、女性では、「人権擁護委員」の割合が14.5%と、男性よりも10.8ポイント低くなっています。

問30. 暴力を受けたときに相談できる機関・関係者の認知度



性別年代別でみると、20歳代女性では、「人権擁護委員」と「三重県男女共同参画センター（フレンテみえ）」と回答した人はいません。また、20歳代女性では、「三重県配偶者暴力相談支援センター（三重県女性相談所）」の割合が8.6%と、女性の中で唯一、1割未満となっています。さらに、20歳代～30歳代男性では、「人権擁護委員」の割合が1割未満となっています。

		問30. 暴力を受けたときに相談できる機関・関係者の認知度 (%)										
		警察署	市役所	人権擁護委員	三重県配偶者暴力相談支援センター (三重県女性相談所)	三重県男女共同参画センター (フレンテみえ)	人権センターなど、 その他県の機関	民間支援団体	医師その他医療関係者	その他	相談窓口として知っているところはない	無回答
全体 (n=965)		70.6	26.1	19.4	14.0	7.2	12.4	4.2	12.6	1.0	13.6	11.4
女性 (n=531)		68.2	24.5	14.5	16.0	6.8	11.1	5.3	13.2	0.9	14.1	12.2
男性 (n=431)		73.8	28.3	25.3	11.1	7.4	13.9	3.0	12.1	1.2	12.8	10.4
女性	20～29歳 (n=35)	82.9	17.1	-	8.6	-	11.4	5.7	14.3	2.9	8.6	-
	30～39歳 (n=72)	81.9	31.9	8.3	19.4	8.3	6.9	12.5	15.3	-	11.1	2.8
	40～49歳 (n=78)	82.1	34.6	11.5	19.2	12.8	16.7	6.4	17.9	-	9.0	2.6
	50～59歳 (n=91)	70.3	23.1	11.0	14.3	7.7	15.4	3.3	23.1	1.1	13.2	11.0
	60～69歳 (n=137)	67.2	25.5	24.8	19.7	3.6	10.9	3.6	10.9	0.7	19.7	8.8
	70歳以上 (n=117)	46.2	15.4	15.4	11.1	6.8	6.8	3.4	3.4	1.7	14.5	33.3
男性	20～29歳 (n=32)	62.5	12.5	3.1	6.3	6.3	3.1	-	12.5	6.3	25.0	6.3
	30～39歳 (n=45)	84.4	28.9	6.7	6.7	4.4	11.1	2.2	24.4	2.2	13.3	-
	40～49歳 (n=61)	77.0	32.8	13.1	8.2	8.2	6.6	1.6	8.2	-	16.4	8.2
	50～59歳 (n=90)	85.6	33.3	26.7	14.4	10.0	18.9	4.4	14.4	1.1	8.9	2.2
	60～69歳 (n=119)	72.3	34.5	38.7	12.6	6.7	19.3	4.2	8.4	-	10.9	10.9
	70歳以上 (n=84)	59.5	16.7	32.1	11.9	7.1	11.9	2.4	10.7	1.2	11.9	27.4

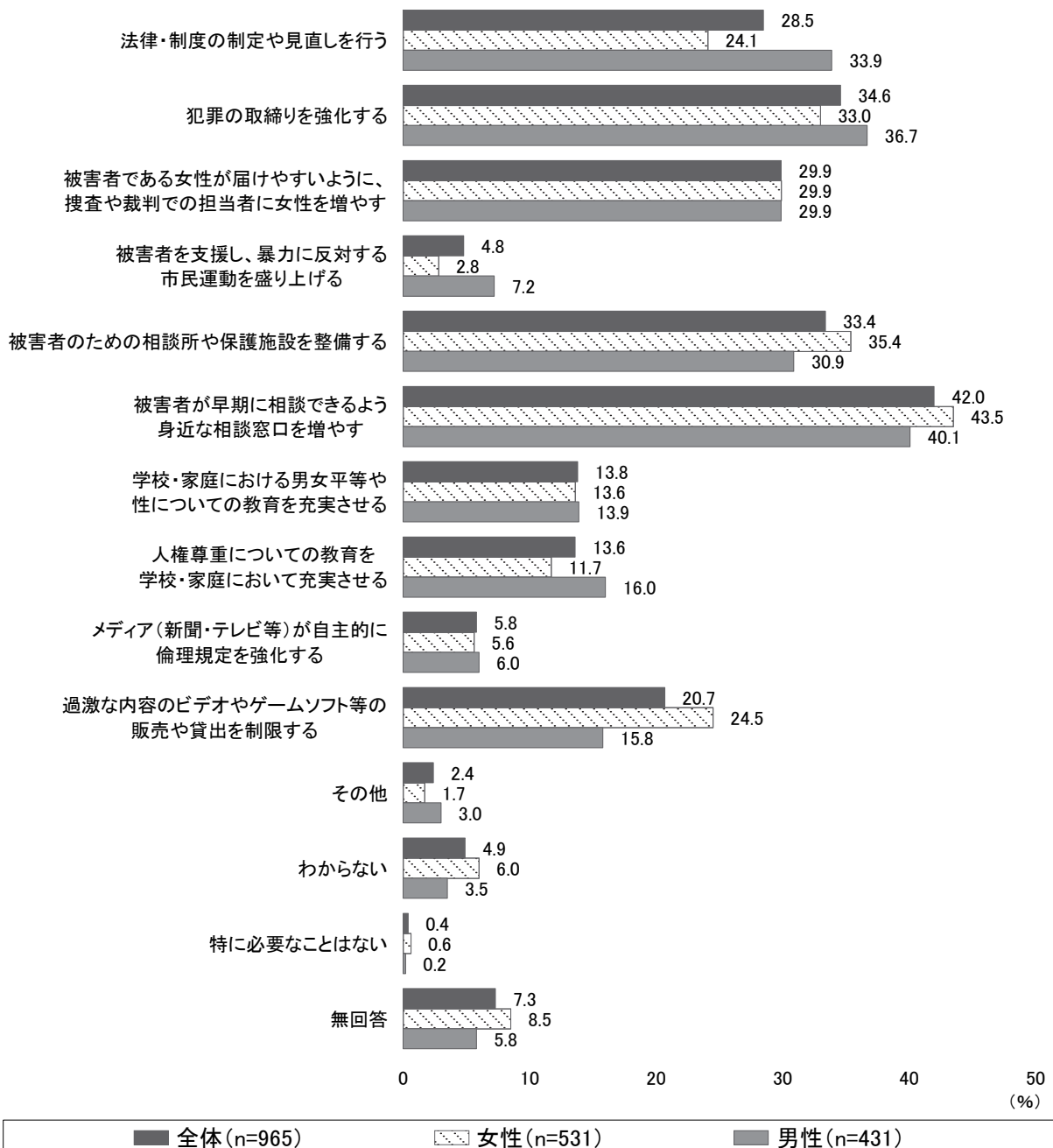


問31. 近年において、性犯罪や売買春（いわゆる「援助交際」を含む）、ドメスティック・バイオレンス等についての関心が高まっていますが、このようなことをなくすためにはどうしたらよいと思いますか。（〇は3つまで）

全体では、「被害者が早期に相談できるよう身近な相談窓口を増やす」の割合が42.0%と最も高く、次いで「犯罪の取締りを強化する」の割合が34.6%となっています。

性別で見ると、女性では、「被害者が早期に相談できるよう身近な相談窓口を増やす」の割合が43.5%と最も高く、次いで「被害者のための相談所や保護施設を整備する」の割合が35.4%となっています。一方、男性では、「被害者が早期に相談できるよう身近な相談窓口を増やす」の割合が40.1%と最も高く、次いで「犯罪の取締りを強化する」の割合が36.7%となっています。また、女性では、「過激な内容のビデオやゲームソフト等の販売や貸出を制限する」の割合が24.5%と、男性よりも8.7ポイント高くなっています。さらに、男性では、「法律・制度の制定や見直しを行う」の割合が33.9%と、女性よりも9.8ポイント高くなっています。

問31. 性犯罪や売買春、ドメスティック・バイオレンス等をなくすために必要なこと



性別年代別で見ると、20歳代女性では、「犯罪の取締りを強化する」の割合が48.6%と、同性の他の年代よりも10ポイント以上高くなっています。

家族構成別で見ると、同居している世代の数が多くなるほど「法律・制度の制定や見直しを行う」と「犯罪の取締りを強化する」の割合が高くなっています。

	問31. 性犯罪や売買春、ドメスティック・バイオレンス等をなくすために必要なこと (%)														
	法律・制度の制定や見直しを行う	犯罪の取締りを強化する	や裁判者である女性が届けやすいように、捜査	被害者を支援し、暴力に反対する市民運動を盛り上げる	被害者のための相談所や保護施設を整備する	被害者が早期に相談できるような身近な相談窓口を増やす	学校・家庭における男女平等や性についての教育を充実させる	人権尊重についての教育を学校・家庭において充実させる	規定を強化する	メディア（新聞・テレビ等）が自主的に倫理	や過激な内容のビデオやゲームソフト等の販売	その他	わからない	特に必要なことはない	無回答
全体 (n=965)	28.5	34.6	29.9	4.8	33.4	42.0	13.8	13.6	5.8	20.7	2.4	4.9	0.4	7.3	
女性 (n=531)	24.1	33.0	29.9	2.8	35.4	43.5	13.6	11.7	5.6	24.5	1.7	6.0	0.6	8.5	
男性 (n=431)	33.9	36.7	29.9	7.2	30.9	40.1	13.9	16.0	6.0	15.8	3.0	3.5	0.2	5.8	
女性	20～29歳 (n=35)	31.4	48.6	42.9	2.9	37.1	45.7	11.4	14.3	-	2.9	2.9	2.9	-	5.7
	30～39歳 (n=72)	31.9	37.5	30.6	1.4	36.1	45.8	19.4	12.5	9.7	15.3	4.2	1.4	-	8.3
	40～49歳 (n=78)	34.6	28.2	24.4	1.3	30.8	29.5	16.7	12.8	9.0	26.9	3.8	7.7	-	7.7
	50～59歳 (n=91)	20.9	25.3	34.1	3.3	49.5	48.4	7.7	8.8	6.6	20.9	1.1	7.7	1.1	4.4
	60～69歳 (n=137)	24.1	33.6	32.1	2.2	42.3	51.8	14.6	13.9	5.8	27.7	-	3.6	-	4.4
	70歳以上 (n=117)	12.0	34.2	23.1	5.1	18.8	36.8	12.0	9.4	1.7	34.2	0.9	10.3	1.7	17.9
男性	20～29歳 (n=32)	25.0	31.3	28.1	6.3	31.3	46.9	6.3	6.3	3.1	3.1	6.3	6.3	-	6.3
	30～39歳 (n=45)	42.2	33.3	33.3	2.2	26.7	20.0	15.6	17.8	8.9	13.3	8.9	4.4	-	-
	40～49歳 (n=61)	42.6	42.6	32.8	3.3	24.6	36.1	14.8	19.7	8.2	14.8	6.6	3.3	-	1.6
	50～59歳 (n=90)	37.8	37.8	26.7	10.0	40.0	46.7	15.6	12.2	6.7	13.3	1.1	2.2	-	3.3
	60～69歳 (n=119)	33.6	37.8	32.8	6.7	32.8	44.5	13.4	14.3	7.6	20.2	0.8	1.7	-	7.6
70歳以上 (n=84)	22.6	33.3	26.2	10.7	25.0	38.1	14.3	22.6	1.2	19.0	1.2	6.0	1.2	11.9	
家族構成	単身世帯 (n=75)	17.3	21.3	26.7	1.3	41.3	48.0	10.7	9.3	-	21.3	6.7	10.7	-	6.7
	1世代世帯 (n=240)	27.9	34.2	30.8	5.4	26.7	40.4	10.4	14.2	3.8	26.7	0.8	4.2	-	10.4
	2世代世帯 (n=439)	28.2	35.1	30.5	4.6	36.2	40.8	15.0	13.7	8.2	18.9	3.0	5.5	0.7	5.5
	3世代世帯 (n=191)	35.1	38.7	29.3	5.2	31.4	44.5	17.3	15.7	5.8	17.3	1.0	2.1	-	6.3
	その他 (n=15)	20.0	40.0	26.7	13.3	46.7	40.0	6.7	-	-	20.0	-	-	-	26.7
結婚	結婚している（事実婚含む） (n=745)	30.2	36.0	28.9	5.0	31.3	40.9	14.1	14.0	6.3	22.3	1.9	4.4	0.4	7.5
	結婚していたが、離婚・死別などで現在は夫・妻はいない (n=96)	16.7	25.0	34.4	6.3	45.8	47.9	9.4	9.4	3.1	28.1	-	8.3	1.0	7.3
	結婚していない (n=120)	28.3	34.2	33.3	2.5	35.8	43.3	15.8	15.0	5.0	4.2	6.7	5.0	-	5.0